

平成27年度 研究のまとめ

別冊資料集

研究テーマ

一人一人の自立と社会参加をめざす一貫性・継続性のある指導
～プロジェクトチームの実践をとおして（2年次）～

A チェックリストチーム

- ・ 国語
- ・ 算数, 数学
- ・ 生活面に関するチェックリスト（小学部用）
- ・ 生活面に関するチェックリスト（中学部・高等部用）

B 年間指導計画チーム

- ・ 生活単元学習のねらい（目標）一覧表
- ・ 生活単元学習 年間指導計画（小学部, 中学部, 高等部）
- ・ 作業学習 単元一覧表

C キャリア教育チーム

- ・ 教科・領域を合わせた指導における指導内容抽出表

D アセスメントチーム

- ・ 社会性の発達について
- ・ コミュニケーションの発達について
- ・ 運動・動作（模倣）について
- ・ 数概念の発達について

平成28年3月



鹿児島県立大島養護学校 テーマ研究

目次

A チェックリストチーム

- 1 チェックリスト（国語）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 チェックリスト（算数・数学）・・・・・・・・・・・・ 13
- 3 生活面に関するチェックリスト（小学部用）・・・・ 28
- 4 生活面に関するチェックリスト（中学部・高等部用）・・ 41

B 年間指導計画チーム

- 1 生活単元学習のねらい（目標）一覧表・・・・・・・・ 60
- 2 生活単元学習 年間指導計画（小学部）・・・・・・ 62
- 3 生活単元学習 年間指導計画（中学部）・・・・・・ 85
- 4 生活単元学習 年間指導計画（高等部）・・・・・・ 102
- 5 作業学習 単元一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・ 139

C キャリア教育チーム

- 1 教科・領域を合わせた指導における指導内容抽出表・・・ 141

D アセスメントチーム

- 1 社会性の発達について・・・・・・・・・・・・・・・・ 146
- 2 コミュニケーションの発達について・・・・・・・・ 152
- 3 運動・動作（模倣）について・・・・・・・・・・・・ 164
- 4 数概念の発達について・・・・・・・・・・・・・・・・ 172

チェックリスト

国語

国語

発達段階チェックリスト

氏名	
----	--

記入者名			記入年月日			
小学部	1年		平成	年	月	日
	2年		平成	年	月	日
	3年		平成	年	月	日
	4年		平成	年	月	日
	5年		平成	年	月	日
	6年		平成	年	月	日
中学部	1年		平成	年	月	日
	2年		平成	年	月	日
	3年		平成	年	月	日
高等部	1年		平成	年	月	日
	2年		平成	年	月	日
	3年		平成	年	月	日

鹿児島県立大島養護学校

記入上の注意事項

- 1 項目のチェックをし、できたら「小3」「中1」「高1」とできた学年を記入してください。○や×はつけません。
- 2 以前は、できていたことができなくなった場合は、すでに学年が記入されているので青ペンで×と上書きしてください。
- 3 チェックする際には、解説を参考にしてください。
- 4 記入者については、中心になって記入した人の名前を書いてください。
- 5 「9歳以上」以降に関しては、鹿児島県総合教育センターが作成した「子供をよりよく理解するための国語、算数・数学チェックリスト（改訂版）」の「小学校」及び「学校」のチェックリストをご活用ください。

☆ 検査項目にある ※ は、関連のあるチェックリストの領域を表します。

【参考文献】

表記	検査名	発行元／出版社
鹿セ	子供をよりよく理解するための国語、算数・数学チェックリスト（改訂版）	鹿児島県総合教育センター
田・ビ	田中ビネー知能検査V	田研出版
東京	【資料】知的障害特別支援学校における各教科の具体的な内容の例	東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育課
遠	遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表（九大小児科改訂版）	慶応義塾大学出版会
津守	津守・稲毛式乳幼児精神発達診断	大日本図書
S-M	S-M社会生活能力検査	日本文化科学社
人物	人物描画法（D-A-P）	ナカニシヤ出版
MEPA	MEPA-Rムーブメント教育・療育プログラムアセスメント	小林芳文（国際ムーブメント教育・療法学術研究センター協力）
ポ	ポーターズ幼児教育プログラム	認定NPO法人 日本ポーターズ協会
新K	新版K式発達検査	京都国際社会福祉センター

国 語 (話 す)

1 (0～1歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	母音を出す		例:「アー」「ウー」「エー」など。	遠
②	子音を出す		例:「クー」「ブー」「プー」「マ」「パ」「タ」「ダ」など。	ポ
③	泣かずに声を出す		機嫌がよいときに「アー」「ウーウー」「ウァ」「オーオー」などの母音が出せたら○。	遠
④	声を出して笑う		くすぐられたり、あやされたりすると大きな声で笑えたら○。	遠
⑤	人に向かって声を出す		自分から「アッアッ」「ナンナン」「パッパッパッ」などという喃語を出せたら○。	遠
⑥	おもちゃなどに向かって声を出す		人形などに対して語り掛けるように声を出せたら○。	遠
⑦	同じ音声を繰り返す		例:「パパパ」「マママ」「バババ」など。	ポ
⑧	音声をまねようとする		教師が「ママー」「ダーダー」「バーバー」など語り掛けると、その声を真似るように言う。	遠
⑨	言葉を1, 2語正しくまねる		「はい」「ママ」「パパ」「ブーブー」「バイバイ」など偶然や口癖ではなく、意味のある言葉を正しい状況で使えたら○。例:菓子箱を指さして要求したり、猫を見て「ニャー」と言って教師に教えたりする。	遠

2 (1～2歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	3つの絵や写真の中から物の名前を言う と指さす		「ワンワンはどれ」などの問い掛けに、絵本などの絵や写真の中から該当するものを指さして答えることができれば○。	ポ
②	絵本を見て知っているものの名前を言う		動物や乗り物など身近なものがのっている絵本を見て発語があったら○。例:「犬(ワンワン)」「自動車(ブーブー)」など幼児語でもよい。	津守
③	指さしながら話しかける		「イコーイコー」「オンモ」のように、教師の洋服を引っ張ったりしながら話し掛ける。	津守
④	自分の名前を呼ばれると「ハイ」と返事をする		名前を呼んで「ハイ」と返事をすれば○。返事はしなが振り向くというのは×。	津守
⑤	「ちょうだい」「いや」を使う		欲しいものがあると「ちょうだい」と言ったり、いやなことをされたとき「だめ」「いやだ」「やめて」と言ったりしたら○。	津守
⑥	2語文を話す		「パパ かいしゃ」「アカイ ブーブー」「ワンワン きた」「マンマ ちょうだい」「あっち いく」「ママ ここ」などを話すようになったら○。	遠
⑦	日常の挨拶ができる		「おはよう」「ありがとう」など2つ以上正しく使えたら○。自分から先に言えなくても「○○ちゃん、こんにちは」などと挨拶されて答えても○。	S-M

3 (2～3歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	基本色を表す言葉を使う		基本色「赤」「青」「黄色」	鹿セ
②	「なあに」ときく		教師にいろいろなものを「これなあに」と尋ねることが多くなり、物の名前に関心をもつことができれば○。	津守
③	自分の姓名を言う		名前を聞かれたとき、名前だけでなく姓名が言えたら○。	遠
④	「なぜ」「どこ」などの質問をする		見聞きするあらゆるものについて自分から「あれなに?」「なんで?」「どうして?」などと質問を重ねる。	ポ
⑤	「が」「を」「に」などの助詞を使って話す		「～ちゃんが食べる」「牛乳を飲む」など助詞を使って話すようになったら○。	ポ
⑥	2語文の復唱をする		教師が言った文を繰り返して言う。例:「小さな人形」「赤いふうせん」「おいしいお菓子」など 2/3できたら○	遠
⑦	3語文で話す		3語文は助詞が入らなくてもよい。「パパ おしごと いった」「うさぎ にんじん たべる」	津守
⑧	自分の名前を入れて話す		自分のことを話すときに自分の名前を入れて話すようになれば○。例:「○○ちゃん のりたい」「△△ちゃん きょう バス のった」など	津守

4 (3～4歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	同年齢の子供と会話をする		同年齢の子供同士で簡単な会話ができれば○例:「～しようか」と誘う、自分が使いたいものを友達使っているとき「かして」と言う。	遠
②	助詞の入った3語文の復唱をする		教師の言った文を繰り返して言えたら○。例:「きれいな花が咲いています」「飛行機は空を飛びます」「上手に歌を歌います」など3つのうち2つ脱落なく完全に復唱できたら○	遠
③	自分の経験したことや見聞きしたことを教師などに3・4語文で話す		身振りやサインではなく、自分の経験したことや見聞きしたことを自分から話すことができれば○。例:「きのうは うみに いった。およいだよ。すいかも たべた」	S-M
④	ままごとで役を演じることができる		ままごと遊びで、身近な大人「お父さん」「お母さん」「お兄さん」「お姉さん」「赤ちゃん」などの役をすることができれば○。	遠
⑤	名詞、動詞以外の言葉を使い始める		過去、未来を表す言葉「きのう～した」「あした～へ行く」、接続詞「そして」「それから」、時間を表す言葉「あとで」「すぐ」「今」「今度」などの言葉を使って話すことができれば○。	ポ

⑥	簡単な伝言をする		簡単な伝言をすることができたら○。 例:「おばあちゃんが きたよ」	東京
⑦	表情や身振りで依頼や訴えをする		教師に表情や身振りで、してほしいことやほしいものなどを伝えることができたなら○。	東京
⑧	「ぼく」「わたし」と言う		会話の中に一人称を入れて話すようになったら○。	津守
⑨	基本形を表す言葉を使う ※算(図)3-①		基本形「○」「△」「□」	鹿セ

5 (4~5歳レベル)		チェック	解 説	参考文献
①	最初の音が同じ言葉をいくつか言う		例:「あ」がつく言葉をいくつか言う。「あり」「あめ」「あし」など。	ポ
②	両親の姓名、住所を言う		両親の姓名を正しく言い、住所は町の名前まで言えたら○。	遠
③	4語文の復唱をする		教師の言った文を繰り返して言う。 例:「子供が二人でブランコに乗っています」「山の上に大きな月が出ました」「きのうお母さんと買物に行きました」3つのうち2つ脱落なく完全に復唱できたら○。	遠
④	簡単なごっこ遊びをしながら自由に話す		ままごと、お店屋さんごっこなどでお互いに役を決めて、その役に合った話をしながら遊ぶことができたなら○。最初に決めた役が相談や報告もなく変わることはほとんどない。	津守
⑤	簡単な言葉で依頼や訴え、質問をする		身振りやサインではなく、言葉で表すことができたなら○。 例:依頼や訴え→「○○くんが いじわるをする」「あしたもあそぼうね」	東京
⑥	「あのね」「うんとね」「それから」などの言葉を使う		接続詞を使って話すことができたなら○。 例:「先生、あのね、遊園地に行つて、それから、レストランに行ったの。」など。	ポ
⑦	電話の簡単な対応ができる		電話が掛かってくると受話器を取って親に取り次いだり、留守を告げたり、相手の言うことを聞いているだけでなく、きちんと返事ができたりしたら○。	S-M

6 (5~6歳レベル)		チェック	解 説	参考文献
①	教師や友達に話し掛けたり、働き掛けたりする		「○○ちゃん あそぼう」「せんせい あのね」など話し掛けたり、誘ったりすることができたら○。	東京
②	自分の経験したことや見聞きしたことを教師などに簡単な言葉で話す		自分の経験したことや見聞きしたこと→昨日の出来事や今日の出来事	東京
③	簡単な伝言をする		例:「(家に帰って母親に)せんせいが あした きがえを もっておいでつて」	鹿セ
④	要望などを言葉で訴える		例:「きょうのごはんはカレーにしてね」	東京
⑤	友達と一緒に簡単なせりふのある劇をする		簡単なせりふのある劇の例:『おおきなかぶ』の「うんとこしょ、どっこいしょ」	東京
⑥	たずねられると家や保育所、学校などに行く道順を説明する		「おうちを出て、坂を登つて下がつて、横断歩道を渡つて…」など簡単な言い方でも○。	津守
⑦	両親やきょうだいの年齢に興味をもってたずねる		両親やきょうだいの年齢に興味をもち、「いくつ」「何歳」とたずねることができたら○。	津守
⑧	自分の発音に気付いてなおす		他人の発音と比較して、自分の発音が間違いに気付き、自分で訂正することができたら○。	津守
⑨	幼児語をほとんど使わないで話す		「マンマ」→「ごはん」、「プーピー」→「くるま」など	津守

7 (6~7歳レベル)		チェック	解 説	参考文献
①	身近なものや興味のあるものの名前を言う		身近なものや興味のあるものの例:「鉛筆」「学校」「ドラえもん」	東京
②	教師や友達の名前を言う		担任の先生等やクラスメイト、よく遊ぶ友達の名前を言えたら○。	東京
③	見聞きしたことや経験したことのあらましを家の人や教師などに話す		見聞きしたことや経験したことのあらましの例:「○○ちゃんが かみのけを きつてきたよ」など。	東京
④	話し合いや学級会などで、聞き手のほうを向いてはっきり話す		聞き手のほうを向いて話すことができたなら○。	東京
⑤	教師や家の人などに要件を落とさずに簡単な伝言をする		要点を抜かさない。子供の伝言だけで十分足りる。 例:「(家に帰つて母親に)せんせいが あした がっこうに きてくださいつて」	鹿セ
⑥	分からないときは尋ねる		様々な場面で迷つたり分からなくなったときに自分から教師に尋ねることができたら○。	ポ
⑦	自分の希望や意見を発表する		自分の気持ちや意思、希望などの大体の内容を話すことができたなら○。	東京
⑧	友達と一緒に簡単な劇などをする		簡単な劇の例:「3びきのこぶた」「ももたろう」など	東京
⑨	必要なときには丁寧な言葉で話す		言われてから修正するのではなく、自分で「必要なとき」を判断して話すことができたなら○。丁寧な言葉の例:「～です。」「～ます。」	東京
⑩	電話で身近な人と話をする		身近な人(家族や友達など)に「もしもし○○です。△△さんはいますか。」「はい、います。ちょっと おまちください。」「はい、そうです」「いいえ違います」などのやりとりができたら○。	東京

8 (7～8歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	状態や動作を表す言葉を使う		状態や動作を表す言葉の例:「かたい」「静か」「明るい」「走る」「寝る」	東京
②	事柄の順序をたどって経験したことを話す		学校や家、学園であったことを話すことができたなら○。例:「先生あのね、小さい花をみつけたよ。なめてみたら、味がなかったよ。つぶしてみたら種が入っていたよ。」など。	田・ビ
③	人に尋ねられたときは、はっきり応答する		見聞きしたことや経験したことのあらましの例:「○○ちゃんが、かみのけをきってきたよ」など。	東京
④	学級会や生徒会などで、自分の意見を述べられる		学級会や生徒会などで自分の意見をみんな分かるように話す、自分の意見を述べられたら○。	S-M
⑤	要件を落とさずに話す		「いつ」「どこで」「何が」「どうした」を使って話すことができたなら○。	鹿セ
⑥	必要なときには標準語で話す		言われてから修正するのではなく自分で「必要なとき」を判断して話すことができたなら○。	東京
⑦	自分の家に電話をかけて、電話の応答になれる		「もしもし、○○です。△△さんはいますか。」「はい、います。ちょっと おまちください。」「はい、そうです」「いいえ違います」など電話により目的を伝えられたら○。	東京
⑧	電話の種類と使い方をを知る		電話の種類と使い方ー固定電話(留守番電話・FAX)、公衆電話(お金、カード)、携帯電話	東京

9 (8～9歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	経験したことを相手に分かるように、できるだけ要点を落とさずに話す		家や学校、学園であったことを「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」を使って家や学校、学園等で経験したことを話すことができたなら○。	東京
②	場に応じた適切な挨拶や応答をする		言われてから修正するのではなく自分で判断して話すことができたなら○。	東京
③	学級会や生徒会などで、人の意見を聞き取り、自分の意見を話す		学級会や生徒会などで友達の見解のおよその内容が分かり、自分の意見をみんなに分かるように話し、反対や賛成の理由も言うことができたなら○。	東京
④	要件を落とさずに要領よく話をする		「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうした」を使って話すことができたなら○。	東京
⑤	敬語を適切に使う		言われてから修正するのではなく自分で判断して、先生や実習先などで話すことができたなら○。	東京
⑥	目上の人には丁寧な言葉を使える		仲間同士で使うようなぞんざいな言葉遣いをしないで「～です」「～ます」など丁寧な言葉で話すことができたなら○。	S-M
⑦	電話で応答し、必要に応じて伝言を受ける		「今○○は出掛けています。」「明日の野球の試合は十時からですね。伝えておきます。」「お願いします。」など場面や状況に応じて伝言を受け、取り次ぐことができたなら○。	東京

10 (9歳以上)		チェック	解 説	参考 文献
①	自分の意見の要点をはっきりさせて話す		自分の意見の要点→結論や理由	東京
②	経験したことを擬声語や擬態語も交えて的確な表現で話す		擬声語→自然現象の音にまねて作った語 例:「こけこっこ」 擬態語→物事の状態、身振りをそれらしく表した語 例:「にこにこ」「べったん」	東京
③	相手の立場を考えて話す		相手の気持ちを害するような話をしない。話の内容を相手によって選ぶことができたなら○。	S-M
④	相手や場にふさわしい挨拶や応答をする		言われてから修正するのではなく自分で判断して、お客さんや実習先などで話すことができたなら○。	東京
⑤	学級会や生徒会などで、人の意見に関連させて自分の意見を述べる		「○○さんが～言いましたが、私は・・・。」など人の意見に関連させて自分の意見を言うことができたなら○。	東京
⑥	筋道を立てて必要な内容を正確に話す		「いつ」「どこで」「だれが」「どうして」「どうした」の必要な条件を入れて話すことができたなら○。	東京
⑦	敬語を正しく使い分けて話す		尊敬語(「お～になる」「ご～になる」「れる」「られる」)や謙譲語(「申す」「いただく」「さしあげる」)、丁寧語をほぼ正しく使うことができたなら○。	S-M
⑧	電話の取り次ぎや適切な応答をする		「○○さんのおたくですか。」「いらっやいますか。」「留守にしています。」「お電話変わりました。」など場面に応じた対応ができたなら○。	東京
⑨	携帯電話やファックスで相手と応答する		携帯電話での応答、メールやFAXでの送受信ができたなら○。	東京

国語（聞く）

1 (0～1歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	音によって反応する		ドアの閉まる音や手をたたく音など、何らかの反応(ビクッとする/音のした方を見る)があれば○	MEPA
②	あやすと顔を見て笑う		大人があやしたときに、はっきり笑うようになると○	津守
③	音のする方に顔を向ける		鈴やガラガラなどを鳴らして、音のする方に顔を向けたら○	ポ
④	動くものを目で追う		好きなおもちゃなどを動かして、それを目で追えば○	MEPA
⑤	母の声と他人の声を聞き分ける		他人の声ではあまり反応がなく、母親の声に表情が変わったり、動きが活発になるなど、声の違いが聞き分けられるようであれば○	遠
⑥	言語要求を理解し、反応する		「ちょうだい」「おいで」「ねんね」と言って、三つともできたら○	遠

2 (1～2歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	簡単な指示や要求に応じる		「～してちょうだい」、「～を持ってきて」、「～のところへ行きなさい」「牛乳をもってきてちょうだい」、「ボールを持ってきなさい」と言って、できたら○	MEPA
②	「お手手はどれ」「あんよはどれ」とたずねると、自分の手足を出す		「目、口、耳、手、足、腹」のうち、「あなたの口はどれですか」と聞いて、4/6できたら○	遠
③	本を読んでもらいたがりせがむ		動物、乗物などの簡単な話の絵本を読んでもらうことを好めば○ アルバムでも○	遠
④	簡単な質問に答える		「ママはどこ?」と聞いて、「あっち」「かいしゃ」などと答えられたら○	津守

3 (2～3歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	「～シテ～スル」という二つの関係が分かる		「ボールを床に置いて、蹴りなさい」「牛乳を飲んで、コップを台の上に置きなさい」「窓のところにいって、カーテンを開けなさい」などと言って、そのとおりできたら○	ポ
②	身近な名詞を聞いて写真や絵を選ぶ		「飛行機、手、家、かさ、くつ、ボール、いす、はさみ、時計、葉、馬、めがね、テーブル、ピストル、木、」のうち13/15できたら○	田・ビ
③	見慣れた物の用途を言うと、その物を指さす		歯ブラシ、石けん、掃除機、ボール、スプーン、コップなど10個以上できたら○	ポ
④	2数詞を復唱する		教師の言った数字を繰り返して言う。 「5-8」、「6-2」、「3-9」が2/3できたら○	遠
⑤	物の位置関係(上・下)を表す言葉を含む命令に従う		「ボタンを箱の上に置きなさい」「棚の上にタオルを置いて」「カップの下に皿を置いて」と言ってできたら○ ※前後、横は4-5歳の段階	ポ
⑥	テレビで子供が主人公になっている物語を熱心に見る		「ピノキオ」や「赤ずきんちゃん」を熱心に見れば○	津守

4 (3～4歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	集団の中で名前を呼ばれると返事をする		「はい」と返事をしたり、手を挙げたりしたら○	津守
②	聞いていた話がとぎれそうになると催促する		「そしてどうしたの?」など聞いてきたら○	津守
③	簡単な指示に従う		「速く走っておいで」、「ゆっくり歩いておいで」と言って、両方できたら○	鹿セ
④	カテゴリーで実物、絵、写真などを分類する		例)食べ物、乗物、動物 「りんご、バナナ、みかん」をまとめて「果物」と言えたら○	ポ
⑤	日常、目に触れているものの特徴を聞くと正しく答えを指さす		「帽子…かぶるもの」、「茶碗…ご飯を食べるときに使うもの」、「本…読むもの」のうち2/3できたら○	鹿セ
⑥	ことばによる指示に関連のない二つの動作をする		「私のところへ本を持ってきて、それから、ドアを開けて」「ボールを拾って、それから帽子をかぶって」と言って、そのとおりできたら○	ポ
⑦	3数詞を復唱する		教師の言った数字を繰り返して言う。 「7-5-9」、「2-8-3」が1/2できたら○	田・ビ

5 (4～5歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	左右の弁別をする		「あなたの右手はどれですか?」、「左の眼は?」、「右の耳は?」と聞いて、左右の区別がはっきりできれば○	遠
②	4数詞を復唱する		教師の言った数字を繰り返して言う。 「5-2-4-9」、「6-8-3-5」、「7-3-2-8」が2/3できたら○	新K
③	2数詞の逆唱をする		教師の言った数字を順序を逆にして言う。 「3-1」→「1-3」、「2-9」→「9-2」が1/3できたら○	新K
④	三つの簡単な命令ならば同時に言いつけても覚えて順々に行う		「隣の部屋に行って ボールを持ってきて 先生にちょうだい」「靴をとって 座って はきなさい」と言って、そのとおりできたら○	ポ
⑤	色の名を8つ言う		「赤、青、黄色、緑、白、黒、桃色、水色、橙色、灰色」など、色の名を8つ言えたら○	ポ
⑥	「た」のつく語、「か」のつく語などと言って見つけて遊ぶ		「たんす、たぬき」、「かめ、からす」など2つ以上言えたら○	津守

6 (5～6歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	教室で、話をする人の方を見て聞く		教室で教師や友達が話をしているとき、促されなくても、その人の方を見て聞くことができれば○。	東京
②	友達からの働きかけや呼びかけに応じる		友達から遊びに誘われたり呼びかけられたりしたときに、遊びに加わったり答えたりすることができれば○	東京
③	簡単な童話、放送、録音などを楽しく聞く		グリム童話やイソップ童話などを聞いて喜べば○	東京
④	絵本、紙しばい、まんが、劇、VTR、テレビ、映画などを見たり聞いたりし、興味のあるものを言ったり、動作で表現したりする		長い物語を途中で飽きることなく集中して聞くことができたり、好きな物語に出てくる登場人物の動きやせりふをまねしたりすることがあれば○。	東京
⑤	「一番多い、一番少ない」を聞かれると答える		「お皿から一番いっぱい取ったのは誰？」に答えられたら○	ポ
⑥	聞き慣れないことばの意味を聞く		物語や会話のなかで、ことばの意味を質問してきたら○	ポ

7 (6～7歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	話を終わりまで静かに聞く		教師や友達の話を最後まで聞くことができれば○	東京
②	物語などを聞いて、おおよその内容が分かる		登場人物やあらすじをたずねられたとき、挿絵などを見ておおまかに答えることができれば○	東京
③	教師などの説明、友達の話、簡単な放送、録音などを聞いて、内容のあらましが分かる		「明日、あやまる岬に遠足に行きます。弁当と水筒、雨具を忘れないように持ってきてください。」という話を聞いて、質問に答えられたら○	東京
④	5数詞の復唱をする		教師の言った数字を繰り返して言う。 「3-1-7-5-9」、「5-2-4-7-3」が1/2できたら○	新K
⑤	3数詞の逆唱をする		教師の言った数字を順序を逆にして言う。 「2-9-5」→「5-9-2」、「8-1-6」→「6-1-8」が1/3できたら○	新K
⑥	話を終わりまで注意して聞いたり、分からないときは聞き返したりする		友達の感想発表などのときに最後まで聞き、分からないことを訪ねることができたら○	東京

8 (7～8歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	簡単な放送や録音などの内容の要点がわかる		「いつ、どこで、だれが、どうした」が分かれば○	東京
②	4数詞の逆唱をする		教師の言った数字を順序を逆にして言う。 「6-5-2-8」→「8-2-5-6」、「4-9-3-7」→「7-3-9-4」が1/2できたら○	新K
③	簡単なメモをとったりして、指示や説明を聞く		「今から自由時間です。グループごとに買物をしてください。13:30までに□□文具店の前に集合します。必ずトイレを済ませてから集まってください」という話を聞いて、「集合時間、集合場所、トイレを済ませてから集合すること」のメモがとれたら○	東京
④	指示や説明を聞き取って行動する		要件（「いつ」「どこで」「何を」「どうした」）を落とさずに聞き取り、行動することができたら○。	東京

9 (8～9歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	放送や録音の内容が分かる		ニュースを聞いて質問に答えられたら○	東京
②	話の内容の要点を落とさないように聞き取る		「いつ、どこで、だれが、どうして、どうなった」が分かれば○	東京

10 (9歳以上)		チェック	解 説	参考 文献
①	物語などを聞いて、登場人物の気持ちが分かる		「ごんぎつね」や「白いぼうし」を聞いて、質問に答えられたら○	東京
②	話し手の意図や気持ちを考えながら、内容を適切に聞き取る		TV等で何かを訴えている人の話を聞いて、質問に答えられたら○	東京
③	テレビ、ラジオなどを聞き、必要な情報を得る		台風情報を聞いて、質問に答えられたら○	東京

国語(読む)

1 (0~1歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	物、顔などをじっと見つめる		人の顔やものをじっと凝視していることがあれば○	津守
②	見たものを目で追う		顔やガラガラなど動く物を目で追うこと(追視)ができれば○	津守
③	鏡に映った自分の顔を注視する		鏡に映った自分の顔を見て笑いかけたり見つめたりすることができれば○	遠
④	身近なものを見つめたり、手を伸ばしたり、つまんだりする		身近なものを見せると、凝視したり、取ろうと手をのばしたり、つまもうとしたりすれば○	鹿セ
⑤	身体のそばにある物に手を伸ばす		子どもたちの興味のある物に手をのばすことができれば○	鹿セ
⑥	本の絵を見る		動物、乗物などの絵本の中にある絵を少しの間でも見るのができれば○	鹿セ
⑦	目の前にある物を視線からははずすと目でさがす		玩具などゆっくりと子供の視線からははずすと、物を目で追うようにさがすことができれば○	ポ

2 (1~2歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	「イスは？」など簡単な質問を聞き、正しく指差す		椅子など身の回りにある物や子どもの興味のある物の絵などを見せながら「イスは？」などと聞き、正しく指さすことができれば○(10個以内)	鹿セ
②	絵本をみて、知っている物の名前を言ったり、指したりする		絵本を見て「ワンワンはどこ？」とたずねるとそのものを指さすのみで命名できなければ△。自動車を指して「これはなに？」と聞けば「ブーブー」というように物の命名ができれば○。1つでも答えることができれば○。(絵本でなくても実物でも可)	津守
③	絵本読んでもらいたがる		動物や乗り物など簡単な話の絵本を何度も読んでほしいがれば○。言葉でせがまなくても、行動で示すことができればよい。	津守
④	絵本に出てくる身近な動物や事物に興味をもってみる			津守
⑤	本を読んでいるように、しきりに何かを言う		言っていることがはっきりしなくても、または言葉になっていなくても、声を出してさも絵本を読んでいるように、または話しているように何かを言っていれば○	鹿セ
⑥	お話を聞くことが好きになる		物語の絵本、または絵本なしで身近の話や物語を聞かせてあげると喜ぶようになれば○	津守

3 (2~3歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	物の名を聞いてその絵を指す(15個ぐらい)		身近な物の名前を聞いてその絵を指すことができれば○	鹿セ
②	物の用途がわかる。		「水を飲む時に使う物はどれ？」→「コップ」を指したり、答えたりする。「本、鉛筆、時計、椅子、電灯」全部指すことができれば○	遠
③	動作を書いた絵を見て正しく指す		泣く、笑う、歩く、座る等の動作を表した絵を見せて「泣いているのはどれ？」とたずね、正しい絵を指すことができれば○	鹿セ
④	自分の身体の部分に分かる		「あなたの目はどれですか」などと聞いて自分の身体の部分を指す。目・耳・口・手・足等3つ以上分かれれば○	遠
⑤	大きい、小さいがわかる		大きい○と小さい○を紙に書き、「大きい丸はどれですか？」「小さい丸はどれですか？」と聞き、正解できれば○。	遠
⑥	くつ箱、帽子かけなどの自分の印がわかる		棚などの自分の印(絵などマーク等)が分かり指さしたり教師に教えたりすることができれば○	鹿セ
⑦	好きな本を自分でさがし、読んでもらって楽しむ		自分で本(文がなくてもよい)をさがして教師などに読んでもらうことを喜ぶようになれば○	東京
⑧	話の筋のある簡単な絵本を見たり読んでもらったりして喜ぶ		話の筋のある簡単な絵本「ねずみくんシリーズ」等を見たり読んでもらったりして喜ぶようになれば○	鹿セ

4 (3~4歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	日常目に触れている物の特徴を聞くと、正しい答を指せる		「音の出るもの(ラッパ)」「空を飛ぶもの(飛行機)など特徴を正しく答えることができれば○。	東京
②	図形や絵などの異同がわかる		2つのものが組になっている絵や図形を見せて、同じ絵の時は同じ、違う絵の時は違うと答えることができる。「鳥、魚、ヘリコプター、人間、星、動物、自動車、かえる、花」など9問全部正解できれば○。	田・ピ
③	自分の名前がわかる		読めなくても字の雰囲気から自分の名前が分かれば○。	鹿セ
④	絵本をみながら、子供同士いろいろなことを話す		登場人物のことなど「かわいい」「車だね」「犬さんだ」等子供同士で話すことができれば○。	津守

5 (4~5歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	前後・上下を理解する ※算(図形)7-③		教師の言葉掛けで、自分の前後・上下などを指で指したり言ったりすることができれば○	鹿セ
②	人物の絵の脱落を発見する(目・鼻・口・手)4/4		物の絵を見せて足りないところを答えたり指したりすることができる。目・鼻・口・手等	田・ピ
③	自分の名前が読める		平仮名で書かれた自分の名前を読むことができるようになれば○。姓は読めなくてもよい。	津守
④	子供カルタをほとんどとる		字や絵を見て、取ることができれば○。	津守
⑤	絵本などの文字に関心をもち読もうとする		絵本などの文字に関心をもち、読もうとすれば○。絵本の種類は、こだわらない。	鹿セ

6 (5～6歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	左右の弁別をする		左手・右手・左耳・右耳・左目・右目等、左右の区別がはっきりできる。	遠
②	お話を聞いて「何て書いてあったの？」と聞くと題名や簡単な内容が言える		例えば、「桃太郎」を読んだ場合、「ももたろう」「桃太郎が鬼をやっつけた話」程度答えられたら○。	鹿セ
③	目・耳・鼻・口・手・足の身体の動きが説明できる		目→物を見る、耳→聞くもの、鼻→においをかぐ等正しく答えることができる。	田・ビ
④	分からない字があると大人に聞く		大人に分からない字の読み方や書き方をたずねるようになる。	津守
⑤	平仮名の短い言葉を、一字ずつひろい読みする		おとうさん、おかあさん、絵本に出てくるとば等拾い読みをすることができる。	津守
⑥	身近な生活の中で目にふれる標識や看板などに関心をもつ		身近な生活の中で目にふれる標識や看板など見て店などの名前を言ったり指したりする。	鹿セ

7 (6～7歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	平仮名を、ほとんど全部読む		平仮名で書かれた語句を読むことができる。	津守
②	絵本の字を、意味の通じるように読む		絵本の字のような簡単な字を意味の通じるように読む。すらすら読むところまでいなくてもよい。	津守
③	片仮名や、よく使われる簡単な漢字を読む		よく目にふれる片仮名や簡単な漢字を読むことができる。	東京
④	本や易しい物語を読むことに興味をもつ		【5(4～5歳レベル)】⑤より、文字・文章の多い本の中の本を教師や友達が見ているときに一緒に見るなど興味を示すようになったら○	東京
⑤	簡単な看板・立て札・表示などの意味が分かる		よく目にふれる標識、案内板、看板、ポスター、広告などの意味が分かりそれに対応した処置や行動ができたなら○。例：信号、横断歩道、道路標識、店名、バス停、料金表など	東京
⑥	自分の書いた文や文章を読む		自分の書いた文や文章を読むことができる。	東京
⑦	読み方や意味の不明な文字や語句に注意する		誤字・脱字等を気を付けて読む、または周りの指摘でなおすことができる。	東京

8 (7～8歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	簡単な漢字の入った易しい読み物を読む		簡単な漢字の含まれた読み物を読むことができたなら○。絵本でもよい。	東京
②	日常生活に必要な標識や広告などをできるだけ正しく読む		よく目にする標識や広告を正しく読むことができる。	東京
③	易しい読み物を進んで読もうとする		文字・文章が少し多い本を選んで読もうとする。	東京
④	自分の書いた文章を読み返して、間違いを正そうとする		誤字・脱字に気づいたら、自分で言い直すことができる(正しい文にできる)。	東京
⑤	時間的な順序、場面の様子の移り変わり、事物の順序を考えながら内容を読み取る		時間的な順序「まず・次に・そして・それから…最後に」を使い、言葉でお話を簡単に説明できる。例)まず、桃太郎は犬に会って、次にキジに会って、…もっと詳しく話せてもよい。	東京
⑥	人の気持ちや場面を想像しながら読む		お話を読んで、「どんな気持ちだったかな？」と聞くと答えることができる。	東京

9 (8～9歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	いろいろな読み物を読もうとする		「忍たまシリーズ」「乗り物図鑑」など、ジャンルに偏りなく、読む。	東京
②	目的に応じて、中心となる語や文をとりえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読む		説明文などのやや長めの文章のキーワードやキーセンテンスをさがすことができる。	東京
③	書かれている内容の中心や場面の様子がよく分かるように声に出して読む		声の大きさ、リズムや速度、抑揚に気をつけて読む。	東京
④	読んだ内容について、感想をまとめたり自分ならどうするかについて考える		あらすじが分かり、簡単な言葉で感想を言ったり、自分ならどうするか考えたり発表したりする。	東京

10 (9歳以上)		チェック	解 説	参考 文献
①	新聞を読む(子ども新聞でもよい)		新聞や雑誌などを、見たり、読んだりする。	東京
②	ローマ字に関心をもち、読む		ローマ字を、読む。	鹿セ
③	場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読む		海が赤く染まってきた→「夕方になった」等想像しながら読む。	東京
④	目的に応じて大事な事柄をまとめたり、必要ところは細かい点に注意したりしながら文章を読む		自分が知りたいこと(「時間」「交通方法」等)が何かを知り、その点を重視して文を読む。	東京
⑤	日常生活に必要な領収書、説明書などがわかる		身近な説明書、納品書、請求書、レシートなどを読むことができ。	東京
⑥	分からない言葉を辞書を活用して調べる		辞書の使い方が分かり、自分で分からない言葉は辞書で調べることができる。	東京

国語（書く）

1（0～1歳レベル）		チェック	解 説	参考 文献
①	鉛筆やクレヨンを持つ		親指と他の指でつかみ、それを持ったり放したりできれば○	鹿セ
②	まねてなぐりがきをする		1枚の紙を置き、クレヨンの持つほうを子どもたちに向けて紙の上に置く。クレヨンで描いてみせる。子どもが描く状態でクレヨンを持ち、紙にクレヨンの端を付けて何かを描けば○。	S-M

2（1～2歳レベル）		チェック	解 説	参考 文献
①	自らなぐりがきをする		1枚の紙を置き、クレヨンや鉛筆の持つほうを子どもに向けて紙の上に置き、子どもにやらせてみる。手本や教示なしで子どもが紙の上に何か書いたら○	鹿セ
②	鉛筆などでぐるぐるまるをかく		1枚の紙を子どもの前に置き、鉛筆などを持たせる。教員が鉛筆を持って、ぐるぐる丸をかく。子どもがまねてかいたらかければ○	遠

3（2～3歳レベル）		チェック	解 説	参考 文献
①	横線をまねてかく ※算(図)3-③		クレヨンで子どもの方から見て左から右に、2度描いて見せた後、クレヨンを子どもに渡してかけたら○	ポ
②	縦線をまねてかく ※算(図)3-③		クレヨンで子どもの方から見て手前から向こうへ、2度描いて見せた後、クレヨンを子どもに渡してかけたら○	ポ
③	丸をまねてかく ※算(図)3-②		クレヨンで丸を2度描いて見せた後、クレヨンを子どもに渡してかけたら○ 少し楕円形になってもよいが、つながっていることが必要。	S-M

4（3～4歳レベル）		チェック	解 説	参考 文献
①	丸を完全にまねてかく		子どもに白い紙とクレヨンで描いた円とを渡す。子どもに紙に描いてある円と同じ円を描いてごらんという。子どもが一筆で角のない極端な重なりのない閉じた輪を描いたら○。	鹿セ
②	十字をまねてかく ※算(図)4-②		子どもに鉛筆を持たせ、教員が紙に十字を書き、その通り書くように言う。大体正しくかければ○。	鹿セ

5（4～5歳レベル）		チェック	解 説	参考 文献
①	四角形をまねてかく		紙に描いてある正方形を見て、同じように書ければ○。角が閉じられていること。角が丸くなっていないこと。辺は多少曲がっていてもよい。	S-M
②	間違えると消しゴムを使ってなおす		消しゴムを使ってなおすことがあれば○。	鹿セ

6（5～6歳レベル）		チェック	解 説	参考 文献
①	分からない字があるとおとなに聞く		分からない字があったときにおとなに聞くことがあれば○。	東京
②	点線の上をなぞって書く		文字を点線で書き、それをなぞって書ければ○。	東京
③	自分の名前をひらがなで書く		ひらがなが全部書けなくても自分の名前をひらがなで書ければ○。	東京
④	三角形をまねてかく ※算(図)6-①		紙に描いてある三角形を見て、同じように書ければ○。角が閉じられていること。角が丸くなっていないこと。	S-M

7（6～7歳レベル）		チェック	解 説	参考 文献
①	ひらがなの簡単な語句を見て書き写す		鉛筆を3指で正しく持ち、紙から30cm程度目を離して書ければ○。	東京
②	進んで文字を書こうとする		くつ、て、うしなどを見て書き写せれば○。	東京
③	簡単な語句や短い文をひらがなや片仮名で書く		知っている言葉や名前を自ら紙に書こうとすれば○。	東京
④	簡単な絵日記を書く		教員の言った言葉、例えばえんそく、トランプであそびましたなど書ければ○。	東京
⑤	自分の名前などを漢字で書く		昨日や今日のことを絵に描き、それに短い文を付けられれば○。	東京
⑥	教師と一緒に簡単な手紙を書く		自分の名前や家族の名前などを漢字で書ければ○。	東京
⑦	ひし形をまねてかく		お手本を見ながら年賀状や暑中見舞いなどを書ければ○。	ポ

8 (7～8歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	見聞きしたことや経験したことなどについてできるだけ順序立てて書く		教員がすることをよく見ておくように言った後、「箱を持って教室に入ってきて、その箱を開け、中から物を取り出す。」その様子を、順序よく書ければ○。	鹿セ
②	簡単な手紙文や日記を書く		運動会や学習発表会の前に、来てもらいたい人に手紙を書いたり、日記を書いたりする。日時や場所などを入れて、手紙を書いたり、思い出を日記に書ければ○。	東京
③	簡単なメモをとる		明日、持ってくる物や保護者への伝言を話し、それをメモに取れたら○。	S-M
④	句点、読点などに注意して書く		日記や手紙を書くときに、「，」や「。」を入れて6割程度正しく書ければ○。	東京
⑤	よく使われる簡単な漢字の書き方や使い方がわかる		日記や手紙を書くときに、小1程度の漢字が使われていれば○。	東京
⑥	長音、拗音、促音、撥音、助詞「を、は、へ」などを正しく書く		長音「おとうさん」拗音「きゅうり」促音「きって」撥音「とんぼ」、助詞「を、は、へ」などを7割程度正しく書ければ○。	東京

9 (8～9歳レベル)		チェック	解 説	参考 文献
①	経験した事柄を順序立てて要領よく書く		遠足等のみんなと同じ経験をしたことについて、順序立ててポイントを絞って書ければ○。	東京
②	手紙を書く		お世話になった人に手紙を書いたり、近況報告をすることができれば○。	東京
③	要領よくメモをとる		教員が話したことを、だいじなことを落とさずにメモが取れていれば○。	東京
④	句点、読点、かぎなどを正しく使う		日記や手紙を書くときに、「，」や「。」や「。」を入れて7割程度書ければ○。	東京
⑤	よく使われる漢字の書き方や使い方がわかる		日記や手紙を書くときに、小2程度の漢字が使われていれば○。	東京
⑥	ペンや毛筆などを使って書写する		お手本をペンや毛筆などを使って、よく見て書き写せれば○。	東京
⑦	自分の履歴書などを手本を見て書き写す		履歴書の手本を見て、書き写すことができれば○。	東京

10 (9歳以上)		チェック	解 説	参考 文献
①	指示や説明を正しく聞き取り必要な場合はメモをとる		遠足や宿泊学習等についての指示や説明を正しく聞き取ることができたり、必要な時はメモが取れれば○。	東京
②	ローマ字に関心を持ち、書く		ローマ字で自分の名前を書ければ○。	東京
③	経験した事柄を順序だてて自分の意見や感想をまじえながら要領よく書く		遠足等のみんなと同じ経験をしたことについて、順序立てて、自分の意見や感想をまじえながらポイントを絞って書ければ○。	東京
④	句点、読点、かぎなどを正しく使って文章を書く		日記や手紙の中に「，」「。」を8割程度正しく使って書ければ○。	東京
⑤	漢字や片仮名を正しく使って、文章を書く		文章を聞きとりながら、漢字や片仮名を使って8割程度書ければ○。	東京
⑥	領収書、諸届、申込書を正しく書く		領収書、欠席届、申込書などに名前や日付等を正しく記入できれば○。	東京
⑦	自分の履歴書を様式に従って正しく書く		自分の履歴書を手本を見ないで様式に従って書ければ○。	東京
⑧	自分の思ったことを作文する		自分の思っていること(ニュースで見聞きしたことや学校生活、家庭生活のなかでのことなど)を作文にすることができれば○。	東京
⑨	自分の思ったこと・感じたことを詩や短歌・俳句にする		自分の思ったこと、感じたことを詩や短歌(5・7・5・7・7)や俳句(5・7・5)にすることができれば○。	東京

チェックリスト
算数・数学

算数・数学

発達段階チェックリスト

氏名	
----	--

記入者名		記入年月日		記入者名		記入年月日	
小 学 部	1年		平成 年 月 日	中 学 部 高 等 部	1年		平成 年 月 日
	2年		平成 年 月 日		2年		平成 年 月 日
	3年		平成 年 月 日		3年		平成 年 月 日
	4年		平成 年 月 日		1年		平成 年 月 日
	5年		平成 年 月 日		2年		平成 年 月 日
	6年		平成 年 月 日		3年		平成 年 月 日

使用上の注意

- 不注意による間違いを考慮し，8割程度できれば項目を達成していると判断する。
- 達成している項目は「小1」の様に学年を枠の中の上側に書く。達成できていない項目には何も書かない。
- 後退し，以前できていた項目ができなくなってしまった場合には枠の中の下側に青ペンで×と学年を書く。その後，できたときに赤ペンで×の上に○を書き，学年を記入する。
- 裏表紙に発達段階の推移のグラフを作成する。発達段階の判断は「全項目が全て達しているレベル」とする。
- 発達段階とは関係なく，毎回全ての項目をチェックする。

鹿児島県立大島養護学校

発達段階の推移

発達段階	10													
	9													
	8													
	7													
	6													
	5													
	4													
	3													
	2													
	1													
		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3 学 年	

数と計算

発達段階	10													
	9													
	8													
	7													
	6													
	5													
	4													
	3													
	2													
	1													
		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3 学 年	

量と測定

発達段階の推移

発達段階	10													
	9													
	8													
	7													
	6													
	5													
	4													
	3													
	2													
	1													
		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3 学 年	

図 形

発達段階	10													
	9													
	8													
	7													
	6													
	5													
	4													
	3													
	2													
	1													
		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3 学 年	

数 量 関 係 ・ 実 務

算数・数学

発達段階チェックリスト記入のための説明書（案）

算数（数と計算）

※ 不注意による間違いを除き、各項目で指定した割合以外の場合、8割できれば達成していると判断する。

【1（0～1歳レベル）】

- ① （例）教師から1個ずつ渡されたおはじきをカップに1個ずつ入れることができる。3個まで入れることが1/2回できたら○。

【2（1～2歳レベル）】

- ① 教師に聞き取ることのできる言葉で、1～3までの数唱を1/2回することができたら○。
- ② （例）教師から興味関心のある具体物（おはじきなど）を1つ受け取り、「もう一つちょうだい」と言葉で言ったり、ジェスチャーで意思表示をすることができたら○。

【3（2～3歳レベル）】

- ① 教師の「に」という言葉かけで、5個ある具体物（積み木）の中から2個をとることができたら○。
- ② 教師に聞き取ることのできる言葉で、1～5までの数唱を1/2回することができたら○。
- ③ 1～3までの数字を読むことができ、言葉を頼りにして書くことができたら○。

【4（3～4歳レベル）】

- ① 具体物（おはじきなど）を使って、1・2・3個をそれぞれが仕切つてある物を見て、数の大きいもの、小さいものがわかれば○。
- ② 枠の中に、教師の置いた具体物（おはじきなど）の数を見て、全部で3個になるように、手元の5個の具体物からとり、置くことができる。また、枠の中の3個の具体物を、2つに分けることができる。以上の2つができたら○。
- ③ 具体物（おはじきなど）を使って、5までの個数を数えることができる。また、具体物（おはじきなど）の個数と数字を一致させることができる。以上の2つができたら○。
- ④ （教師と一緒にでも可）歩く歩調に合わせて、1～10までの数を言うことができたら○。

【5（4～5歳レベル）】

- ① 50までの数唱を言葉で言うことができる。または、文字で書いて伝えることができる。
- ② 具体物（おはじきなど）を使って、10までの個数を数えることができる。また、具体物（おはじきなど）の個数と数字を一致させることができる。以上の2つができたら○。
- ③ 「1+1」、「2+3」などの式を用いて、和が5までの足し算ができたら○。
- ④ 1～10までのランダムな数字の読みと書きができたら○。

【6（5～6歳レベル）】

- ① 具体物を用いずに、2つの10までの数字を見比べ、大小を伝えることができたら○。
- ② 100までの数唱を言葉やで言うことができる。または、文字で書いて伝えることができた○。
- ③ 20までの具体物（おはじきなど）の個数を数えることができ、数字で表すことができた○。
- ④ 具体物（おはじきなど）を、2, 4, 6, 8, 10まで数えることができた○。
- ⑤ $3+4=$ などの、和が10までの式で表したたし算ができたら○。
- ⑥ $5-2=$ などの、差が5までの式で引き算ができたら○。
- ⑦ 具体物（おはじきなど）を使って、5までの数の合成・分解ができたら○。
- ⑧ 99までの2桁の数字を読むことができ、書くことができた○。

【7（6～7歳レベル）】

- ① 2桁同士と3桁同士の数字を比べてどちらが大きいかわかると言えたり、指さしできたりしたら○。
- ② 具体物（おはじきなど）を10個ずつのグループに分け、10, 20, 30…と数えることができ、更に、具体物（おはじきなど）を100個ずつのグループに分け、100, 200, 300…と数えることができた○。
- ③ 999までの数字を読むことができ、読み上げた数字を書くことができた○。
- ④ 具体物（おはじきなど）を使って、10までの数の合成・分解ができたら○。
- ⑤ $7+8=$, $6+5=$ などの繰り上がりのある式のたし算ができたら○。
- ⑥ $12-3=$, $15-7=$ などの繰り下がりのある引き算ができたら○。
- ⑦ 時間はかかっても、20からの逆唱を正確に言うことができた○。
- ⑧ 0が何も無いことを理解することができた○。

【8 (7～8歳レベル・小2)】

- ① 4桁の数字同士を比較し、大小関係が正確に分かれれば○。
- ② 4桁の数字の読み書きが正確にできたときに○。
- ③ 繰り上がりのある2桁同士のたし算が8割程度できれば○。
- ④ 繰り下がりのある2桁同士の引き算が8割程度できれば○。
- ⑤ かけ算九九が分かり、1桁同士の乗法をすることができれば○。

【9 (8～9歳レベル・小3)】

- ① 5桁の数字同士を比較し、大小関係が正確に分かれれば○。
- ② 5桁の数字の読み書きが正確にできたときに○。
- ③ 3桁同士の繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法が8割以上できたら○。
- ④ 「2の3倍は6、2の3つ分が6」など、整数倍の数や意味を正確に答えることができ、「 $1 \div 3$ は1を3つに分けた1つ分」などの数や意味を正確に理解することができたら○。
- ⑤ 2桁同士の乗法を、筆算で8割以上正確に答えることができたら○。
- ⑥ $15 \div 3 =$ 、 $84 \div 4 =$ などの余りのない割り算を8割以上できたら○。
- ⑦ 「○○から何時間経った」、「○○まで何時間ある」、「○時から○時までは何時間ある」などの計算や「○○まであと何日」、「○○から何日経った」などの日数の計算ができたら○。

【10 (9歳～・小4～)】

- ① 2億 $=2000000000$ 、3兆 $=3000000000000000$ であることを理解し、読み書きができたら○。
- ② 298は300、102は100などの概数として用いることができたら○。
- ③ 四捨五入の意味が分かり、指定された位で四捨五入をすることができる。
- ④ 3桁の整数同士の乗法が8割以上できたら○。
- ⑤ 3けた \div 2桁の余りのない除法を8割できたら○。
- ⑥ 小数の余りのない除法が8割できたら○。
- ⑦ 小数を小数点を意識して正確に読み書きができたら○。

算数・数学「量と測定」

※ 不注意による間違いを除き、各項目で指定した割合以外の場合、8割できれば達成していると判断する。

【2 (1～2歳レベル)】

- ① 同じコップを二つ用意し、コップからコップへ水を移すことができたら○。
- ② 興味関心があるものが高いところにあったとき、台を使ってとることができたら○ または、教師にとってもらうようお願いすることができたら○

【3 (2～3歳レベル)】

- ① (例) おやつが多いイラストと少ないイラストを見せて、どっちがいい?という問いかけに、多いほうを選ぶことができる。
- ② 「速く走る、遅く歩く」等の教師の指示に対して、行動できていたら○
- ③ (例) 挨拶を区別している。起きてから食べるのは、朝ごはん等の区別ができている。
- ④ イラストや具体物を用意して、熱いのどっち?冷たいのどっち?と問いかける。4/5できたら○

【4 (3～4歳レベル)】

- ① チャイムやタイマーが鳴って、反応したり、行動を切り替えたりする様子が見られたら○
- ② 数が異なる具体物を見せ、どちらがいっぱい・たくさん・多い・少ない等問いかける。4/5できたら○

【5 (4～5歳レベル)】

- ① (例) 明日・今日・昨日などの意味が分かる。
- ② (例) 「今何時?」「何の針から授業は始まりますか?」等教師に問いかけることがある。
- ③ イラストや具体物を比べ、長い・短い、広い・狭い、重い・軽いを答えることができる。
- ④ 大きさの異なる具体物を大きい順に並べたり、小さい順に並べたりすることができたら○

【6 (5～6歳レベル)】

- ② (例) 時計を1時半に合わせて、「1時半」と答えることができる。
- ③ 具体物をつかって直接比較で長さを比べ、 $4/5$ できたら○
- ④ 日曜日から土曜日まで順番に曜日を言うことができたなら○

【7 (6～7歳レベル)】

- ③ イラストや具体物を比較して、遠い・近い、深い・浅いを答えることができたなら○
- ④ イラストや具体物を比較して、太い・細いを答えることができたなら○
- ⑤ イラストや具体物を比較して、厚い・薄いを答えることができたなら○
- ⑥ 偶数の数の具体物を渡し、「半分にしてください」という教師の指示通りにできたら○
- ⑦ カレンダーを用いて、今日の印をつけ、月日や曜日を答えることができたなら○
- ⑧ 具体物をつかって直接比較で広い・狭いを比べ、 $4/5$ できたら○

【8 (7～8歳レベル・小2)】

- ② 定規を使って、鉛筆や消しゴムの長さを測り、○センチメートルと答えることができたなら○。
- ③ (例)「今年は2015年、去年は何年? 来年は何年?」の問いかけに答えることができる。
- ④ (例) 1cm の積み木がAの箱は5個分、Bの箱は7個分入る。どちらが広いかの問いかけに答えることができたなら○

【9 (8～9歳レベル・小3)】

- ① (例)「今1時です。3時は何時間後でしょうか。」の問いかけに答えることができる。
- ③ m, g, cm などの単位の読みが分かり、使い分けられることができる。
- ④ 9個の具体物を3人に分けることができたなら○
- ⑤ (例) 1週間が7日間ということが分かり、3週間後は何月何日かという問いかけに、カレンダーを用いながら答えることができる。

【10 (9歳～・小4～)】

- ① (例)「28時間後は、何月何日何時ですか」の問いかけに答えることができる。
- ② (例) バスの時刻表を見ながら、10時台のバスはいくつあるだろう等の問いかけに答えることができたなら○
- ③ 定規・メジャーなど、いくつかの測定器具を用意し、具体物の長さに合わせた測定器具を使って、測定することができたなら○

算数・数学「図形」

※ 不注意による間違いを除き、各項目で指定した割合以外の場合、8割できれば達成していると判断する。

【1 (0～1歳レベル)】

- ① 手本(モデル)の円を見て、まねてなぐり書きができたなら○。

【2 (1～2歳レベル)】

- ① 手渡された円板を所定の場所にはめることができる。
- ② 手渡された三角板や四角板をそれぞれ所定の場所にはめることができる。
- ③ 5個以上の積み木の中から2個以上横に面をほぼ合わせて並べることができたなら○。

【3 (2～3歳レベル)】

- ① 円板、三角板、四角板の中から1つずつ選びそれぞれ所定の場所にはめることができる。
- ② 手本(モデル)の円を見て、角がないように始点と終点の位置が一致していれば○。
- ③ 手本(モデル)の直線を見て書く。
- ④ 5個の積み木の中から、見本を見て3個以上ほぼ面を合わせて積み上げることができる。
- ⑤ 自分の前と後ろを指さすことができる。

【4 (3～4歳レベル)】

- ① (例) 家など
- ② 手本(モデル)の十字を見て、2本の直線が $85^\circ \sim 95^\circ$ 程度で交われば○
- ④ 自分の上と下を指さすことができる。
- ⑤ 2つの三角形の頂点が重なっていれば○。

【5 (4～5歳レベル)】

- ② (例) 三角形、四角形、円など。

- ③ 教師が示した手順に沿って、制作することができる。
- ④ 三角形、四角形、円（各3種類以上）の中からそれぞれの形に分けることができる。
- ⑥ 自分の左や右を指さすことができる。

【6（5～6歳レベル）】

- ① 手本（モデル）を見て、3本の直線で囲まれた図形であれば○。
- ③ 様々な図形（四角形、三角形、円、五角形以上の多角形、楕円、曲線で描かれた三角・四角の形に似せた物、大きさの違う図形など）の具体物を並べ、その中から、円、三角形、四角形を取り出し、分別することができたら○。

【7（6～7歳レベル・小1）】

- ① 円、三角形、四角形のうち教師が指差したものの名称を答えることができる。
- ② 様々な図形（四角形、三角形、円、五角形以上の多角形、楕円、曲線で描かれた三角・四角の形に似せた物、大きさの違う図形など）の具体物を並べ、その中から、注目すべき特徴を捉えて、円、三角形、四角形を分別することができたら○。
- ③ 教師の言葉掛けによって、自分の前後左右、上下などを指などで指し示すことができる。

【8（7～8歳レベル・小2）】

- ② 四面体や六面体を用いて、教師が指し示す辺や面、頂点等の名称を答えることができる。

【9（8～9歳レベル・小3）】

- ① 三角定規（定規使用でも可）やコンパスを使って、三角形、四角形、円などの簡単な図形を描くことができたら○。
- ② 直角、鋭角、鈍角の中から直角を選ぶことができる。

【10（7～8歳レベル・小4～）】

- ① 直角、鋭角、鈍角の中から指示した角（鋭角や鈍角）を選ぶことができる。
- ② 定規や三角定規を用いて、教師の指示した図形を描くことができる。
- ④ 円の立体模型等を用いて、教師が指し示す中心や直径、半径等の名称を答えることができる。

算数・数学「数量関係実務」

【1（0～1歳レベル）】

- ① 500円玉くらいのボールを親指と人差し指でつかむ

【2（1～2歳レベル）】

- ①（例）500円玉くらいのボールを製氷トレイ等に一つ一つ入れる

【3（2～3歳レベル）】

- ①（例）色シールを貼った製氷トレイに、同じ色のボールを入れる
- ②（例）良い行動の例を示し、○か×か問いかけ、○と答えることができる。
- ③（例）ジュースの量や物の大小の異なる具体物を渡し、大きいのか小さいのかの問いかけに、渡すことができたなら○
- ④（例）鉛筆を比べ、長いのどっちや短いのどっちの問いかけに答えることができたなら○

【4（3～4歳レベル）】

- ①（例）教師と子どもと背比べをして、高い、低いを答えることができたなら○
- ② 渡された硬貨や紙幣を財布に入れることができたなら○
- ③ 買い物ごっこをするときに、価格に関わらずお金を店員さんに渡すことができたなら○

【5（4～5歳レベル）】

- ① お店の意味が分かり、お店の人、お客さんに分かれ、子どもだけでお店屋さんごっこをし、簡単なやりとりができたなら○。
- ② 大人が側にいてお店でのお金のやりとりをして買い物ができたなら○。
- ③ 硬貨の種類を質問をして1円、5円、10円、50円、100円、500円硬貨のうち3種類を言うことができたなら○。
- ④ 具体物で1対1の対応をすることによって、3までの数の大小を比較することができたなら○。
- ⑤ ○×表の意味が分かり、活用することができたなら○。

【6（5～6歳レベル）】

- ① お店に並べてある品物は値段があることが分かれば○。
- ② 自動販売機に適切なお金を入れて、ジュースを買うことができたなら○。
- ③ 具体物で1対1の対応をすることによって、5までの数の大小を比較することができたなら○。
- ④ 日常生活の中の決まり事などを○×表を用いて、○：できた、×：できなかったを表すことができたなら○。
- ⑤じゃんけんをして勝った、負けた、あいこの判断ができたなら○。

【7（6～7歳レベル）】

- ① 硬貨の種類の問題をして1円、5円、10円、50円、100円、500円硬貨の全ての硬貨を言うことができたなら。
- ② 「50円は10円が5枚」「1円が100枚で100円」などの100円までの金額を見て硬貨を対応させることができたなら○。
- ③ お店に行って、簡単な品物を買ひ、おつりをもらうという買い物の流れを一人でできたなら○。
- ④ 具体物で1対1の対応をすることによって、10までの数の大小を比較することができたなら○。
- ⑤ じゃんけんの5回戦をして、結果で勝敗を決めることができたなら○。

【8（7～8歳レベル・小2）】

- ① 紙幣を見て、「～円札」と答えることができたなら○
- ② 62円を60円、78円を80円などの概数として用いることができたなら○。
- ③ 「500円は100円が5枚」「1000円は500円が2枚」「1000円は100円が10枚」などの100円以上の金額で対応させることができる。
- ④ 7-②、8-③を参照。
- ⑤ (例)じゃんけんて5回戦の勝敗表を作成して、勝ち負けの判断ができる。
- ⑥ 出来高表や絵グラフを見て、それぞれ大小や順番を答えることができる。

【9（8～9歳レベル・小3）】

- ① 892円を約900円、222円を200円などの概数として用いることができたなら○。
- ② 店に行って、自分ひとりで1000円以内の買い物ができたなら○。
- ③ レシートを見て、買った物や釣銭を答えることができる。
- ④ レシートを見て、小遣い帳を付けることができる。
- ⑤ 教師が提示した2品以上のものの合計金額（税込）を計算できる。
- ⑥ 10個程の情報を見て棒グラフに表すことができたなら○。

【10（9歳～・小4）】

- ① 8920円を9000円、2134円を2000円などの概数として用いることができたなら○。
- ② 店に行って、自分ひとりで10000円以内の買い物ができたなら○。
- ④ 10個程の情報を見て折れ線グラフに表すことができたなら○。

算数(数と計算)

1 (0~1歳レベル)	2 (1~2歳レベル)	3 (2~3歳レベル)	4 (3~4歳レベル)	5 (4~5歳レベル)
① 具体物を1個ずつ容器に入れる	① 3まで数唱をする	① 「に」といわれて2個だけ積み木を取る	① 3までの数を具体物で比べ、数の大小が分かる	① 50まで数唱をする
	② 一つ持っていて、さらに「もう一つちょうだい」と言う	② 5まで数唱をする	② 具体物や数字で3までの数の合成・分解をする	② 10までの個数、数詞と数字の対応をする
		③ 3までの数字の読み書きをする	③ 5までの個数、数詞と数字の対応をする	③ 和が5までのたし算をする
			④ 歩く動作に合わせて、1 2 3・・・10までの数が言える	④ 10までの数字の読み書きをする

6 (5~6歳レベル)	7 (6~7歳レベル)	8 (7~8歳レベル・小2)	9 (8~9歳レベル・小3)	10 (9歳～・小4～)
① 10までの数字を比べ、大小が分かる	① 2けた、3けたの数字を比べ、大小が分かる	① 4けたの数字を比べ、大小が分かる	① 5けたの数字を比べ、大小が分かる	① 億、兆の数字の読み書きをする
② 100まで数唱をする	② 10, 100ずつまとめて数える	② 4けたの数字の読み書きをする	② 5けたの数字の読み書きをする	② 概数を用いる
③ 20までの個数、数詞と数字の対応をする	③ 3けたの数字の読み書きをする	③ 繰り上がりのある2けた同士のたし算をする	③ 3けた同士の加減法をする	③ 四捨五入をする
④ 2つずつ10まで数える	④ 具体物や数字で10までの数の合成・分解をする	④ 繰り下がりのある2けた同士のひき算をする	④ 〇倍、〇分の1の意味が分かる	④ 3けた同士の乗法をする
⑤ 和が10までのたし算をする	⑤ 繰り上がりのある1けた同士のたし算をする	⑤ 1けた同士の乗法をする	⑤ 2けた同士の乗法をする	⑤ (3けた÷2けた)の除法をする
⑥ 差が5までのひき算をする	⑥ 繰り下がりのある(2けた-1けた)のひき算をする		⑥ (2けた÷1けた)の除法をする	⑥ 小数の乗法をする
⑦ 具体物や数字で5までの数の合成・分解をする	⑦ 20からの逆唱をする		⑦ 時間や日数の計算をする	⑦ 小数点を読み書きする
⑧ 2けたの数字の読み書きをする	⑧ 0の意味が分かる			

算数・数学(量と測定)

1 (0~1歳レベル)	2 (1~2歳レベル)	3 (2~3歳レベル)	4 (3~4歳レベル)	5 (4~5歳レベル)
	① 量を意識して、コップからコップへあふれさせることなく水を移す	① 数量の多少, 大小などを比べ, 多い少ないなどに気づく	① チャイムに関心を持つ	① 日付や時刻に関する言葉が分かる
	② 高さを意識して, 高いところにある物を台を使ってとる	② 速い・遅いの意味が分かり, 行動できる	② いっぱい・たくさん・多いなど, 量を表す言葉が分かる	② 時計を見て何時か興味を持つ
		③ 朝・昼・夜の区別をする		③ 長い・短い, 広い・狭い, 重い・軽いの意味が分かる
		④ 熱い・冷たいの意味が分かる		④ 形の大・中・小を区別する

6 (5~6歳レベル)	7 (6~7歳レベル)	8 (7~8歳レベル・小2)	9 (8~9歳レベル・小3)	10 (9歳~・小4~)
① 何時か分かる	① おおよその時刻が分かり, ○時ちょっと前・すぎなどが言える	① 1分単位で時計をよむ	① 時刻をよんだり, 簡単な時間の計算をしたりする	① 時計や暦を利用し, 時間や日数の計算をする
② 何時半か分かる	② 5分単位で時計を読む	② 長さの単位が分かり, おおまかに測定する	② 1日が24時間であることが分かる	② 乗り物の時刻表をよむ
③ 直接比較で長さを比べる	③ 遠い・近い, 深い・浅いなどが分かり, 比較する	③ 去年・今年・来年が分かる	③ 長さ・重さ・容積を表す単位が分かる	③ 単位の関係が分かり, 測定器具を利用し測定する
④ 1週間の曜日が言える	④ 太い・細いが分かり, 比較する	④ 間接比較で広い・狭いが分かる	④ 3等分が分かる	
	⑤ 厚い・薄いが分かり, 比較する		⑤ 暦のおおよその仕組みが分かり, その扱いに慣れる	
	⑥ 半分が分かる		⑥ 温度計や体温計の目盛りをよむ	
	⑦ 暦を見て, 今日の月日や曜日を言う			
	⑧ 直接比較で, 広い・狭いが分かる			

算数・数学(図形)

1 (0~1歳レベル)	2 (1~2歳レベル)	3 (2~3歳レベル)	4 (3~4歳レベル)	5 (4~5歳レベル)
① まねてなぐりがきをする	① 回転後、円板をはめる	① 円、三角、四角が分かる	① 積み木で簡単なものを作る	① 点や線にそって紙を切る
② 円板をはずす	② 三角板、四角板をはめる	② 円をまねてをかく	② 十字をまねてかく	② はさみで簡単な形を切り抜く
③ 円板をはめる	③ 積み木を2個以上並べる	③ 直線をまねてかく	③ 紙を直線にそって切る	③ 紙飛行機を自分で折る
		④ 3個の積み木を重ねる	④ 自分を中心として上下が分かる	④ 形や色、大きさを分類する
		⑤ 自分を中心として前後が分かる	⑤ 2枚の三角板で四角形をつくる	⑤ ひし形のなぞりがきをする
			⑥ 直線、曲線をなぞる	⑥ 自分を中心として左右が分かる

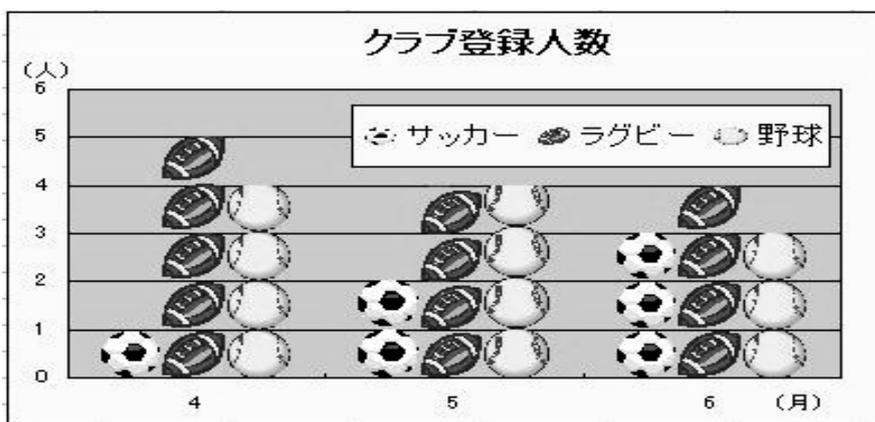
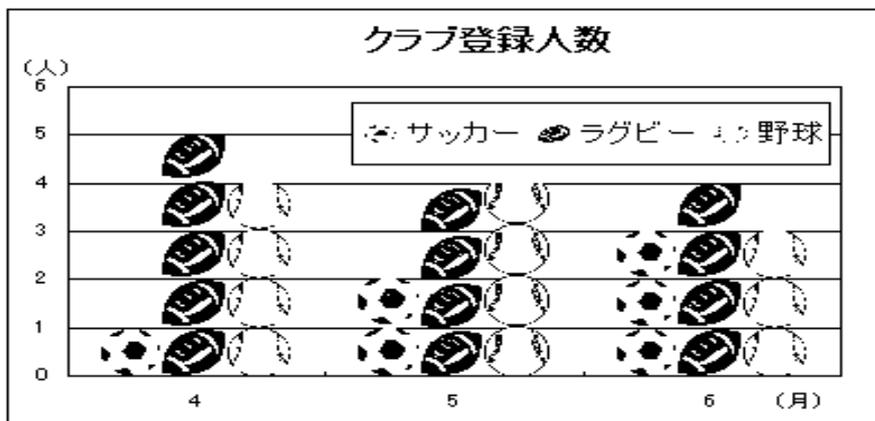
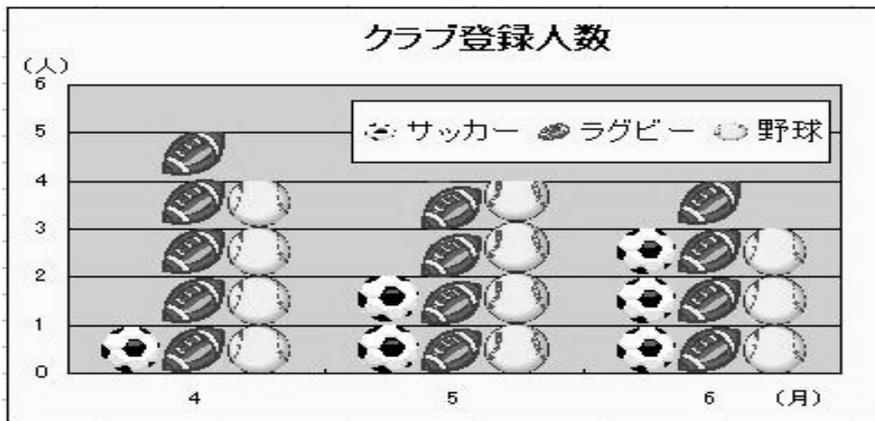
6 (5~6歳レベル)	7 (6~7歳レベル)	8 (7~8歳レベル・小2)	9 (8~9歳レベル・小3)	10 (9歳~・小4~)
① 三角をまねてかく	① 円、四角形、三角形の名称を言う	① 円、正三角形、正方形、長方形をかく	三角定規やコンパスを ① 使って簡単な図形をかく	① 鈍角、鋭角が分かる
② 円、正三角形、正方形の見本を見て、同じ形のものを選ぶ	② 具体物を抽象化し円、四角形、三角形に分類する	② 頂点、辺、面等の図形を構成する要素が分かる	② 直角が分かる	② 平行四辺形、台形、ひし形などの四角形を作図する
③ 具体物の中から円、三角形、四角形を取り出す	③ 前後、左右、上下などの言葉を正しく使う			③ 立方体、直方体の展開図を作図し、作る
				④ 円の中心、直径及び半径が分かる

算数・数学(数量関係実務)

1 (0~1歳レベル)	2 (1~2歳レベル)	3 (2~3歳レベル)	4 (3~4歳レベル)	5 (4~5歳レベル)
<p>体のそばにある玩具を ① 親指と人差し指でつかもうとする</p>	<p>① 具体物で1対1対応をする</p>	<p>① 色による分類をする</p>	<p>① 高い, 低いがわかる</p>	<p>子どもだけでいろいろなお店を作り, ごっこ遊びをする</p>
<p>クラブ登録人数</p> <p>8-⑥ 絵グラフの例</p>		<p>② ○や×の記号の意味が分かり区別する</p> <p>③ 大きい, 小さいがわかる</p> <p>④ 長い, 短いがわかる</p>	<p>② 硬貨や紙幣が大切なものであることがわかる</p> <p>③ 買い物をするには, お金が必要であることがわかる</p>	<p>② 大人と一緒にお金のやりとりをして簡単な買い物をする</p> <p>③ 硬貨が3種類わかる</p> <p>④ 1対1対応して3までの集合の大小がわかる</p>
<p>⑤ 身近な生活の中で使われている○, ×などの表がわかり, 記入する</p>				

6 (5~6歳レベル)	7 (6~7歳レベル)	8 (7~8歳レベル・小2)	9 (8~9歳レベル・小3)	10 (9歳~・小4~)
<p>① 品物には値段があることがわかる</p>	<p>① 硬貨の種類が全てわかる</p>	<p>① 紙幣の種類が全てわかる</p>	<p>1000円までの金額を数 ① 百円と大まかな金額で言う</p>	<p>10000円までの金額を ① 何千円と大まかな金額を言う</p>
<p>② 自動販売機でジュースを買う</p>	<p>② 100円までの金額と硬貨を対応する</p>	<p>100円までの金額を数 ② 十円と大まかな金額で言う</p>	<p>② 1000円までのおつりのある買い物ができる</p>	<p>② 10000円までのおつりのある買い物ができる</p>
<p>③ 1対1対応して5までの集合の大小がわかる</p>	<p>一人で店屋に行って品物を買, おつりをもろう ③</p>	<p>③ 1000円までの金額と硬貨を対応する</p>	<p>③ 買った物とおつりをレシートで調べる</p>	<p>③ 領収書の意味がわかる</p>
<p>④ 簡単な生活の処理を○, ×の表で表す</p>	<p>④ 1対1対応して10までの集合の大小がわかる</p>	<p>④ 1000円までのお金の両替をする</p>	<p>④ 小遣い帳の付け方がわかる</p>	<p>④ 折れ線グラフの読み方と書き方がわかる</p>
<p>⑤ じゃんけんで勝ち負けがわかる</p>	<p>⑤ じゃんけんの5回戦をやつて, 勝負を決める</p>	<p>ゲームなどの経過を ⑤ ○, ×の表に表し, 勝ち負けがわかる</p>	<p>⑤ 電卓を使う</p>	<p>⑤ 百分率の意味がわかり用いることができる</p>
		<p>⑥ 出来高表や絵グラフで大小や順番がわかる</p>	<p>⑥ 棒グラフの読み方とかき方がわかる</p>	<p>⑥ 目的に応じ円グラフや帯グラフを用いることができる</p>

数量関係実務 絵グラフ (資料)



生活面に関する
チェックリスト
小学部用

チェックリスト

- 生活習慣〈食事, 衣服, 排泄, 清潔〉
- 身体運動〈姿勢, 移動, 操作・技能〉
- 集団参加
- コミュニケーション

氏名	
----	--

記入者名		記入年月日	記入者名		記入年月日
小 学 部	1年	平成 年 月 日	中 学 部 高 等 部	1年	平成 年 月 日
	2年	平成 年 月 日		2年	平成 年 月 日
	3年	平成 年 月 日		3年	平成 年 月 日
	4年	平成 年 月 日		1年	平成 年 月 日
	5年	平成 年 月 日		2年	平成 年 月 日
	6年	平成 年 月 日		3年	平成 年 月 日

鹿児島県立大島養護学校

チェックリストの評定の仕方について

1 評定の基準

評 定	評 定 の 基 準 と 解 釈
○：一人でできる	支援や指示がなくても「ほぼできる、いつでもできる」場合は○に評定する。
△：支援があればできる	少し支援や指示があると「できる」場合、もしくは支援や指示があっても「できないときもある」場合は△に評定する。
×：支援ありでもできない	支援や指示があっても「できない」場合は×に評定する。

2 評定の方法

評定は日頃の観察や精神年齢・発達年齢から、「およそこれぐらいだろう」という目安をつけた項目から始める。その項目が○の時は、低い年齢側の項目を評定していく。低い方の項目の評定を続け、○が5つ続いた場合はそれ以下の発達段階の項目は「できる」と考えて、それ以下の項目の評定は省略する。次に、上位の発達段階の項目については、前述の評定の基準に従って評定する。×（できない）が5つ続くと、それより上位の項目は「できない」と考える。

このチェックリストは小学部対象に作成されたものです。

中学部及び高等部の生徒は、中学部・高等部生徒対象に作成された「社会生活に関するチェックリスト」を使用しますが、それらでチェックすることが難しい場合（発達段階が7歳段階に満たない実態である場合）は、このチェックリストを使用してください。

1 生活習慣

(1) 食事 ○:一人でできる △:支援が少し必要 ×:支援ありでもできない

番号	年齢	年	年	年	年	年	年	発達項目
29	7:0							マナーを守って食事ができる
28	6:0							主食・副食を交互に食べる
27	6:0							食卓で、ほとんど大人の世話にならないで食べる
26	5:6							牛乳やジュースのパックをあける
25	5:0							正しく箸を持つことができる
24	4:6							大皿から自分の皿に食べ物を取り分ける
23	4:0							頼むと、自分が使った食器を片付ける
22	3:6							好き嫌いをしないで食べる
21	3:0							はしを使って、ほとんどこぼさずに食べる (握りばしでよい)
20	2:9							フォークで刺して食べる
19	2:6							食前・食後のあいさつができる。
18	2:6							お茶わんとスプーンをそれぞれの手で持って食べる
17	2:3							スプーンを使い、こぼさないでひとりで食べる
16	2:0							食卓で、自分の食べ物と他人の食べ物を区別できる
15	2:0							こぼさないでコップを自分で持って飲む
14	1:9							みかんなどの皮をむいて食べる
13	1:9							ストローで上手に飲む
12	1:6							食べ物以外は口に入れなくなる
11	1:3							キャラメルなどの包み紙をはいで食べる
10	1:3							コップを自分で持って飲もうとする
9	1:0							自分でスプーンを使いすくって食べようとする (こぼれてもよい)
8	1:0							他の人が食べているのを見てほしがる
7	0:9							親が持ったコップから飲む
6	0:8							ビスケットなどを持って自分で食べる
5	0:6							食物を見るところをうれしそうにする
4	0:6							噛み始める
3	0:3							口の中に食べ物を保持している
2	0:3							スプーン、コップに口を付けて飲む
1	0:0							食べ物などが口に当たると、口を開けたり閉じたりする

1 生活習慣

(2) 衣服 ○:一人でできる △:支援が少し必要 ×:支援ありでもできない

番号	年齢	年	年	年	年	年	年	発 達 項 目
26	7:0							気温に応じて衣服を選ぶことができる
25	6:0							指示すると、洋服を脱いだ後、きちんとたたむ
24	5:6							自分で衣服を着脱し、大人の手をほとんどかけない
23	5:0							ハンガーにいろいろな衣服をかける
22	4:6							ファスナーの先を留め金に入れる
21	4:0							自分が着ている衣服の前のボタンをはずす、留める
20	3:6							衣服のかぎホックをかける
19	3:6							かぶりのシャツやセーターをひとりで着る
18	3:3							着衣枠の大きなボタンがはめられる
17	3:0							かぶりのシャツやセーターをひとりで脱ぐ
16	3:0							衣服の前後を見分ける
15	2:9							靴下がひとりで履ける
14	2:9							靴がひとりで履ける
13	2:6							衣服のスナップをはずす
12	2:3							ひとりでパンツを脱ぐことができる
11	2:0							ボタンやファスナーをはずしてあげると、前開きの上着を脱ぐことができる
10	2:0							褒めてあげればズボンを脱ぐことができる
9	1:9							着せてもらう時、そでに腕を通し、ズボンに足を通すことができる
8	1:9							靴を脱ぐことができる
7	1:6							パンツをはかせる時、両足を広げる
6	1:6							帽子をかぶることができる
5	1:3							靴下を脱ぐことができる
4	1:3							帽子を脱ぐことができる
3	0:9							衣服の着脱時、手足を差し出したり、腰を浮かせて協力する
2	0:3							脱がされることに抵抗する
1	0:0							脱がされる間、されるままにしている

1 生活習慣

(3) 排泄 ○:一人でできる △:支援が少し必要 ×:支援ありでもできない

番号	年齢	年	年	年	年	年	年	発 達 項 目
16	7:0							寝る前にトイレに行く
15	5:6							公共のトイレで女性用と男性用が分かる
14	4:6							大便の始末をする (大便に大人がついて行かなくてよい)
13	4:6							大人の手を借りずに、トイレで排尿、後始末・衣服の着脱をする
12	4:0							自分でパンツをずらして排尿する
11	4:0							どんなに夢中になって遊んでいても「おもらし」はしない
10	3:6							夜のおむつが要らなくなる
9	3:0							夜中に「おしっこ」に行きたくなると、母を呼ぶ
8	3:0							1週間の間、少なくとも2日間おねしょをしない
7	2:9							トイレに行きたい時、言葉やサインで教え、日中は漏らさない
6	2:3							トイレに連れていくと排尿または排便する (週3回くらいできればよい)
5	1:6							おしっこをした後、「シーシー」と言ったりサインで教えたりする
4	1:6							毎日、大体同じ時間に排尿する
3	1:3							排泄の時、おまるなどに5分くらい座っている
2	0:1							おしめが濡れるとむずかる (濡れたことを何らかのサインで教える)
1	0:0							おしめがおしっこで濡れていても泣かない

1 生活習慣

(4) 清潔 ○:一人でできる △:支援が少し必要 ×:支援ありでもできない

番号	年齢	年	年	年	年	年	年	発 達 項 目
18	7:0							自分で顔を洗う
17	5:0							入浴後、タオルで体をふく
16	4:6							髪をくしやブラシでとかす
15	4:0							一人で歯を磨き、口をすすぐことができる
14	4:0							入浴の時、ある程度自分で体を洗う
13	3:0							泣かぬいで頭を洗ってもらう
12	3:0							鼻水をふく
11	2:9							水を調整してあげれば、手と顔を洗う
10	2:6							飲み込まないで「ブクブク」をする
9	2:6							まねして歯を磨く
8	2:3							よだれをださない
7	2:0							タオルを渡すと自分で手をふく
6	1:9							体を洗ってもらった時、自分でも少しこする
5	1:6							手が汚れると、ふいてもらおうと手を出してくる
4	1:3							自分の口もとをひとりでふこうとする
3	1:0							まねをして両手を水に入れ、ぬれた手で顔をパタパタたたく
2	0:9							顔をふこうとすると嫌がって顔をそむけたり、手を払いのけたりする
1	0:0							入浴を楽しむ

○参考資料

「津守式乳幼児精神発達診断法」(大日本図書)

「新版ポーター早期教育プログラム～0歳からの発達チェックと指導ガイド～チェックリスト」

(NPO法人 日本ポーター協会)

「遠城寺式乳幼児分析的発達検査表(九大小児改訂版)」(慶應義塾大学出版会)

「S-M 社会生活能力検査」(日本文化化学者)

「知的障害教育における学習評価の方法と実際」(ジアース教育新社)

以前の大島養護学校チェックリスト

2 身体運動

(1) 姿勢 ○:一人でできる △:支援があればできる ×:できない

番号	年齢	年	年	年	年	年	年	発達項目
21	6:0							言葉の指示により姿勢がとれる(右手で左膝をおさえ、左手で右膝をおさえる)
20	5:6							片足で立ち、そのまま体を前に傾けて飛行機のようにしても倒れない
19	5:0							仰向けの姿勢から気をつけの姿勢までの起き上がりが素早くできる
18	4:6							複雑動作のまねができる(一方の手を上へ挙げ、他方を横へ伸ばす)
17	4:0							動物の姿勢のまねができる
16	3:6							目を閉じて片足立ちが一瞬できる
15	3:0							目を開けて片足立ちで2~3秒立つ
14	2:9							目を開けて片足立ちが一瞬できる
13	2:6							立ったままぐるっと回る
12	2:0							つま先で立てる
11	1:9							つかまらずに立位からひとりで座る(しゃがむ)ことができる
10	1:6							膝の高さの台や椅子に座ることができる
9	1:3							比較的大きなもの(かご、箱など)を持ちながら立ち上がる
8	1:3							低い台の上に立つ
7	1:0							数秒間支えなしで立つ
6	0:9							つかまり立ちして、片手でもの(おもちゃなど)を持つことができる
5	0:9							少しの支えで、立っている
4	0:8							胸を床から離すことができる(手の平で上半身を支える)
3	0:6							寝返りをすることができる
2	0:3							胸を床から離すことができる(肘で上半身を支える)
1	0:3							立てて抱いても首がフラフラしない(首が据わる)

【参考資料】

『津守式乳幼児精神発達診断法』(大日本図書)

『新版ポーター早期教育プログラム~0歳からの発達チェックと指導ガイド~チェックリスト』
(NPO法人 日本ポーター協会)

『遠城寺式乳幼児分析的発達検査表(九大小児改訂版)』(慶應義塾大学出版会)

『S-M 社会生活能力検査』(日本文化化学者)

『乳幼児の発達障害診療マニュアル』(医学書院)

『発達が分かれば子どもが見える~0歳から就学までの目からウロコの保育実践~』

(乳幼児保育研究会)

以前の大島養護学校チェックリスト

2 身体運動

(2) 移動 ○:一人でできる △:支援があればできる ×:できない

番号	年齢	年	年	年	年	年	年	発 達 項 目
29	7:0							「横断禁止」「危険」などの標識が分かり、指示に従える
28	6:6							行き慣れた所なら1kmぐらい離れていても、ひとりで歩いていける
27	6:0							補助輪つきの自転車(二輪車)に乗ってこぐ
26	5:0							ジャングルジムの上の方まで、ひとりで登る
25	4:6							スキップを正しくする
24	4:0							片足でけんけんをしようとぶ
23	3:6							決勝点(ゴール)まで駆けつける
22	3:6							階段を2, 3段目から飛び降りる
21	3:0							「ようい、どん」の合図に合わせて駆け出す
20	3:0							足を交互に出して、階段を登る
19	2:9							障害物をよけて走る
18	2:6							ひとりで(つかまらずに)一段ごとに両足をそろえて階段をあがり降りする
17	2:6							すべり台このぼって、滑る
16	2:0							まっすぐに走る
15	2:0							両足でピョンピョンとぶ
14	1:9							少し高い台から降りる
13	1:9							手すりを持ちたり、片手を支えられたりして階段を降りる
12	1:6							片手を支えられて階段を登る
11	1:6							障害物をよけながら一人で歩く
10	1:3							階段をはい上がる
9	1:3							ひとりで3歩以上歩く
8	1:0							手押し車、歩行器などを押して歩く
7	1:0							伝い歩きをする
6	0:9							はいはいする(いろいろな形のはいはいを含む)
5	0:8							うつ向きから仰向きに寝返りする
4	0:6							仰向きからうつ向きに寝返りする
3	0:6							腹ばいの姿勢で、手足をバタバタさせて体をまわす
2	0:3							知らないうちに、体の位置を変えていることがある
1	0:3							腹ばいになると手足をバタバタ動かす

2 身体運動

(3) 操作・技能

○：一人でできる △：支援があればできる ×：できない

番号	年齢	年	年	年	年	年	年	発 達 項 目
35	7:0							カッターなどを注意して扱える
34	6:6							ひもを結んだり、ほどこいたりできる (固結び、ちょう結び)
33	5:6							正確こめり絵をする (はみださない)
32	5:6							ピンセットで大豆をはさむ
31	5:0							ぞうきんがしぼれる
30	4:9							折り紙で飛行機を折る
29	4:6							砂場こ池や川を作り、水を流すなどして遊ぶ
28	4:3							はさみで簡単な形 (○△) が切り抜ける
27	3:9							紙を直線に沿って切る
26	3:6							のりやセロテープを使って紙をくっつけることができる
25	3:6							大きめのビーズに糸を通す
24	3:3							はさみを使って紙が切れる
23	3:3							ビンのふたを開け閉めする
22	3:0							砂を茶わんに入れて型を抜いたり、砂で山をつくったりして遊ぶ
21	2:9							粘土でダンゴやせんべいやへびを作る
20	2:6							ドアノブを回す
19	2:3							8個の積み木を積み重ねる
18	2:0							シールを貼る
17	2:0							5～6個の積み木を積み重ねる
16	1:9							洗濯ばさみを外す
15	1:9							コップからコップに水を移す
14	1:6							曲線的な弧を描く
13	1:6							ボールを前に蹴る
12	1:3							木づちでコンコンたたく
11	1:3							2個の積み木を重ねる
10	1:0							おもちゃの車を手で走らせる
9	1:0							出された2つのものを同時に持つ
8	0:9							つまみのある軽いふたを開けたり閉めたりする
7	0:8							おもちゃ (ガラガラ) を持ち替える
6	0:6							仰向きでガラガラを振る
5	0:6							両手でおもちゃ (ガラガラなど) をつかみ、口に持っていく
4	0:3							物に手を出したり、さぐったりする ※ 国語 (読心) 1-⑤と重複
3	0:3							手を口に持って行ってしゃぶる
2	0:0							手を握ったり開いたりできる
1	0:0							手に触れたものをつかむ

3 集団参加

(1) 集団参加

○：一人でできる △：支援があればできる ×：支援がありでもできない

番号	年齢	年	年	年	年	年	年	発 達 項 目
31	7:0							学級会などで自分の意見が述べられる
30	6:0							小さい子や弱い子の面倒をみる
29	5:6							数人が一緒になって、子どもが発案した遊び（ルールのある遊び）をする
28	5:0							砂場で協力してひとつの山ができる
27	5:0							じゃんけんの勝敗が分かる
26	4:6							簡単な室内ゲームができる
25	4:6							どちらがよくできているか、友達と競争する
24	4:0							ルールのある遊びを理解して遊ぶ
23	3:6							おもちゃなどを友達と順番に使ったり、貸し借りができたりする
22	3:3							他の子に「～しようか」とさそいかける
21	3:0							友達とけんかをすると言いつけにくる
20	3:0							電話ごっこで二人で交互に会話ができる
19	2:9							ままごとで役を演じることができる
18	2:6							年下の子どもの世話をやきたがる
17	2:6							一度期待を持たせるとだましがきかぬ
16	2:3							遊び友達の名前が言える
15	2:0							親から離れて遊ぶ
14	2:0							子供同士追いかけっこする
13	1:9							自分から遊びの外に出ていく
12	1:9							友達の真似をして遊ぶ
11	1:6							「いけない」と言われると、わざとしてみせる
10	1:6							友達と手をつなぐ
9	1:3							子供の中に交じっていると、ひとりで元気よく遊ぶ
8	1:3							大人と手をつないで外出できる
7	1:0							ほめられると何度でも同じ行動をする
6	0:9							親が仕かけるとき追ってきたり、帰ると出迎えたりする
5	0:9							簡単なみぶり（オツム、テンテン）を真似する
4	0:6							母親と他の人の区別がつく
3	0:3							あやされると声を出して笑う
2	0:3							顔をじっと見る
1	0:0							泣いているとき、人が来る（抱き上げる）と泣きやむ

4 コミュニケーション

(1) 受容言語

○：一人ができる △：支援があればできる ×：できない

		番号	年	年	年	年	年	年	年	発 達 項 目
3歳 以上		18								少なくとも15分間、人の話を聞く。
		17								5分前に聞いた指示を実行する。
		16								1度に3つの指示に従う。 (「歯を磨いて、パジャマを着て、布団に入りなさい」など)
		15								字義通りでない言い回しを理解する。(「お口にチャック」など)
		14								少なくとも15分間、お話(絵本・物語)を聞く。
		13								「もし、～なら・・・」という指示に従う。 (「外で遊びたいなら、片づけなさい」など)
		12								尋ねられると、少なくとも5つの体の部位を指さす。 (指、ひじ、歯、膝、つま先など)
2歳		11								2つの動作、あるいは1つの動作と2つの具体物を含む指示に従う。 (「座って、ご飯を食べなさい」「クレヨンと紙を持ってきて」など)
		10								少なくとも5分間、お話を聞く。 (比較的じっとしていたり、話し手や読み手に注意を向けたりする)
		9								尋ねられると、少なくとも3つの体の部位を指さす。 (例えば、頭、目、鼻、口、耳、手、足、おなかなど)
		8								「～はどれ？」と聞かれると、絵本にある物を指さす。 (例えば、犬、車、コップ、鍵など)
1歳		7								指示を聞く。 (保護者や教師が直接話すとき、そちらを向いて話をさまたげない)
		6								1つの動作、1つの具体物を含む指示に従う。 (例えば、「本を持ってきて」「ドアを開けて」など)
		5								「いいよ」という言葉やジェスチャーを理解して行動する。 (例えば、活動を続けたり、微笑んだりする)
		4								「だめ」という言葉やジェスチャーを理解して行動する。 (例えば、すぐにその活動をやめる)
		3								名前を呼ばれると反応する。 (例えば、話し手の方を振り返ったり、微笑んだりする)
1歳 未満		2								保護者や教師の声が聞こえたとき、その人たちの方を向く。
		1								音の方に顔をむける。

参考資料：Vineland-II適応行動尺度

4 コミュニケーション

(2) 表出言語

○：一人でできる △：支援があればできる ×：できない

	番号	年	年	年	年	年	年	発 達 項 目
3歳 以上	26							助詞をほぼ間違いなく使える。(「～をもらった」「先生が言った」など)
	25							「～の後ろ」「～の前」を使う。(「ぼくは、まきこちゃんの前を歩いた」など)
	23							「だれ」「どうして」の入った質問をする。 (「あの人だれ?」「どうして行かなくちゃいけないの?」など)
	22							代名詞を使う。(「ぼくがやった」「これ、ください」など)
	21							進行中の出来事や物事の状態を表したいときに「～ている」を使う。 (「雨がふっている」「おじさんが走っている」など)
	20							「中に」「上に」「下に」などを使う。(「ボールが椅子の下にこいた」など)
	19							所有を表す表現をする。(「あれは、ぼくのボール」「これは、まなちゃんの本」など)
	18							「～と～」を使う。(「ママとパンピ」「アイスクリームとケーキが欲しい」など)
	17							尋ねられると正しい年齢が言える。
	16							「何」や「どこ」の疑問文を言う。(「あれは何?」「どこに犬が行くの?」など)
2歳	15							否定文を使う。(「行かない」「それ飲みたくない」など)
	14							単語や簡単な文を抑揚を変えることで質問にする。(「私の?」「ママくる?」など)
	13							名詞や動詞を使った簡単な文を話す。(「お家へ帰る」など)
	12							形容詞を用いる。(「汚い」「かわいい」「大きい」「うるさい」など)
	11							きょうだいや友だちの名前や愛称を用いたり、尋ねられると言えたりする。
	10							1語文の要求が言える。(「だっこ」「もつと」「お外」など)
	9							聞いた言葉をすぐに繰り返す、または繰り返そうとする。(「ボール」「行くよ」など)
	8							保護者や教師に対して「ママ」「パンピ」などと言う。
	7							(例えば、「これとこれ、どっちが欲しい?」など、選ぶように言われると) 好きな方を指さす、または身ぶりで示す。
	1歳	6						
5								他の人が手を振ったり、保護者や教師が手を振るように言うと、バイバイと手を振る。
4								活動をやめたかっったり続けたかったりするときに、声を出したり身ぶりを使ったりする。(頭を振るなど)
3								保護者や教師の注意をひくために声を出したり身ぶりを使ったりする。 (腕を振るなど)
2								微笑みかけると微笑む。
1歳 未満	1							空腹だったりオムツがめれたりすると、泣いたりぐずったりする。

参考資料：Vineland-II適応行動尺度

**生活面に関する
チェックリスト
中学部・高等部用**

社会生活に関するチェックリスト

- 生活習慣
- 健康・保健
- 対人関係
- コミュニケーション
- 余暇スキル

生徒氏名

	記入者名	記入年月日
中1		平成 年 月 日
中2		平成 年 月 日
中3		平成 年 月 日
高1		平成 年 月 日
高2		平成 年 月 日
高3		平成 年 月 日

鹿児島県立大島養護学校中学部・高等部

生活習慣

○:一人でできる

△:支援があればできる

×:支援ありでもできない

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3	特記事項
食事	1 配膳の準備や後片付けができる	/	/	/	/	/	/	
	① 自分で次々と運び、大体の位置に配膳できる。							
	② 汁物もこぼさずに運び、正しい位置に並べることができる。							
	③ おかずなど汁物でないものをよそうことができる。							
	④ お玉で汁物を器に入れられる。							
	⑤ 料理に合った食器を選ぶことができる。							
	⑥ 適量・均等によそうことができる。							
	⑦ 自分で指定された場所へ片付けられる。							
	⑧ 同種の食器を重ねて、まとめて片付けることができる。							
	⑨ 食器を片付けた後、テーブルの上や床の汚れ、こぼしたものに気付いて処理できる。							
	2 はしで上手に食べる。	/	/	/	/	/	/	
	① 細かいものを挟んで食べることができる。							
	② 切り分ける、ほぐす、ひとまとめにするなどの使い方ができる。							
	③ 正しい箸の持ち方で食事をすることができる。							
	3 適切な量の食事をバランスよくとることができる。	/	/	/	/	/	/	
	① 自分で適当な量で止められる。							
	② メニューの中で、バランスよく選べる。(大皿からとる、バイキング等)							
	4 好き嫌いをなく食べることができる。	/	/	/	/	/	/	
	① 苦手なものでも自分から配慮して食べる。(先に食べてしまう、混ぜる等)							
	② 体を良くするために、好き嫌いをしないで食べる。							
	5 食事のマナーが身に付いている。	/	/	/	/	/	/	
	① 落としたりものを食べない。							
	② ひじをつかない。							
	③ 茶碗を持って食べる。							
	④ 姿勢よく食べる。							
	⑤ かきこまない。							
	⑥ 音を立てない。							
	⑦ 口の中に食べ物が入っている時には話をしない。							

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3	特記事項
食事	6 時間内に食事をすることができる。	/	/	/	/	/	/	
	① 指定された時間内に食べる。							
	② 自分で時計を意識して食べる。							
排せつ	2 排せつに関する行動が確立している。	/	/	/	/	/	/	
	① 便器の周りを汚さないで用をたす。							
	② 自分の家や学校以外の便所を一人で使う。							
	③ 出かける前や休憩時間に自分から用をたす。							
	④ 夜中でも一人で用便に行く。							
衣服の着脱	1 表裏を間違えずに着衣・脱衣することができる。	/	/	/	/	/	/	
	① 表裏を間違えずに長ズボンを立って着る・裏返しにせず脱ぐ。							
	② 表裏を間違えずにトレーナーやシャツを着る・裏返しにせず脱ぐ。							
	③ 表裏を間違えずに前開きのシャツを着る・裏返しにせず脱ぐ。							
	3 気候や状況・場に応じて衣服の調節ができる。	/	/	/	/	/	/	
	① 自分で寒暖に気付いて服を調節できる。							
	② 場面に合わせた服装を選べる。(運動・作業・制服など)							
	4 自分で身だしなみを整えることができる。(そで・えり・すそ等)	/	/	/	/	/	/	
	① 決められた場面では、自分で整える。(着替えのあとや外出前など)							
	② 乱れたときに自分で気づいて整える。							
	5 適切な場所で着替えをする。	/	/	/	/	/	/	
① 決められた場所で着替えをする。								
② 着替えに適切な場所を自分で判断し、着替えをする。								
清潔 入浴	1 一人で体を洗うことができる。	/	/	/	/	/	/	
	① 一通り洗える。							
	② 手順よく洗うことができる。							
	2 一人で髪を洗うことができる。	/	/	/	/	/	/	
	① おおむね洗うことができる。一連の動きができる。							
	② 手順よく洗うことができる。							
	3 一人で体をふくことができる。	/	/	/	/	/	/	
	① おおむねふき取れる。一連の動きができる。							
	② 場面に応じて(プールの更衣室や大浴場等)ふき取れ、始末ができる。							

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3	特記事項
清潔	4 洗顔や手洗いをすることができる。	/	/	/	/	/	/	
	① (洗顔) 全体をこすり、洗うことができる。							
	② (洗顔) 石けん・洗顔フォームなどを使ってきれいに洗うことができる。							
	③ (手洗い) 一通り洗える。							
	④ (手洗い) 力を入れて全体を早くきれいに洗える。							
	⑤ (手洗い) 一通りふくことができる。							
	⑥ (手洗い) 全体をまんべんなくタオルでふける。							
	⑦ (手洗い) ハンカチで手をふき、たたんでしまうことができる。							
	5 歯磨きをすることができる。	/	/	/	/	/	/	
	① 一通り磨ける。							
	② 細かい箇所も磨ける。							
	③ 正しい箸の持ち方で食事をするすることができる。							
	6 爪切りをすることができる。	/	/	/	/	/	/	
	① 利き手で非利き手の爪を切るときに、適度に丸く切れる。							
	② 両手・両足とも、適度に丸く切れる。							
	7 (女子のみ) 生理の手当てをすることができる。	/	/	/	/	/	/	
	① 周りを汚さないよう、生理の手当て・後始末までできる。							
	② 生理期間中、一人で処置ができる。							
	③ 自分の生理サイクルを大まかにつかみ、生活できる。 (前もって用意・生理による体調の変化の把握)							
	8 身の周りの物を整理整頓することができる。	/	/	/	/	/	/	
	① 自分の衣服や持ち物を決められた場所に整頓して置く。							
	② 机の引き出しやロッカーを上手に使用する。							
	9 その他	/	/	/	/	/	/	
	① 衣服が汚れたら着替える。							
	② 下着を毎日取り替える。							
	③ (男子) ひげをそることができる。							
	④ (女子) むだ毛を処理することができる。							

健康・保健

○:一人でできる

△:支援があればできる

×:支援ありでもできない

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3	特記事項
健康・保健	1 自分の体の成長の変化に対して関心がある。	△	△	△	△	△	△	
	① 肥満や痩せなどを意識している。							
	② 身体測定の結果や身体の変化などから、自分の身体の成長に関心を持つ							
	2 身体像(ボディイメージ)が形成されている。	△	△	△	△	△	△	
	① 自分の身体各部位の位置関係や大きさ・名称がわかる。							
	② 身体の左右・上下・前後などの位置関係を把握している。							
	③ 動作模倣ができる。							
	3 保健的な内容	△	△	△	△	△	△	
	① 自分から好きな運動に取り組んだり、体力の維持・向上に努めたりする。							
	② 体調に合わせて休養をとることができる。							
	③ けがをした時など簡単な応急処置をすることができる。							
	④ 常に身体や身边を清潔に保つことができる。							
	⑤ 欲求やストレスに適切に対処できる。 (体ほぐしや音楽を聴く、仲間と遊ぶなどの対処法を知っている。)							
	⑥ 危険な場所や状況を自分から回避したり、大人に知らせたりする。							
⑦ 性に関することに対し、学習を積み上げ、適切に対処することができる。								

参考資料 : S-M社会生活能力検査(日本文化科学社)
『知的障害教育における学習評価の方法と実際』(ジアース教育新社)
『子どもの発達にあわせて教える1 食事編』(合同出版株式会社)
『子どもの発達にあわせて教える2 排泄・清潔編』(合同出版株式会社)
『子どもの発達にあわせて教える3 着脱編』(合同出版株式会社)

対人関係

○:一人でできる

△:支援があればできる

×:支援ありでもできない

参考文献:Vineland-II 適応行動尺度

内 容		中1	中2	中3	高1	高2	高3	特記事項
①	自分の感情を言葉で表す。 (例えば、「うれしい」、「楽しい」、「むかつく」、「怖い」など)							
②	親しい人との簡単な会話に応える。 (例えば、「元気？」の問いに「うん」と答えたり、「すごいね」と褒められて「ありがとう」と答えたりする, など)							
③	仲のよい友達がいる, 特定の友達に好意を示す。 (どちらの性別でもよい)							
④	他の人に対する気遣いを示す。 (例えば、「やったね, 君の勝ちだね」, 悲しんでいる持友だちに「大丈夫?」と言う, など)							
⑤	困っている人を手助けする。 (例えば, 転んだ人に手を差し出す, 落としたものを拾ってあげる, など)							
⑥	他の人の好き・嫌いを理解している。 (例えば, 「Aさんはサッカーが好き」, 「Bさんは野菜が嫌い」と言う, など)							
⑦	共通の興味をもつ相手と話ができる。 (例えば, テレビ番組や休み時間の計画, など)							
⑧	自分と他の人との距離を適度に保つことができる。 (例えば, 話しているときに他の人に近づき過ぎない, など)							
⑨	その場に合わせた感情を表現する。 (例えば, 場をしらけさせたり, 盛り上げすぎたりしない, など)							
⑩	友だちに対して無理な要求をしない。 (例えば, 他の友達と遊ばないことや, 自分と一緒にいることを要求したりしない, など)							
⑪	定期的に友だちと会う。 (例えば, 友だちと約束して, 休み時間や放課後, 休日に会う, など)							
⑫	知っている人に会ったときに, 自分から会話を切り出せる。 (例えば, 「元気だった?」, など)							
⑬	みんなの前では, 意地悪なことや恥ずかしいことを言わないようにしたり, 失礼な質問はしないようにしたりできる。							
⑭	物事を計画したり, 役割を分担することに協力する。 (例えば, スポーツイベントや誕生日会, など)							
⑮	個人的なことをうかつには話さない。 (例えば, 個人的情報を見境なく伝えない)							
⑯	会話中に, ほのめかされたことや間接的な手掛かりを理解している。 (例えば, あくびは「退屈だ」ということや, 話題を素早く変えるということは「私はこのことをはなしたくない」という意味であることを知っている, など)							
⑰	相手の興味があることを話題にして話を始める。 (例えば, 「あなたはサッカーが好きなんだってね」, など)							

コミュニケーション

○:一人でできる △:支援があればできる ×:支援ありでもできない

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3	特記事項
情緒・行動	1 感情のコントロール	/	/	/	/	/	/	
	① 情緒は安定している。							
	② ゲームなどの勝負ごとで自分の負けを受け入れることができる。							
	③ いやなことがあっても、乱暴なことをしない。(人を叩いたり、ものを投げたりなど)							
	④ いやなことがあっても、人を非難したり騒いだりしない。							
	⑤ 友だちがいやがることは言ったりやったりしない。							
	⑥ 感情的になっても、気持ちを上手く切り替えられる。							
情緒・行動	2 行動のコントロール	/	/	/	/	/	/	
	① 場の状況を考えて自分のすべき行動が分かる。							
	② 次の活動に対して見通しをもって落ち着いて行動することができる。							
	③ 行動する前にじっくり考える。(衝動的に行動しない)							
	④ 自分の行動をふりかえることができる。							
コミュニケーション	3 コミュニケーションスキル	/	/	/	/	/	/	
	① 自分の意思を伝えようとする。							
	② 相手の顔を見て話したり、聞いたりすることができる。							
	③ あいさつや返事ができる。							
	④ 集団に向かって自分の考えを述べることができる。							
	⑤ 場や状況に応じた言葉遣いができる。							
	⑥ 人に感謝の意を伝えることができる。							
	⑦ いやなことははっきりとことわることができる。							
	⑧ くやしきや怒りを言葉で伝えることができる。							
	⑨ わからないことは質問することができる。							
	⑩ 親しい人に不安や心配なことを話す。							
⑪ 予定や時間に遅れたら、その理由をはっきりと述べるができる。								

参考資料 : ソーシャルスキルマニュアル(明治図書)
以前の大島養護チェックリスト

余暇スキル

記号	尺度	中1	中2	中3	高1	高2	高3	○ できる	△ 一部できる	× できない
自①	余暇活動への要求とワークシステムへの反応							慣れた環境であれば、ある部屋から出て別の部屋へ伝言しに行く。別の部屋にいる特定の受け手に文書化口頭の伝言を運ぶ。相手の応答を元の人に届けに行く。	迷ったり、うろうろ歩きまわったり、走り去ったりすることなどなく、学校の建物の中や周囲を自分で歩く。しかし、伝言するためのすべての段階を常に実施できるわけではない。	学校内を移動する時に援助を要したり、迷ったり、うろうろ歩き回ったりする。監督指導がなければ教室を離れる際にいろいろと困難を生じる。
自②	地域における余暇スキルの計画							日々のスケジュールを理解し、それに従う。時間どおり教室や作業エリアに向かい、昼食や休憩後に正しいエリアに戻る。時間どおり休憩後に作業を再開する。	日々のスケジュールに従ったり、時間どおり建物の別のエリアに向かったりするのに時々指示を必要とする(日に3回以下)。	日々のスケジュールに従ったり、時間どおり建物の別のエリアに向かったりするのに、いつでも指示を必要とする(日に4回以上)。
自③	地域での余暇活動に必要なお金の計画							常に安全基準(たとえば、安全に道具を使う、毒物や火災警報のような警告サインを理解する、危険なエリアや道具を確認したり避けたりする)を確かめる。	時々安全基準を犯してしまう(月に1度くらい)。あるいは、より複雑な基準を認識するのが難しい。	常に安全基準を犯してしまう(月に2回以上も)。あるいは、単純な基準さえ認識することができない。
自④	公共の娯楽行事に関心を示す							公共の場で分別をわきまえた行動をする。他人に著しく影響するような自己刺激行動、自傷行動、注意散漫、奇妙な行動を見せることはない。	他人に影響を与えるような軽度の不適切な行動を時々(5回のうち2回以下)見せることがある。	他人に影響を与えるような軽度の不適切な行動を頻繁に(5回のうち3回以上)見せる。あるいは公共の場で重度の不適切行動(例えば、かんしゃく、マスターベーション、自傷行動など見せる)。
自⑤	ペットの世話をする							常にレストランやお店、横断歩道での移動や行為を導くような公共のサイン(たとえば、注文する場所はここ、受け取る場所はここ、入口、進入禁止、注意、歩道、歩行禁止)が分かり、それに応じる。	サインの方を見るように促す必要があるが、公共の場で移動を導くサインを理解し、従うことができる。	公共の場面で移動して導くサインを理解したり、従ったりしない。
自⑥	1人でファーストフードのレストランで食事をする							緊急時の際に、指示がなくても近くの出口に急いで歩く、あるいは困難や混乱の兆候を示すことなくアナウンスの指示に従うなどして、警報信号、ベル、アナウンスに応じる。	我を失い混乱の兆候を示すので、緊急の手順に従うように時々監督者からの個別の援助を必要とする。	我を失い混乱するので緊急の手順に確実に従うのに常に監督者からの援助を必要とする。
自⑦	余暇活動後の片づけ							常に指定された場所に持ち物を管理する。持ち物をなくしたり、間違った場所に置いたりするのを防ぐためにまれに(月1、2回)だが、教える必要がある。	指定された場所に持ち物を管理するために、時々教える必要がある。時々(月に3~8回)教える必要がある。	頻繁に指定された場所の外に持ち物を散らかす。持ち物を管理することを頻繁に(月9回以上)教える必要がある。
自⑧	適切に自由時間を過ごす							予定された活動にあっても直接指示されたものであっても、指導されずに30分以上適切に自由時間を過ごすことができる。	5分以上30分以内で適切に活動できる。または30分活動を続けるために時々指示を必要とする。	頻繁に指示や支援がなければ、5分程度の自由時間を適切に始めたり過ごすことができない。
自⑨	協力して遊びに従事する							指示しなくても遊びの状況で他者に気づいて関心を示し、おもちゃや道具を共有し、遊びの中で活発に協力する。	他者に気づいて関心を示すが、あまり道具を共有しない、他者から道具を取り上げるなどの行動が見られる。または、指示されれば、協力して遊べる。	協力的に遊ぶ能力も他者への気づきもない。

記号	尺度							○ できる	△ 一部できる	× できない
		中1	中2	中3	高1	高2	高3			
自⑩	昼食や休憩の時間の活動に従事する							昼食や休憩の時間を適切に過ごす(たとえば、自然な人とのやりとりや1人で行う行動など)。	昼食や休憩時間の4分の1程度適切に過ごす。または、関心を持って昼食や休憩の時間を過ごす。	休憩時間のうち、2分以下しか休まない。または、休憩と作業時間を区別する様子がない。
自⑪	集団行事に参加する							行事に関心を示す、行事の理由を理解する(誰の誕生日か、遠足はどこへ出かけるかなど)などしながら、集団の行事に積極的に参加する。	行事に積極的に参加しているが、その理由がわかっていない。または、行事があることが予想できているが、行事にあまり関心を示さない。	集団の行事に参加しない、あるいは興味を示さない。
自⑫	スポーツをする							ルールを理解して1つ以上のスポーツをうまく行う。	少なくとも1つのスポーツをしようとするが、ルールの理解、身体運動の実行で、支援を必要とする。	どんなスポーツもやろうとしない。
自⑬	自動販売機を使う							自分で物品を選び、購入に十分な硬貨を入れ、お釣りを取ることができる。	物品選び、硬貨入れ、お釣りを物品の受け取りの一部ができるが、実行するのに支援が必要である。	支援しても、購入する行為のどの部分も自分で実行できない。
自⑭	新しい余暇活動を学ぶ							ある程度(月2回以上)の新しい余暇活動を試み、余暇時間の新しい使い道について、教師からの助言に従う(たとえば、新しいゲームや趣味、読書レパートリーの増加など)。	新しい余暇活動を試みるが学ぶのに困難がある、あるいはすぐ興味を失う様子がみられる。または、新しい余暇活動を月1回程度以下の頻度で試みる。	新しい余暇活動を減多に試みようとする(年1~2回程度以下)。または、新しい試みをしようとする教師からの助言に強く抵抗する。
自⑮	1人での室内活動を行う							月2回以上、1つ以上の室内活動に1様の関心を示して行う。	月1回以下、1人での室内活動を行う。あるいは興味を持続するのに支援を必要とする。	室内活動を行うのに興味を示さない。
自⑯	植物の世話をする							自分で定期的に植物を維持するために、土の乾き具合をチェックして適切な量の水をやる。または、スケジュールに従って、容器を使って定期的に植物に適切な量の水をやる。	植物には水が必要ということは分かっているが、正しい水の量、土の乾き具合、スケジュールに従うことに対し、時々支援を必要とする。	植物に水をやることに関心がない、または水が必要だということが分からなかったりする。あるいは毎回、水をやる量が適量でない。
自⑰	ダーツゲーム、盤を使った将棋やオセロゲーム、カードゲームで遊ぶ							ゲームの目的が達成されるまで交互にやりとりをする、簡単なルールに従うなどして、少なくとも15分間、定期的に(月2回以上)他者と協力して行う室内ゲームを少なくとも1つは参加する。	定期的に他者と協力して行うゲームを、少なくとも1つは参加しようとするが、ルールに従うのに支援が必要である。または、目的が達成されるまで興味を持続できない。	定期的に他者と協力して行う室内ゲームに参加しない。または、常に支援がなければ、簡単なルールに従うことができない。
自⑱	ゲームの図や文書の指示に従う							※対象者に教える協力して行う余暇活動か1人で行う余暇活動で、図か文書の指示書を提示する。自分から進んで、視覚的な指示書を参照しながら活動を遂行できる。	教師の支援があれば、視覚的な指示書や指示に従って活動を遂行できる。	活動を遂行するのに、常に教師の指導が必要である。または、視覚的な指示書を全く参照しない。
自⑲	定期的な運動							週2回程度、20分ほどのある種の有酸素運動を自分から進んで行う。	指導者がいれば、週2回程度5~15分の有酸素運動を行う。	指導者がいても、5分の運動が継続できない。

家庭生活に関するチェックリスト

- 衣 生 活
- 食 生 活
- 住 生 活

リストの内容については、学校における教育活動の様子のみではその状況が判断しにくい項目も含まれています。家庭へチェックのお願いをしたり、聞き取りを行うなどして、チェックを行うようにしてください。

生徒氏名

	記入者名	記入年月日
中1		平成 年 月 日
中2		平成 年 月 日
中3		平成 年 月 日
高1		平成 年 月 日
高2		平成 年 月 日
高3		平成 年 月 日

鹿児島県立大島養護学校 中学部・高等部

衣生活

○ : 一人でできる

△ : 支援があればできる

× : 支援ありでもできない

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
着 装	1 衣服が汚れたら着替える						
	2 下着を毎日取り替える						
	特記事項: 上記リストに付加する記述がある場合や詳細な所見がある場合等に記入する						
被 服 等 管 理	3 汚れたものを洗濯に出す						
	4 洗濯機を使う(洗剤を適切に入れる, 洗濯機の操作方法が分かる)						
	5 洗濯物を干す(物干し竿にタオル等を掛ける)						
	6 衣服をハンガーに掛けることができる						
	7 乾いたら取り込む						
	8 取り込んだ洗濯物をたたむ(タオルや体操服, 下着など)						
	9 シャツなどをしわを伸ばしながらたたむ						
	10 ハンカチのアイロンがけをする						
	11 シャツのアイロンがけをする						
	12 アイロンのドライとスチームを使い分ける						
	13 靴や上履きを洗う(洗剤やせっけんの適切な使用, ブラシの使用)						
	14 ボタンをつける						
	15 スカートやズボンのすそをまつ						
16 ミシンを使って雑巾を縫う							

食生活

○ : 一人でできる △ : 支援があればできる × : 支援ありでもできない

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
加工食品・飲料	17 カップ麺を作る(タイマーの使用, 熱湯の安全な取扱い, 手順の理解)							
	18 レトルト食品(カレー, ハンバーグ等)を作							
	19 調理済み食品・冷凍食品(ピラフ, お好み焼き等)を電子レンジで温める。(調理方法を読んで手順通りに調理できる。)							
調理器具	20 イージーオープンふたの缶詰を開ける							
	21 缶ジュースのふたを開ける							
	22 ペットボトルのふたを開ける							
	23 皮むき器を使う							
	24 包丁で柔らかい野菜等(キャベツ, しいたけ類等)を切る							
	25 包丁で硬い野菜等(大根やにんじん)を切る							
	26 包丁でみじん切りをする							
	27 栓抜きで栓を抜く							
ガス	28 缶きりで缶を開ける							
	29 ガスの元栓を開け閉めする							
	30 鍋やフライパンをレンジの上に安定させておく							
	31 料理に合わせてコンロの火加減をする							
ご飯	32 ガスの火を消して確認する							
	33 米をカップで計る							
	34 米をとぐ							
	35 水加減ができる							
	36 炊飯器を使う							
	献立調理	37 みそ汁を作る						
		38 サラダを作る						
39 カレーライスを作る								
40 親子丼を作る								
41 卵焼きを作る								
42 肉野菜炒めを作る								
43 自分の食べたいものを考えて献立をたてる								
44 栄養のバランスを考えて, 献立をたてたり, 外食のメニューを考える								
「準備」の項目については, 社会生活(中・高)のリストで確認をする。								
片付け	45 食器を片付ける							
	46 食卓をふく							
	47 食器を洗う							
	48 食器をふく							
	49 食器を収納する							
	50 ふきんを洗い干す							

住生活

○ : 一人でできる

△ : 支援があればできる

× : 支援ありでもできない

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
ほうき	51 ゴミを掃く						
	52 隅々まで掃く						
	53 置いてあるものをどかして掃く						
	54 ちりとりでとる						
掃除機	55 掃除機の準備・片付けをする						
	56 隅々まで掃除機をかける						
	57 ゴミパックがいっぱいになったら取り替える						
ぞうきん	58 ぞうきんで拭くべき所がわかる(床, 棚, 椅子など)						
	59 ぞうきんを適当にたたんで拭く						
	60 汚れたら洗う						
	61 隅々まで拭く						
	62 ぞうきんの片付けをする						
トイレ	63 便器を隅々までたわしでこする						
	64 トイレトーパーを補充する						
風呂	65 お風呂に適量の水(湯)をためる						
	66 入浴後に浴室の簡単な掃除(髪の毛を拾う, 泡を流す)						
	67 風呂掃除をする(スポンジや洗剤の適切な使用, デッキブラシの使用等)						
ゴミ処理	68 ゴミを種類別に分別する						
	69 ゴミ袋の口をきちんと閉めて出す						
	70 ゴミを出す日が分かる						
	71 決められた場所にゴミを出す						
布団	72 毎日布団の上げ下ろしをする(ベッドメイクをする)						
	73 天気を見て布団を干す						
	74 シーツや枕カバーを定期的に交換する						
電化製品	75 テレビ欄で好きな番組を捜して見る						
	76 CDをかける						
	77 好きなDVDを操作して見る						
	78 電池が切れたら交換する						
	79 電球や蛍光灯の交換をする						

職業生活に関するチェックリスト

作業に関する知識・技能

生徒氏名

項目によっては、教師の主観的な評価になりがちな部分もありますが、作業内容や一緒に取り組む友達、教師との相性によって状態像が変化するが、それも生徒の実像としての一面なので、主観的評価も引継ぎや生徒理解を助ける資料となり得るのではないか」という主観的な評価も許容するという考えに立ってリストを活用してください。

所属作業班

中学部		高等部	
1年		1年	
2年		2年	
3年		3年	

	記入者名	記入年月日
中1		平成 年 月 日
中2		平成 年 月 日
中3		平成 年 月 日
高1		平成 年 月 日
高2		平成 年 月 日
高3		平成 年 月 日

鹿児島県立大島養護学校 中学部・高等部

働くことの理解

※ A：大いにある B：ある C：少しある D：ない

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
働くこと の 理 解	1 学校での仕事(係活動, 役割分担, 作業学習等)に対する興味・関心がある。						
	2 将来働くことへの興味・関心がある。						
	3 学校での仕事に対する意欲がある。						
	4 将来働くことへの意欲がある。						
	5 なりたい職業がある。(ある場合は具体的に記入)						
	6 働くことへの理解ができている。(該当する項目の記号を記入) ア：役に立つことの喜びを感じる イ：様々な職業があることが分かる ウ：労働と報酬の関係が分かる エ：卒業後の進路について意識できる オ：自分の役割を自覚し, その責任を果たすことができる カ：作業学習や実習で, 働くことの意義や大変さが理解できる キ：労働と自己の能力の関係が分かる (参考: 岡山県特別支援教育キャリア教育の発達段階表)						

作業習慣

※ A：一人でできる(または「はい」) B：言葉掛けでできる(または「ふつう」) C：教師と一緒に付いてできる D：難しい(または「いいえ」)

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
準備 など	7 作業に必要な道具, 用具を準備する。						
	8 作業後, 使用した道具, 用具を所定の位置に片付ける。						
規則	9 時間など, 作業の決まりを守る。						
	10 安全に注意して作業する。						

作業能力

※ A：確実にできる(または「はい」) B：時々できる(または「ふつう」) C：教師の何らかの支援があればできる D：難しい(または「いいえ」)

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
細 か い 作 業	11 折り紙の端を合わせて四つに折る。						
	12 蝶結びをする。						
	13 3種類(A4, はがき大, 名刺大; 各5枚)の紙を大きさで分類する。						
	14 3色のボールペンを分解し, 再度同じ色で組み立てる。						
	15 直径の違う3種類のボルトナット(各3個)を組み合わせる。						
	16 ドライバーの種類が分かり, ねじを締めたり緩めたりできる。						

※ A：11kg～15kg B：6kg～10kg C：3kg～5kg D：ひとりでは難しい（または「いいえ」）

→ 職業生活の視点からのチェックのため、『ひとり』でできる状態像をチェックする

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
持ち上げ	17 床にある荷物を持ち上げる。						
	18 10メートルの距離を、荷物を持って運ぶ。						
	19 パイプ椅子を持ち上げて運ぶ。（運べる個数に○をする）	4 2 1 0	4 2 1 0	4 2 1 0	4 2 1 0	4 2 1 0	4 2 1 0
	20 大きな重たい荷物（折りたたみ式の長机等）を二人で協力して運ぶ。						

根気・持続力1 指導者が近くにいる場面での作業

※ A：41分～60分 B：16分～40分 C：6分～15分 D：3分～5分 E：ほとんどできない

条件を付加 → 支援なし（見守り程度）でできる場合は：○、支援が必要（声掛けや身体的なガイド）な場合は：△を付す。

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
記入例	『支援なし』で集中して（ムラなく）作業を続けることがB段階の場合	BO					
	『支援あり』で集中して（ムラなく）作業を続けることがD段階の場合	D△					
座位作業	21 集中して（ムラなく）作業を続ける。						
	22 正確（ていねい）な作業を続ける。						
	23 手際よく（早く）作業を続ける。						
立位作業	24 集中して（ムラなく）作業を続ける。						
	25 正確（ていねい）な作業を続ける。						
	26 手際よく（早く）作業を続ける。						

根気・持続力2 指導者が近くにいらない場面での作業

※ ひとりでできたら○をする。できなかつたら×

分野	内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
一人での作業	27 指導者なしで、一人でも一定のペースで作業を続けることができる。						
	28 指導者など見ている人がいなくなると、ペースが遅くなったり、時々休んだりする。						
	29 人がいなくなると極端にペースが遅くなり、作業をしばしば中断する。						
	30 人がいなくなると、作業をやめてしまう。						

理解・報告

※ A：複雑な内容でも可 B：単純な内容は可 C：単純な内容でも不確実 D：難しい

分野		内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
指示理解・報告	31	言葉の指示が分かる。						
	32	分からないときは人に聞いて作業を進める。						
	33	報告（作業の終了，体調不良等）をする。						
作業理解	34	作業に必要な知識（材料，工程，用具の名称）を理解する。						
	35	機会や道具の仕組みを理解して扱う。						

自己評価・判断

※ A：ほぼ適切に判断 B：適切に判断できないことがある C：適切に判断できないことが多く支援を要する D：全く不適切で常時支援を要する

分野		内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
自己評価・判断	36	作業の目標を立てる。						
	37	作業の進み具合（見通し）に注意を向けて取り組む。						
	38	不良品を見分ける。						
	39	作業を振り返り，自己評価する。						

性格・行動

※ A：その傾向が強い B：その傾向がやや強い C：あまり感じられない D：全く感じられない

分野		内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
性格・行動	40	何事にも意欲的である。						
	41	素直である。						
	42	まじめである。						
	43	明るい。						
	44	誰とでも協調してやっていける。						
	45	感謝の気持ちを表すことができる。						

不適切な行動

※ A：全く見られない B：まれに見られる C：時々見られる D：頻繁に見られる

分野		内 容	中1	中2	中3	高1	高2	高3
不適切な行動	46	作業中，勝手な行動をとる。						
	47	些細なことで感情的になる。						
	48	他の人の迷惑になる行動をする。						
	49	汚れる作業に対する抵抗が見られる。						
	50	作業を中断すると，興奮したり怒ったりする。						
	51	少しの物音や動きで気が散る。						

生活単元学習

ねらい（目標）の一覧表

平成28年度単元一覧表【生活単元学習】

学部 月	小学部						中学部			高等部		
	Ⅲ (1・2年)	Ⅲ (3～6年)	Ⅳ (1～6年)	共通 単元	通年	農園 活動	1年	2年	3年	1年	2年	3年
4	新しい学年 みんなで遊ぼう						新しい学部	新しい学級・学年		新しい生活	新しい生活	新しい生活
5	働く人を 見に行こう						宿泊学習 (隔年)	お楽しみ会を しよう(隔年)		宿泊学習に参加しよう	修学旅行に行こう	修学旅行に行こう
6							夏の遊びをしよう					
7	運動会を がんばろう											
9							みんなで でかけよう					
10	みんなで でかけよう											
11							もうすぐ冬休み					
12	学習発表会をがんばろう											
1							冬の遊びをしよう					
2	もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業											
3							もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業					
4	もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業											
5							もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業					
6	もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業											
7							もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業					
8	もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業											
9							もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業					
10	もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業											
11							もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業					
12	もうすぐ〇年生 もうすぐ卒業											

誕生日おめでとう

交流会をしよう

ALと遊ぼう

仲良しタイム

季節(四季)を感じよう

【夏・野菜を作ろう】
【秋・野菜を作ろう】
【冬・野菜を作ろう】
【春・野菜を作ろう】
【夏・野菜を作ろう】
【秋・野菜を作ろう】
【冬・野菜を作ろう】
【春・野菜を作ろう】

花の苗植え
花壇の手入れ

小学部

[生活单元学习]

単元名	働く人を見に行こう	期間	5月下旬	時数	6.5
目標	○様々な職業があることを知ることができる。 ○働くことの意義や大切さを知ることができる。 ○校内体験や職場見学をすることができる。 ○学校生活で頑張ることを考えることができる。 ○交通ルールや食事や見学のマナーを知ることができる。 (○作業学習などの様子を見学して、働くための学習について知ることができる) (○事業所や福祉施設の必要な情報を調べることができる。) * () 内は中・高等部の目標				
学習内容		チェックリストとの関連	安全に関する留意点		
1 事前学習 (1) 昨年度の社会見学のVTRを見る。 (2) カレンダーなどで、見学の期日を知る。 (3) 写真やビデオを見て、見学場所について知る。 (4) 見学地について、知っていることを発表し合ったり、教師から話を聞いたりする。 (5) 交通手段や持っていくものについて知る。 (6) レストランごっこ遊びを通して、昼食のメニューを選ぶ。 (7) 買物ごっこ遊びを通し、食事の注文や支払いなど、買物の一連の流れを知る。 (8) 買いたいものを決める。 (9) 公共施設等での見学や食事の際のマナーについて知る。 2 働く人を見に行く。 (詳細は学部実施計画参照) (1) 交通ルールや集団行動についての約束事、公共マナーを守って活動する。 (2) 食事の注文、支払い、買い物等、計画を立てたり練習したりしたことを実践する。 3 事後学習 (1) 見学当日のビデオや写真を見たり、楽しかったことやがんばったことを発表したりする。 (2) 見学当日の様子を絵に描いたり、お礼の手紙を書いたりする。		生活ーコミ(受) 生活ーコミ(受) (表) 国語一話す 生活ー集団 算数ー実務 生活ー集団 生活ー身体(移) 生活ーコミ(受) 生活ーコミ(表) 国語一書く	・見学地等の安全を確保する(危険箇所等の周知徹底)。 ・安全を確保できるグループ編成をする。(教師2人以上の配置) ・交通ルールについての指導を徹底する。(信号や横断歩道など) ・集団行動についての事前指導をする(一人で行動しないなど)。 ・児童の定期的な人数確認や安全確認をする。 ・緊急連絡体制の確認をする。		
関連する指導の形態：国語，算数					

単元名	夏の遊びをしよう	期間	6～7月	時数	42～48
目標	○ 夏について知ることができる。 ○ 夏の行事・遊び・食べ物・活動について体験することができる。 ○ いろいろな遊びを通してみんなと仲良く遊ぶことができる。				
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 事前学習 (1) 写真や絵、具体物、VTR等を用いて、夏の行事や食べ物、動植物、遊び等を知る 2 夏の遊びをする。 (1) かえるやかたつむり、あじさい等の工作 ・傘や雨合羽作り ・うちわ作り ・風鈴作り ・かき氷作り ・七夕飾り作り ・夏祭り(七夕祭り)など 3 事後学習 (1) 夏の遊びについて写真や作品等を用いて振り返り、楽しかったこと、がんばったことなどを話したり、絵に描いたりする。		生活ーコミ(受) 生活ー身体(技) (移) 生活ーコミ(表) 国語一話す	・学習用具の取扱に注意する。 ・屋外の活動では熱射病等体調管理に気を付ける。 ・調理時の衛生面の配慮をする。		
関連する指導の形態：遊びの指導					

単元名	秋を感じよう	期間	11月	時数	36～40
目標	○ 秋について知ることができる。 ○ 秋の行事・遊び・食べ物活動について体験することができる。 ○ 友達や教師とかかわりながら冬のあそびを楽しむことができる。				
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 事前学習 (1) 写真や絵, 具体物, VTR等を用いて, 秋の行事や食べ物, 動植物, 遊びなどを知る。 2 秋を探す。 (1) 校内を散歩して動植物などの変化を見る。 (2) 見付けた秋の材料で作品を作る。 ・松ぼっくり ・どんぐりごま ・やじろべえ ・いも版 など (3) 秋の味覚を味わう。 ・りんご ・ぶどう ・梨 ・栗 ・さつまいも ・柿 など 3 事後学習 (1) 秋の遊びについて写真や作品等を用いて振り返り, 楽しかったこと, がんばったことなどを話したり, 絵に描いたりする。		生活一集団 生活一身体(移)(技) 生活一コミ(表) 生活一身体(移)(技)	・屋外での活動では水分補給, 暑さ対策, 体調管理に努める。 ・学習用具の取扱に注意する。 ・調理を行う場合は調理器具や食器等の衛生管理に留意する。		
関連する指導の形態: 図画工作, 国語					

単元名	もうすぐ冬休み	期間	12月	時数	28～32
目標	○ 冬について知ることができる。 ○ 冬の行事・遊び・食べ物活動について体験することができる。				
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 年のくれについて知る。 2 年末の雰囲気味わう。 (1) クリスマス会をする。 ・かざりやケーキを作るなど準備をする。 ・クリスマス会をする。 (2) 年賀状を出す。 ・年賀状を買いに行く。 ・年賀状を製作する。 ・年賀状をポストに出す。 (3) 大そうじをする。 ・教室などを大そうじする。 3 学習を振り返る。 (1) ビデオや写真を見る。 (2) 楽しかったことなどを話したり, 絵に描いたりする。		生活一コミ(表) 生活一身体(技)	・安全を確保できるようなグループ編成や指導体制の確保をする。 ・校外に出る際の緊急体制の確保をする。 ・見学先の安全面確保の事前調査を行う。		
関連する指導の形態: 国語, 算数, 特別活動					

単元名	学習発表会をがんばろう	期間	1月～2月1週	時数	21～24
目標	○ 学習発表会について知ることができる。 ○ 学習発表会の係や役割を決めることができる。 ○ 発表に必要な道具や作品展示の準備をすることができる。 ○ 舞台発表を見たり、作品を鑑賞することができる。 ○ 学習発表会について写真やビデオを見て振り返ることができる。				
学習内容		チェックリストとの関連	安全上の留意点		
1 学習発表会について知る。 (1) 昨年度の発表会のビデオを見る。 (2) 学習発表会の日時や発表内容を知る。 2 準備する。 (1) 発表に必要な道具を作る。 (2) 作品展示の準備をする。 3 舞台発表の練習をする。 ※ 予行に参加する。 ※ 学習発表会に参加する(学校行事3時間)。 4 自分や友達の作品展示の鑑賞をする。 5 学習発表会を振り返る。 (1) 発表会のビデオを見る。 (2) 楽しかったことやがんばったことを話したり、絵に描いたりする。		生活一コミ(受) 生活一集団 生活一身体(2)(3) 生活一コミ(表) 生活一身体(2)(3) 生活一コミ(受)	・はさみ等の道具を使う際の安全面の配慮をする。 ・体育館練習時における舞台やスロープ使用の注意喚起をする。 ・歩行面の安全のための照明を確保する。		
関連する指導の形態：遊びの指導，国語，算数，体育，音楽					

単元名	冬の遊びをしよう	時期	1月～2月	時数	28～32
目標	○ 冬について知ることができる。 ○ 冬の行事・遊び・食べ物活動について体験することができる。 ○ 友達や教師とかかわりながら冬のあそびを楽しむことができる。				
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 冬の遊びを見る。 (1) 冬にする遊びの紹介(ビデオ・実物・手本)を見る。 (2) いろいろな冬の遊びを体験する。 ・すごろく ・かるた ・ふくわらい ・もちつき ・豆まき ・おしくらまんじゅう など 2 冬の遊びをする。 (1) 冬の遊びの中で、どれをしたいか選ぶ。 (2) 選んだ冬の遊びをする 3 冬の遊びを振り返る。 (1) ビデオや写真を見る。		生活一コミ(受) 生活一集団 生活一身体(移)(技) 生活一コミ(表) 国語一話す	・はさみ等の道具を使う際の安全面を配慮する。 ・風向きや電線等に留意してたこあげをする。 ・防寒対策をする。 ・衛生面の確保をする。 ・餅や豆をのどにつまらせないよう食形態に注意する。		
関連する指導の形態：遊びの指導，国語，算数					

単元名	もうすぐ〇年生	期間	3月	時数	14～16
目標	○ 進級するにあたり，1年間の出来事や思い出を振り返ることができる。 ○ 学年末の準備をしたり，行事に参加することができる。 ○ 卒業生を祝う気持ちをもち感謝の気持ちを伝えることができる。				
学習内容		チェックリストとの関連	安全上の留意点		
1 もうすぐ進級することを知る。 (1) カレンダーにて，修了式まであと何日あるのか確かめる。 (2) 今の学年と，進級した時の学年について知る。		生活一コミ (受) (表) 算数一測定	・はさみ等の道具を使う際の安全面を配慮する。 ・安全を確保できるようなグループ編成や指導体制の確保をする。 ・校外に出る際の緊急体制の確保をする。 ・衛生面・安全面に配慮した調理を行う。		
2 一年間の思い出を振り返る。 (1) 写真やビデオで1年間を振り返る。 (2) アルバムの整理をする。 (3) おわかれ遠足の準備をする (おやつを買いに行く)。 (4) お別れ会の準備をする。 (5) お別れ会をする。		生活一コミ (受) 生活一身体 (3) 算数一実務			
3 一年間の記念を残す。 (1) 一年間の写真や作品の整理をする。 (2) お楽しみ会の準備をする。 (3) お楽しみ会をする (レクリエーション，調理など)。		生活一身体 (3) 生活一集団			
4 進級の準備をする。 (1) カレンダーを作る。 (2) 大そうじをする。		生活一身体 (2) (3) 国語一書く			
関連する指導の形態：国語，算数					

【 Ⅲ課程 3～6年 】

単元名	新しい学年	期間	4月	時数	18～20
目標	○ 新しい学級や学年の先生や友達を知ることができる。 ○ 1年間の行事を知ることができる。 ○ 意欲をもって過ごすことができるように学級・個人目標を立てることができる。 ○ 協力して過ごすことができるように係活動を決めことができる。 ○ 行事の準備をしたり、参加したりすることで進級の喜びを味わうことができる。				
学習内容		チェックリストとの関連		指導上の留意点	
1 新しい学年や学級の友達、教師について知ったり、学習の内容・グループ等に関心を持ったりする。 (1) 自己紹介カードを作る。 (2) 一年間の目標を決める。 (3) 棚や机等に自分の名前や目印をつけたり、持ち物の整理をしたりする。 (4) 時間割表を作る。(教室環境作り) (5) 新しい友達を迎える会をする。 2 一日遠足について知る。 <事前学習> (1) カレンダーや地図等を用いて、日にち・場所の確認をする。 (2) 持っていく物、約束事等を考えたり、話し合ったりする。 (3) 遠足の準備をする(おやつを買いに行く)。 (4) 約束事を確認し、活動する。 3 事後学習 (1) カレンダーや写真等を用いて、一日遠足を振り返り、思い出を話したり、絵や作文、作品等にまとめたりする。		生活－コミ(受) (表) 国語－話す 生活－集団 生活－身体(移) (技)		・校外学習では、安全を確保できるような、グループ編成や指導体制に努める。 ・筆記用具やはさみ等正しい使い方を知らせる(毎月)。	
関連する指導の形態：国語，算数，図画工作，特別活動					

単元名	みんなで遊ぼう	期間	5月	時数	21.5～23.5
目標	○ 日程や活動内容を知り、準備することができる。 ○ いろいろな遊びを通してみんなと仲良く遊ぶことができる。 ○ 遊んだものを片付けることができる。 ○ 遊んだことを振り返り遊びを工夫することができる。				
学習内容		チェックリストとの関連		指導上の留意点	
1 事前学習 (1) 何を作って遊ぶか話し合う。 ・段ボールトンネル ・新聞紙プール ・ボールスライダー ・新聞紙迷路 ・乗り物コース など (2) 準備するものを考える。 2 ○○ランドを作り、みんなで遊ぶ。 (1) 遊びたいものを作る。 (2) 作ったもので遊ぶ。 3 事後学習 (3) 写真や作ったものの一部を用いて活動を振り返り、楽しかったことやがんばったことを話したり絵や作文、作品等でまとめたりする。		生活－コミ(受) (表) 国語－話す 生活－身体(技) 生活－身体(移)		・はさみや段ボールカッター等の正しい使い方を知らせ、ケガのないようにする。	
関連する指導の形態：図画工作，特別活動					

単元名	働く人を見に行こう	期間	5月下旬	時数	6.5
目標	○様々な職業があることを知ることができる。 ○働くことの意義や大切さを知ることができる。 ○校内体験や職場見学をすることができる。 ○学校生活で頑張ることを考えることができる。 ○交通ルールや食事や見学のマナーを知ることができる。 (○作業学習などの様子を見学して、働くための学習について知ることができる) (○事業所や福祉施設の必要な情報を調べることができる。) * () 内は中・高等部の目標に興味・関心を広げることができるようにする。				
	学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 事前学習	(1) 昨年度の社会見学のVTRを見る。 (2) カレンダーなどで、見学の期日を知る。 (3) 写真やビデオを見て、見学場所について知る。 (4) 見学地について、知っていることを発表し合ったり、教師の話の聞いたりする。 (5) 見学場所では、どんな仕事をしているのかどんなことを聞きたいか等を考える。 (6) 交通手段や持っていくものについて知る。 (7) 昼食のメニューを選ぶ。 (8) 食事の注文や支払い、買物の一連の流れの練習をする。 (9) 買物の計画を立てる。 (10) 公共施設等での見学や食事の際のマナーについて知る。	生活ーコミ (受) 生活ーコミ (受) (表) 国語ー話す 生活ー集団	・見学地等の安全確保をする(危険箇所等の周知徹底)。 ・安全を確保できるグループを編成する(教師2人以上の配置)。 ・交通ルールについての指導を徹底する(信号や横断歩道など)。 ・集団行動についての事前指導をする(一人で行動しないなど)。 ・児童の定期的な人数確認、安全確認を行う。 ・緊急連絡体制の確認をする。		
2 働く人を見に行く。	(1) 交通ルールや集団行動についての約束事、公共マナーを守って活動する。 (2) 食事の注文、支払い、買い物等、計画を立てたり練習したりしたことを実践する。	生活ー集団 生活ー身体 (移) 生活ーコミ (受)			
3 事後学習	(1) 見学当日のビデオや写真を見たり、楽しかったことやがんばったことを発表したりする。 (2) 見学当日の様子を絵に描いたり、お礼の手紙を書いたりする。	生活ーコミ (表) 国語ー話す 生活ー身体 (技)			
関連する指導の形態：国語，算数，図画工作					

単元名	夏の遊びをしよう	期間	6月～7月	時数	54～60
目標	○ 夏について知ることができる。 ○ 夏の行事・遊び・食べ物・活動について体験することができる。 ○ いろいろな遊びを通してみんなと仲良く遊ぶことができる。				
	学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 事前学習	(1) 写真や絵，具体物，VTR等を用いて夏の行事や食べ物，動植物，遊び等を知る。	生活ーコミ(受)	・水分補給，暑さ対策を行う。 ・道具等の正しい使い方や安全な遊び方を知らせる。 ・調理時の衛生面の配慮をする。		
2 夏の遊びをする。	・スライム遊び ・染めもの遊び ・イカダ作り遊び ・そうめん流し ・夏祭り(七夕祭り) ・かき氷作り ・シャボン玉遊び ・水に浮くおもちゃ作り など	生活ー身体(技) (移)			
3 事後学習	(1) 夏の遊びについて写真や作ったものを用いて振り返り，楽しかったこと，がんばったことなどを話したり，絵や作文，作品等でまとめたりする。	生活ーコミ(表) 国語ー話す			
関連する指導の形態：体育，国語，図画工作					

(Ⅲ課程 3年)

単元名	みんなででかけよう (3年)	期間	9月～10月1週	時数	45
目標	<input type="radio"/> 日程や活動内容について知ることができる。 <input type="radio"/> マナーを守って公共の施設や交通機関を利用することができる。 <input type="radio"/> 買い物や外食をとおして金銭のやりとりをすることができる。 <input type="radio"/> 学習の振り返りをすることができる。				
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 学習内容やメンバーなどを知る。 2 学校内や学校周辺に出かける。 (1) ウォークラリーをする。 (2) 落ち葉や木の実を集め、作品を作る。 3 なかよし遠足について知る。 (1) 写真やビデオを見て、見学場所について知る。 (2) 見学地について、友達と話をしたり、教師の話を聞いたりする。 (3) 交通手段や持っていくものについて知る。 4 なかよし遠足の準備をする。 (1) 買い物ごっこをする。 (2) おやつを買いに行く。 (3) 遠足ごっこをする。 5 なかよし遠足に出かける。 6 みんなででかけよう(なかよし遠足)を振り返る。 (1) 当日のビデオや写真を見る。 (2) 楽しかったことなどを話したり、絵に描いたりする。		生活－身体(移) 生活－身体(技) 生活－コミ(表) 国語－話す	・校外学習時の安全体制を徹底する。 ・校外学習緊急時対応マニュアルを参照する。 ・車いすの取扱に注意する。 ・校外学習場所の事前の实地踏査による安全面の確認を行う。		
関連する指導の形態：算数，特別活動					

単元名	運動会をがんばろう	期間	10月	時数	27～30
目標	<input type="radio"/> 運動会について知ることができる。 <input type="radio"/> 運動会に必要な道具を準備することができる。 <input type="radio"/> 運動会の係や役割を決めることができる。 <input type="radio"/> 運動会について振り返ることができる。				
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 運動会について知る。 (1) 昨年度の運動会のビデオを見る。 (2) 今年の種目を知る。 (3) 自分の組や同じ組の友達を知る。 2 準備する。 (1) ポスターを描く。 (2) 応援グッズを作る。 (3) 万国旗を描く。 (4) 係の仕事をしたり、競技種目等の小道具を作ったりする。 (5) 会場設営をする。 ※ 全校美化活動に参加する(学校行事1時間)。 3 運動会の練習に参加する。 ※ 運動会予行に参加する。 ※ 運動会に参加する(学校行事5時間)。 4 運動会を振り返る。 (1) 運動会のビデオを見る。 (2) VTRを見て、絵や感想を書く。		生活－身体(技) 生活－身体(移) 生活－コミ(表) 国語－書く	・はさみ等の道具を使う際の安全面の配慮をする。 ・水分補給，暑さ対策，体調管理に努める。		
関連する指導の形態：体育，図画工作					

単元名	秋を感じよう	期間	11月	時数	36～40
目標	○ 秋について知ることができる。 ○ 秋の行事・遊び・食べ物活動について体験することができる。 ○ 友達や教師とかかわりながら冬のあそびを楽しむことができる。				
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 事前学習 (1) 写真や絵, 具体物, VTR等を用いて, 秋の行事や食べ物, 動植物, 遊びなどを知る。 2 秋を探す。 (1) 校内を散歩して動植物などの変化を見る。 (2) 見付けた秋の材料で作品を作る。 ・松ぼっくり ・どんぐりごま ・やじろべえ ・いも版 など (3) 秋の味覚を味わう。 ・りんご ・ぶどう ・梨 ・栗 ・さつまいも ・柿 など 3 事後学習 (1) 秋の遊びについて写真や作品等を用いて振り返り, 楽しかったこと, がんばったことなどを話したり, 絵に描いたりする。		生活一集団 生活一身体(移)(技) 生活一コミ(表) 生活一身体(移)(技)	・屋外での活動では水分補給, 暑さ対策, 体調管理に努める。 ・学習用具の取扱に注意する。 ・調理を行う場合は調理器具や食器等の衛生管理に留意する。		
関連する指導の形態: 図画工作, 国語					

単元名	もうすぐ冬休み	期間	12月	時数	27～30
目標	○ 冬について知ることができる。 ○ 冬の行事・遊び・食べ物活動について体験することができる。				
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 年のくれについて知る。 2 年末の雰囲気味わう。 (1) お楽しみ会をする。 ・かざりなど準備をする。 ・高学年お楽しみ会をする。 (2) 年賀状を出す。 ・年賀状を買いに行く。 ・年賀状を製作する。 ・年賀状をポストに入れる。 (3) 大そうじをする。 ・教室などを大そうじする。 3 学習を振り返る。 (1) ビデオや写真を見る。 (2) 楽しかったことなどを話したり, 絵に描いたりする。		生活一コミ(表) 生活一身体(技) 国語一話す	・校外に出る際の緊急体制の確保をする。 ・安全を確保できるようなグループ編成や指導体制の確保をする。 ・窓ふきは内側のみ行う。		
関連する指導の形態: 国語, 算数, 図画工作, 特別活動					

(Ⅲ課程 3～5年)

単元名	もうすぐ〇年生	時期	3月	時数	18～20
目標	○ 進級するにあたり，1年間の出来事や思い出を振り返ることができる。 ○ 学年末の準備をしたり，行事に参加することができる。 ○ 卒業生を祝う気持ちをもち感謝の気持ちを伝えることができる。				
学習内容		チェックリストとの関連		指導上の留意点	
1 もうすぐ進級することを知る。 (1) カレンダーにて，修了式まであと何日あるのか確かめる。 (2) 今の学年と進級したときの学年について知る。 2 一年間の思い出を振り返る。 (1) 写真やビデオで1年間を振り返る。 (2) アルバムの整理をする。 (3) おわかれ遠足の準備をする(おやつを買いに行く)。 (4) お別れ会の準備をする。 (5) お別れ会をする(レクリエーション，調理など)。 3 一年間の記念を残す。 (1) 一年間の写真や作品をまとめる。 (2) お楽しみ会の準備をする。 (3) お楽しみ会をする(レクリエーション，調理など)。 4 進級の準備をする。 (1) カレンダー作りをする。 (2) 大そうじをする。		生活一コミ(受) (表) 算数一測定 生活一コミ(受) 生活一身体(3) 算数一実務 生活一身体(3) 生活一集団 生活一身体(2) (3)		・はさみ等の道具を使う際の安全面の配慮をする。 ・安全を確保できるようなグループ編成や指導体制の確保をする。 ・校外に出る際の緊急体制の確保をする。 ・衛生面・安全面に配慮した調理を行う。	
関連する指導の形態：国語，算数，図画工作，特別活動					

(Ⅲ課程 6年)

単元名	もうすぐ卒業	期間	2月中旬～3月	時数	40
目標	○ 進級するにあたり，1年間の出来事や思い出を振り返ることができる。 ○ 学年末の準備をしたり，行事に参加することができる。 ○ これまでの自分の成長を振り返り，今までお世話になった人に感謝の気持ちを伝えることができる。				
学習内容		チェックリストとの関連		指導上の留意点	
1 もうすぐ卒業することを知る。 (1) カレンダーにて，卒業式まであと何日あるのか確かめる。 (2) 今の学年・学部と，卒業した次の学部・学年について知る(中学部の学習の様子をビデオで見る)。 (3) 卒業式のビデオを見たり，卒業式の練習に参加したりする。 2 一年間の思い出を振り返る。 (1) 写真やビデオで1年間を振り返る。 (2) アルバムの整理をする。 (3) おわかれ遠足の準備をする(おやつを買いに行く)。 (4) お別れ会の準備をする。 (5) お別れ会をする(レクリエーション，調理など)。 3 六年間の記念を残す。 (1) 卒業制作をする。 (2) お楽しみ会の準備をする。 (3) お楽しみ会をする(レクリエーション，調理など)。 4 進学準備をする。 (1) カレンダー作りをする。 (2) 大そうじをする。		算数一測定 生活一コミ(受) (表) 生活一コミ(受) 生活一身体(3) 生活一コミ(受) 生活一身体(3) 算数一実務 生活一身体(3) 生活一集団 生活一身体(2) (3)		・防寒対策，体調管理に努める。 ・窓ふきは内側のみを行う。 ・安全を確保できるようなグループ編成や指導体制の確保をする。 ・校外に出る際の緊急体制の確保をする。 ・衛生面・安全面に配慮した調理を行う。	
関連する指導の形態：国語，図画工作，特別活動，算数					

【 IV課程 1～6年 】

単元名	新しい学年	期間	4月	時数	8
目標	○新しい学級や学年の先生や友達を知ることができる。 ○1年間の行事を知ることができる。 ○意欲をもってすごすことができるように学級・個人目標を立てることができる。 ○協力して過ごすことができるように係活動を決めすることができる。 ○行事の準備をしたり、参加したりすることで進級の喜びを味わうことができる。				
学 習 内 容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 新しい学年の友達や教師，生活について知る。 (1) 自己紹介をする。 (2) 友達や教師と遊ぶ。 (3) 時間割表やプロフィール表等を作る。 (4) 歩いたり乗り物に乗ったりして学校巡りをする。 (5) 新しい友達を迎える会に参加する。 2 一日遠足について知る。 3 事前学習 (1) 写真や絵を用いて遠足についてのイメージを持ち，遠足ごっこをする。 (2) 遠足の準備をする。(おやつを買いに行く) 4 事後学習 (1) 遠足の思い出を絵や作品でまとめる。		生活－コミ(受) (表) 国語－話す 生活－集団 生活－身体(移) (技) 生活－集団 算数－実務 生活－身体(技)	・はさみ等の道具を使う際の安全面の配慮をする。 ・安全を確保できるようなグループ編成や指導体制の確保をする。 ・校外に出る際の緊急体制の確保をする。		
関連する指導の形態：日常生活の指導，自立活動，遊びの指導，特別活動					

単元名	みんなで遊ぼう①	期間	5月	時数	5.5
目標	○ 日程や活動内容を知り，準備することができる。 ○ いろいろな遊びを通してみんなと仲良く遊ぶことができる。 ○ 遊んだものを片付けることができる。 ○ 遊んだことを振り返り遊びを工夫することができる。				
学 習 内 容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 みんなで遊ぼう。 (1) 遊具や道具で遊ぶ。 (2) 校内や校外探検をする。 (3) わくわくランドで遊ぶ。 (新聞プール，ボールプール等)		生活－身体(移) 生活－身体(技)	・車いすの取扱に注意する。 ・乗り物等の安全確認をする。 ・遊具の正しい使い方を知らせる。		
関連する指導の形態：自立活動，遊びの指導					

単元名	働く人を見に行こう		期間	5月下旬	時数	6.5
目標	○様々な職業があることを知ることができる。 ○働くことの意義や大切さを知ることができる。 ○校内体験や職場見学をすることができる。 ○学校生活で頑張ることを考えることができる。 ○交通ルールや食事や見学のマナーを知ることができる。 (○作業学習などの様子を見学して、働くための学習について知ることができる) (○事業所や福祉施設の必要な情報を調べることができる。) * () 内は中・高等部の目標					
学 習 内 容			チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 事前学習 (1) 昨年度の社会見学のVTRを見る。 (2) 写真やビデオを見て、見学場所について知る。 (3) 見学地について、友達と話をしたり、教師から教えてもらったりする。 (4) 交通手段や持っていくものについて知る。 (5) 見学場所や食事の場所での約束事について知る。 (6) 友達や教師と一緒に昼食のメニューを選ぶ。 (7) 友達や教師と一緒に買物の計画を立てる。 (8) 友達と役割を交代しながら買物ごっこやレストランごっこをする。 2 働く人を見に行く (1) 交通ルールや集団行動についての約束事等を守って活動する。 (2) 食事の注文、支払、買い物等、計画を立てたり練習をしたりしたことを実践する。 3 事後学習 (1) 見学当日のビデオや写真を見て、学習を振り返る。 (2) 楽しかったことやがんばったことを話したり絵に描いたりする。			生活一コミ(受) 生活一コミ(受) (表) 国語一話す 生活一集団 生活一集団 生活一身体(移) 生活一コミ(受) 生活一コミ(表) 国語一話す 生活一身体(技)	・見学地等の安全確保をする(危険箇所等の周知徹底)。 ・安全を確保できるグループ編する(教師2人以上の配置)。 ・交通ルールについての指導を徹底する(信号や横断歩道など)。 ・集団行動についての事前指導をする(一人で行動しないなど)。 ・児童の定期的な人数確認や安全確認をする。 ・緊急連絡体制の確認をする。		
関連する指導の形態：自立活動						

単元名	夏の遊びをしよう		期間	6～7月	時数	24
目標	○ 夏について知ることができる。 ○ 夏の行事・遊び・食べ物・活動について体験することができる。 ○ いろいろな遊びを通してみんなと仲良く遊ぶことができる。					
学 習 内 容			チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 事前学習 (1) 写真や絵、具体物、VTR等を用いて、夏の行事や食べ物、動植物、遊びなどを知る。 2 夏の遊びをする。 (1) かえるやかたつむり、あじさい等の工作 ・プールや海で、浮き輪やボートに乗って遊ぶ。 ・砂や泥んこ遊び ・泡プール遊び ・シャボン玉遊び ・スライム遊び ・かき氷作り ・七夕飾り作り ・夏祭り(七夕祭り)など。 3 事後学習 (1) 夏の遊びについて写真や作品等を用いて振り返り楽しかったこと、がんばったことなどを話したり、絵に描いたりする。			生活一コミ(受) 生活一身体(技) (移)	・学習用具の取扱に注意する。 ・屋外での活動では熱射病等体調管理に気を付ける。 ・泡やシャボン液、スライム等の誤飲等に気を付ける。 ・水泳学習時の安全体制を徹底する。(水泳学習マニュアル参照) ・調理時の衛生面の配慮をする。		
関連する指導の形態：遊びの指導，自立活動						

単元名	秋を感じよう		期間	11月	時数	16
目標	○ 秋について知ることができる。 ○ 秋の行事・遊び・食べ物活動について体験することができる。 ○ 友達や教師とかかわりながら冬のあそびを楽しむことができる。					
学習内容			チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 事前学習 (1) 写真や絵, 具体物, VTR等を用いて, 秋の行事や食べ物, 動植物, 遊びなどを知る。 2 秋を探す。 (1) 校内を散歩して動植物などの変化を見る。 (2) 見付けた秋の材料で作品を作る。 ・松ぼっくり ・どんぐりごま ・やじろべえ ・いも版 など (3) 秋の味覚を味わう。 ・りんご ・ぶどう ・梨 ・栗 ・さつまいも ・柿 など 3 事後学習 (1) 秋の遊びについて写真や作品等を用いて振り返り, 楽しかったこと, がんばったことなどを話したり, 絵に描いたりする。			生活一集団 生活一身体(移)(技) 生活一コミ(表) 生活一身体(移)(技)	・屋外での活動では水分補給, 暑さ対策, 体調管理に努める。 ・学習用具の取扱に注意する。 ・調理を行う場合は調理器具や食器等の衛生管理に留意する。		
関連する指導の形態: 遊びの指導, 自立活動						

単元名	もうすぐ冬休み		期間	12月	時数	16
目標	○ 冬について知ることができる。 ○ 冬の行事・遊び・食べ物活動について体験することができる。					
学習内容			チェックリストとの関連	指導上の留意点		
1 年のくれについて知る。 2 年末の雰囲気味わう。 (1) クリスマス会をする。 ・準備をする。 ・クリスマス会をする。 (2) 年賀状を出す。 ・年賀状を買いに行く。 ・年賀状を製作する。 ・年賀状をポストに入れる。 (3) 大そうじをする。 ・教室などを大そうじする。 3 学習を振り返る。 (1) ビデオや写真を見る。 (2) 楽しかったことなどを話したり, 絵に描いたりする。			生活一身体(技) 生活一コミ(表) 国語一話す	・学習用具の取扱に注意する。 ・校外学習時の安全体制を徹底する。 ・校外学習緊急時対応マニュアルを参照する。 ・車いすの取扱に注意する。		
関連する指導の形態: 音楽, 自立活動, 特別活動						

単元名	学習発表会をがんばろう	時期	1月～2月1週	時数	12
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習発表会について知ることができる。 ○ 学習発表会の係や役割を決めることができる。 ○ 発表に必要な道具や作品展示の準備をすることができる。 ○ 舞台発表を見たり、作品を鑑賞することができる。 ○ 学習発表会について写真やビデオを見て振り返ることができる。 				
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
<p>1 学習発表会について知る。</p> <p>(1) 昨年度の発表会のビデオを見る。</p> <p>(2) 今年の発表内容を知る。</p> <p>2 準備する。</p> <p>(1) 発表に必要な道具を作る。</p> <p>(2) 作品展示の準備をする。</p> <p>3 舞台発表の練習をする。</p> <p>※ 予行に参加する。</p> <p>※ 学習発表会に参加する。(学校行事3時間)</p> <p>4 自分や友達の作品展示の鑑賞をする。</p> <p>5 学習発表会を振り返る。</p> <p>(1) 発表会のビデオを見る。</p> <p>(2) 楽しかったことやがんばったことを話したり絵に描いたりする。</p>		<p>生活－身体(技)</p> <p>生活－コミ(表)</p> <p>国語－話す</p> <p>生活－コミ(受)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用具の取扱に注意する。 ・車いすの取扱に注意する。 ・舞台使用時の安全確保を徹底する。 		
関連する指導の形態：音楽，自立活動					

単元名	冬の遊びをしよう	時期	1月～2月	時数	16
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬について知ることができる。 ○ 冬の行事・遊び・食べ物活動について体験することができる。 ○ 友達や教師とかかわりながら冬のあそびを楽しむことができる。 				
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点		
<p>1 冬の遊びを見る。</p> <p>(1) 冬の遊びの紹介(ビデオ・実物・手本)を見る。</p> <p>(2) いろいろな冬の遊びを体験する。</p> <p>・すごろく ・かるた ・ふくわらい</p> <p>・おしくらまんじゅう ・豆まき</p> <p>・鬼のダンス ・色鬼 ・二人鬼 など</p> <p>2 冬の遊びをする。</p> <p>(1) 冬の遊びの中で、どれをしたいか選ぶ。</p> <p>(2) 選んだ冬の遊びをする。</p> <p>3 冬の遊びを振り返る。</p> <p>(1) ビデオや写真を見る。</p> <p>(2) また遊んでみたい冬の遊びを選ぶ。</p>		<p>生活－集団</p> <p>生活－身体(移)</p> <p>(技)</p> <p>生活－コミ(表)</p> <p>生活－身体(移)</p> <p>(技)</p> <p>生活－コミ(表)</p> <p>国語－話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外での学習は防寒対策，体調管理に努める。 		
関連する指導の形態：遊びの指導，自立活動					

(IV課程 1～5年)

単元名	もうすぐ〇年生	期	3月	時	8
目標	○ 進級するにあたり，1年間の出来事や思い出を振り返ることができる。 ○ 学年末の準備をしたり，行事に参加することができる。 ○ 卒業生を祝う気持ちをもち感謝の気持ちを伝えることができる。				
学習内容		チェックリストとの関連		指導上の留意点	
1 もうすぐ進級することを知る。 (1) カレンダーにて，修了式まであと何日あるのか確かめる。 (2) 今の学年と，進級した時の学年について知る。 2 一年間の思い出を振り返る。 (1) 写真やビデオで1年間を振り返る。 (2) アルバムの整理をする。 (3) おわかれ遠足の準備をする(おやつを買いに行く)。 (4) お別れ会の準備をする。 (5) お別れ会をする(レクリエーション，調理など)。 3 一年間の記念を残す。 (1) 作品の整理をする。 (2) お楽しみ会の準備をする。 (3) お楽しみ会をする(レクリエーション，調理など)。 4 進級の準備をする。 (1) カレンダー作りをする。 (2) 大そうじをする。		生活－コミ(受) (表) 算数－測定 生活－コミ(受) 生活－身体(技) 算数－実務 生活－身体(技) 生活－集団 生活－身体(移) (技)		・防寒対策，体調管理に努める。 ・窓ふきは内側のみを行う。 ・安全を確保できるようなグループ編成や指導体制の確保をする。 ・校外に出る際の緊急体制の確保をする。 ・衛生面・安全面に配慮した調理を行う。	
関連する指導の形態：特別活動					

(IV課程 6年)

単元名	もうすぐ卒業	期	2月中旬～3	時	16
目標	○ 進級するにあたり，1年間の出来事や思い出を振り返ることができる。 ○ 学年末の準備をしたり，行事に参加することができる。 ○ これまでの自分の成長を振り返り，今までお世話になった人に感謝の気持ちを伝えることができる。				
学習内容		チェックリストとの関連		指導上の留意点	
1 もうすぐ卒業することを知る。 (1) カレンダーにて，卒業式まであと何日あるのか確かめる。 (2) 今の学年・学部と，卒業した次の学部・学年について知る(中学部の学習の様子をビデオで見る)。 (3) 卒業式のビデオを見たり，卒業式の練習に参加したりする。 2 一年間の思い出を振り返る。 (1) 写真やビデオで1年間を振り返る。 (2) アルバムの整理をする。 (3) おわかれ遠足の準備をする(おやつを買いに行く)。 (4) お別れ会の準備をする。 (5) お別れ会をする(レクリエーション，調理など)。 3 一年間の記念を残す。 (1) 卒業制作をする。 (2) お楽しみ会の準備をする。 (2) お楽しみ会をする(レクリエーション，調理など)。 4 進学の準備をする。 (1) カレンダー作りをする。 (2) 大そうじをする。		算数－測定 生活－コミ(受) (表) 生活－コミ(受) 生活－身体(移) 生活－コミ(受) 生活－身体(技) 算数－実務 生活－身体(技) 生活－集団 生活－身体(移) (技)		・防寒対策，体調管理に努める。 ・窓ふきは内側のみを行う。 ・安全を確保できるようなグループ編成や指導体制の確保をする。 ・校外に出る際の緊急体制の確保をする。 ・衛生面・安全面に配慮した調理を行う。	
関連する指導の形態：国語，図画工作，特別活動					

【 共通単元 】

単元名	A L Tと遊ぼう		期間	年2回
目標	○交流に向けて、日程や活動内容を知り、準備をすることができる。 ○いろいろな遊びを通してみんなと仲良く遊ぶことができる。			
	学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点	
1	A L Tと触れ合う。 (1) 自己紹介をする。 (2) A L Tへ質問する。 (3) ゲームをする。 「シャークアタック」、「ロンドン橋」、「動物ジェスチャー」、「フルーツバスケット」等 (4) 英語の歌を聞いたり、歌ったりする。 「Head, Shoulder, Knees, Toes」、「seven steps」 「We wish a merry xmas」等 (5) 言えるようになった英語を発表する。 (6) 記念写真を撮る。	生活－コミ(表) 生活－集団	・歌を歌ったりゲームをしたりする中で、接触や転倒に注意する。	
関連する指導の形態：音楽，国語，自立活動				

単元名	交流会をしよう		期間	4～3月
目標	○交流に向けて、日程や活動内容を知り、準備をすることができる。 ○いろいろな遊びを通してみんなと仲良く遊ぶことができる。			
	学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点	
1	自己紹介カードを作る。	生活－身体(技)	・安全を確保できるようなグループ編成や指導体制の確保をする。 ・車いすの取扱に注意する。 ・学習用具の取扱に注意する。	
2	相手の自己紹介カードを見て、一緒に活動する友達を知る。			
3	交流会をする。 (1) はじめの式 ・はじめのことば ・児童代表のあいさつ ・校長先生の話 ・ペア探し、自己紹介 (2) レクリエーション ・歌遊び校内 ・スタンプラリー ・固定施設や遊具遊び など (3) 終わりの式 ・感想発表 ・児童代表あいさつ ・先生の話 ・終わりのあいさつ	生活－集団		
4	交流会を振り返る。 (1) 当日のビデオや写真を見る。 (2) 楽しかったことなどを話したり、お礼の手紙を書いたりする。	生活－コミ(表) 国語－話す		
関連する指導の形態：特別活動，音楽，遊びの指導				

単元名	仲良しタイム（1～3年生）	期間	6月・11月 ・2月	時数	各1時間
目標	○ 日程や活動内容を知り、準備することができる。 ○ いろいろな遊びを通してみんなと仲良く遊ぶことができる。				
学習内容		チェックリストとの関連		指導上の留意点	
1 仲良しタイムの準備をする (1) 活動を決める <活動例> ・歌あそび ・風船バレー ・ティーボール ・ボウリング ・七夕飾り ・相撲 ・読み聞かせ（パネルシアター） ・綱引き ・おとしあな ・いす取り ・音楽鑑賞 ・お楽しみ会 ・カラオケ ・すごろく。福笑い など (2) 活動に必要な道具を準備する。 (3) 進行を決める 2 仲良しタイムを行う。		生活ーコミ（受） 生活ーコミ（表） 生活ー身体 生活ーコミ（受） 生活ーコミ（表） 生活ー集団		・はさみ等の道具を使う際の安全面の配慮をする。 ・安全を確保できるような指導体制の確保をする。 ・車いすの取扱に注意する。	
関連する指導の形態：音楽，遊びの指導，体育，自立活動					

単元名	誕生日おめでとう	期間	4月～3月
目標	○ 日程や活動内容を知り、準備することができる。 ○ いろいろな遊びを通してみんなと仲良く遊ぶことができる。		
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点
1 誕生者について知る。 (1) 誕生者の写真を撮る。 (2) 誕生者の誕生日や好きなものや、何歳になるのか等について知る。 2 誕生会の準備をする。 (1) 誕生者へのプレゼントを準備する。 (2) 誕生会の準備をする。（飾り付け等） (3) 誕生会の係を決める。 3 誕生会をする。 <式順（例）> ・はじまりのあいさつ ・誕生者の紹介 ・誕生日の歌 ・誕生者を祝う活動（調理，発表，プレゼント贈呈等） ・誕生者からのあいさつ ・おわりのことば		生活ー身体（3） 生活ーコミ（受） 算数ー測定 生活ー身体（3） 生活ーコミ（受） 生活ーコミ（表） 生活ー集団	・はさみ等の道具を使う際の安全面の配慮をする。 ・安全を確保した上で模擬ケーキへの点火・消火を行う。 ・ライター等は必ず教師が使用・保管する。 ・衛生面・安全面に配慮した調理を行う。
関連する指導の形態：音楽，国語			

単元名	野菜や植物を育てよう	期間	4～3月	時数	35				
目標	○ 野菜や植物を育てることができる。 ○ 収穫した野菜を調理し、食べることができる。 ○ 必要な材料や道具を準備し、調理することができる。 (○栄養バランスのよい食生活について知ることができる。) * () は中高の目標								
学習内容		チェックリストとの関連		指導上の留意点					
<p>【農園】</p> <p>1 畑に植える野菜を決める。 (1) 友達の意見や教師の話聞くとして、畑に何の野菜を育てるのか決める。 (2) 収穫をした野菜で何をするのか、友達や教師の話聞くなどして決める。</p> <p>2 畑の準備をする。 (1) 土作りをする。(堆肥、鶏糞、苦土石灰) (2) 畝立てをする。</p> <p>3 種まきや苗植えをする。</p> <p>4 野菜の世話や観察をする。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">野菜の世話</th> <th style="width: 50%;">観察</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水のかけ方 ・ 土のほぐし方 ・ 肥料のあげ方 ・ ビニールのかけ方 ・ 支柱の立て方 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元気そうか見る。 ・ 実際にさわる。 ・ 葉っぱを数える。 ・ 土の様子を見る。 ・ わきめはないか。 ・ 長さをはかる。 </td> </tr> </table> <p>(1) 水かけや除草をする。 (2) 土寄せをしたり、害虫駆除をしたりする。</p> <p>5 野菜の収穫をする。 (1) 収穫に必要な物の準備をする。 (2) 収穫適期の野菜の見分け方を知る。 (3) 野菜を丁寧に抜いたり洗ったりする。</p> <p>6 野菜の世話を振り返る。 (1) 絵や文、写真で思い出に残す。</p> <p>【花園(植物)】</p> <p>1 花園に植える花を決める。 (1) 友達や教師の話聞くなどして、花園に何の花を植えるのか決める。 (2) 栽培した花をどのようにするのか、友達や教師の話聞くなどして決める。</p> <p>2 花園の準備をする。</p> <p>3 種まき(苗植え)をする。</p> <p>4 草花の世話や観察をする。 (1) 草花を鑑賞したり観察したりする。 (2) 水かけや除草をする。 ※ 野菜栽培暦や学級園・花植え替え基準表(学部農園ファイル)を参考に栽培作物を決定する。</p> <p>【収穫を振り返ろう・収穫祭をしよう】</p> <p>1 収穫した野菜を観察する。 2 収穫した野菜を調理し、食べる。 3 収穫した野菜や畑に感謝の気持ちを表す。</p>		野菜の世話	観察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水のかけ方 ・ 土のほぐし方 ・ 肥料のあげ方 ・ ビニールのかけ方 ・ 支柱の立て方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気そうか見る。 ・ 実際にさわる。 ・ 葉っぱを数える。 ・ 土の様子を見る。 ・ わきめはないか。 ・ 長さをはかる。 	<p>生活一身体(技) (移)</p> <p>生活一身体(技)</p> <p>生活一身体(技) 生活一コミ(受)</p> <p>生活一身体(技) 国語一書く</p> <p>生活一身体(移) (技)</p>		<p>・ 農具倉庫の立ち入り禁止の約束をする。 ・ 農具の正しい使い方を指導する。 ・ 服装に配慮する(害虫、防暑、防寒対策)。 ・ 衛星面・安全面に配慮した調理を行う。</p>	
野菜の世話	観察								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水のかけ方 ・ 土のほぐし方 ・ 肥料のあげ方 ・ ビニールのかけ方 ・ 支柱の立て方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気そうか見る。 ・ 実際にさわる。 ・ 葉っぱを数える。 ・ 土の様子を見る。 ・ わきめはないか。 ・ 長さをはかる。 								
		<p>【農園】(例)</p> <p>4月 トマト・きゅうり鉢植 6月 とうもろこし収穫祭 7月 さつまいも苗植 トマト・きゅうり収穫祭</p> <p>9月 かぶ種植 10月 じゃがいも収穫祭 11月 さつまいも収穫祭 12月 白菜種植 かぶ収穫祭</p> <p>1月 じゃがいも収穫祭 3月 とうもろこし種植</p> <p>※ 農園学習年間予定一覧参照</p>		<p>【花園】(例)</p> <p>4月(ポット・鉢) 百日草・ひまわり種植 5月(花園) 耕作・除草 百日草・ひまわり定植</p> <p>9月(ポット・鉢) コスモス・ペチュニア種植 10月(花園) 耕作・除草 コスモス・ペチュニア・パンジー定植 12月(ポット・鉢) カーネーション種植</p> <p>1月(ポット・鉢) チューリップ鉢植 2月(花園) カーネーション定植 3月(花園) チューリップ定植</p> <p>※ 農園学習年間予定一覧参照</p>					
<p>関連する指導の形態：国語，図画工作（3年以上）</p>									

中学部

[生活单元学习]

単元名	新しい学部（1年生）	期 間	4月
時 数	<p>計6時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生を迎える会4（事前2，当日2） ・ 一日遠足事前1 		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい学級や学年の先生や友達を知ることができる。 ○ 新入生を迎える会などの行事を準備したり，参加したりすることで進級の喜びを味わうことができる。 ○ 1年間の行事を知ることができる。 （1年間の行事を知ることによって，見通しをもつことができる。） ○ 意欲をもって過ごすことができるように，学級・個人目標を立てることができる。 ○ 友達と協力して過ごすことができるように，係活動を決めることができる。 		
	学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点
	<p>1 中学部の生活について話し合い，知る。</p> <p>（1）自己紹介をする。</p> <p>（2）友達や先生の名前を覚える。</p> <p>（3）自分の教室や持ち物を置く場所を知る。</p> <p>（4）一年間の行事や中学部の学習について知る。</p> <p>（5）校内巡りや学校周辺の散策をする。《校外学習》</p> <p>（6）一年間の目標を決める。</p> <p>（7）係や当番を決める。</p> <p>2 新入生を迎える会の準備をし，参加する。</p> <p>（1）自己紹介の内容や仕方を考え，練習や準備をする</p> <p>（2）会の準備や練習をする。</p> <p>（3）新入生を迎える会に参加する。</p> <p>3 春の一日遠足について知る。</p> <p>（1）期日や場所，持ち物を知る。</p> <p>（2）おやつのお買い物学習に出かける。《校外学習》</p> <p>（3）春の一日遠足に参加する。《学校行事 5》</p> <p>4 まとめをする。</p> <p>（1）迎える会や遠足を振り返る。</p> <p>（2）係や目標を確認する。</p>	<p>社-情-コー伝-1</p> <p>社-情-コー知-9</p> <p>社-情-協-1</p> <p>社-情-コー知-9</p> <p>社-情-協-2～6</p> <p>社-情-協-2～6</p>	<p>・新しい環境での学習のため，生徒の情緒の安定や体調面に十分に配慮する。</p> <p>・はさみ，カッターナイフ等使用する際は，必ず教師が側につき，安全な扱い方について指導する。</p> <p>・教室や会場の設営や片付けでは，道具の移動や高所での活動等けががけないように注意する。</p> <p>・別途実施計画の安全面への配慮事項参照</p>
<p>関連する指導の形態：特別活動（学級活動），国語，数学</p>			

単元名	新しい学級・学年（2・3年生）	期 間	4月
時 数	<p>計6時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生を迎える会4（事前2，当日2） ・ 一日遠足事前1 		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい学級や学年の先生や友達を知ることができる。 ○ 新入生を迎える会などの行事を準備したり，参加したりすることで進級の喜びを味わうことができる。 ○ 1年間の行事を知ることができる。 （1年間の行事を知ることによって，見通しをもつことができる。） ○ 意欲をもって過ごすことができるように，学級・個人目標を立てることができる。 ○ 友達と協力して過ごすことができるように，係活動を決めることができる。 		
	学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点
	<p>1 中学部の生活について話し合い，知る。</p> <p>（1）自己紹介をする。</p> <p>（2）友達や先生の名前を覚える。</p> <p>（3）自分の教室や持ち物を置く場所を知る。</p> <p>（4）一年間の行事や中学部の学習について知る。</p> <p>（5）校内巡りや学校周辺の散策をする。《校外学習》</p> <p>（6）一年間の目標を決める。</p> <p>（7）係や当番を決める。</p> <p>2 新入生を迎える会の準備をし，参加する。</p> <p>（1）自己紹介の内容や仕方を考え，練習や準備をする</p> <p>（2）会の準備や練習をする。</p> <p>（3）新入生を迎える会に参加する。</p> <p>3 春の一日遠足について知る。</p> <p>（1）期日や場所，持ち物を知る。</p> <p>（2）おやつのお買い物学習に出かける。《校外学習》</p> <p>（3）春の一日遠足に参加する。 学校行事 5</p> <p>4 まとめをする。</p> <p>（1）迎える会や遠足を振り返る。</p> <p>（2）係や目標を確認する。</p>	<p>社-情-コー-伝-1</p> <p>社-情-コー-知-9</p> <p>社-情-協-1</p> <p>社-情-コー-知-9</p> <p>社-情-協-2~6</p> <p>社-情-協-2~6</p> <p>社-知-買-1</p>	<p>・新しい環境での学習のため，生徒の情緒の安定や体調面に十分に配慮する。</p> <p>・はさみ，カッターナイブ等使用する際は，必ず教師が側につき，安全な扱い方について指導する。</p> <p>・教室や会場の設営や片付けでは，道具の移動や場所での活動等，けががないように注意する。</p> <p>・別途実施計画の安全面への配慮事項参照</p>
関連する指導の形態：特別活動（学級活動），国語，数学			

単元名	宿泊学習（1・2年生）【隔年実施】	期 間	4～5月
時 数	計15時間（他教科等6時間を含む） ・ 宿泊学習（事前12，当日 学校行事12 ，事後3）		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊学習について知ることができる。 ○ 公共施設の利用方法を知ることができる。 ○ 買い物の計画を立てることができる。 ○ 係を決めて，責任をもって取り組むことができる。 ○ 行先・お土産などについて調べることができる。 ○ 自分のことは自分ですることができる。→検討事項 ○ 宿泊学習についての振り返りを行うことができる。 		
	学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点
	<p>1 宿泊学習について知る。</p> <p>（1）前回の宿泊学習の様子を知る。（VTR視聴など）</p> <p>（2）期日や場所を知る。</p> <p>2 宿泊学習の準備や練習をする。</p> <p>（1）計画を立てる。</p> <p style="padding-left: 20px;">活動内容，当日までの学習計画，日程表作り，班編成，係活動など</p> <p>（2）公共の浴場を利用するなどして，入浴の練習をする。《校外学習》</p> <p>（3）調理の練習をする。</p> <p>（4）寝具の扱い方を練習する。</p> <p>（5）持ち物を点検する。</p> <p>（6）しおりを作る。</p> <p>* 宿泊学習に参加する。学校行事 12</p> <p>3 宿泊学習の反省をする。</p> <p>（1）写真やVTRを視聴する。</p> <p>（2）思い出や頑張ったことを発表する。</p> <p>（3）絵や文で表現する。</p>	<p>社-情-コー伝-1</p> <p>社-情-コー知-9</p> <p>社-情-協-1</p> <p>社-情-コー伝-1</p> <p>社-情-コー知-9</p> <p>社-情-協-1</p> <p>社-知-公-1～4</p> <p>家-食-19～48</p> <p>家-住-ふ-70, 73</p>	<p>・はさみ，カッターナイフ等使用する際は，教師が側につき安全な扱い方について指導する。</p> <p>・教師が側につき，調理器具（包丁，コンロ等）の安全な取扱い方を指導する。</p> <p>・食材や器具の清潔，身支度など衛生管理の指導を行う。</p> <p>・別途実施計画の安全面への配慮事項参照</p>
関連する指導の形態：日常生活の指導，国語，数学，保健体育			

<p>単元名</p>	<p>修学旅行【隔年実施】 <平成28年度は実施なし></p>	<p>期 間</p>	<p>4～5月</p>
<p>時 数</p>	<p>計15時間（他教科等6時間を含む） ・ 修学旅行(事前12, 当日学校行事18, 事後3)</p>		
<p>目 標</p>	<p>○ 修学旅行について知ることができる。 ○ 公共施設の利用方法を知ることができる。 ○ 買い物の計画を立てることができる。 ○ 係を決めて、責任をもって取り組むことができる。 ○ 行先・お土産などについて調べることができる。 ○ 自分のことは自分ですることができる。→検討事項 ○ 修学旅行についての振り返りを行うことができる。</p>		
<p>学 習 内 容</p>	<p>チェックリスト との関連</p>	<p>指導上の 留意点</p>	
<p>1 修学旅行について話し合う。 (1) 過去の修学旅行の様子を知る。(VTR視聴など) (2) 期日, 日程, グループ編成, 活動内容を知る。 2 修学旅行の準備や練習をする。 (1) 計画を立てる。 (2) 活動内容, 当日までの学習計画, 日程表作り, 班編成, 係活動など (3) 自由活動を選んだり, 買い物の計画を立てたり, 校外で買い物の練習をしたりする。 《校外学習：レッツゴー奄美デー》 3 旅行中のマナーについて調べる。 (1) 利用の仕方, 利用する際のマナー (2) 見学先, 交通機関, 宿泊先などで気をつけること を話し合う。 5 旅行前の確認をする。 (1) 生活面や健康安全面について知る。 (2) 持ち物の点検をする。 (3) しおりを使って確認をする。 * 修学旅行に参加する。学校行事 18 《自主学習日：レッツゴー鹿児島デー》 6 修学旅行の反省をする。 (1) 写真やVTRを視聴する。 (2) 思い出や頑張ったことを発表する。 (3) 絵や文で表現する。</p>	<p>社-情-コー伝-1 社-情-コー知-9 社-情-協-1 社-知-公-1~4 社-知-買-1 社-知-買-1 《校外学習：レッツゴー奄美デー》 社-情-協-2~6 社-知-公-1~4 社-情-コー伝-1 社-情-コー知-9 社-情-協-1</p>	<p>・校外での安全 な活動の仕方につ いて職員間で 話し合い, 安全 面を重点的に指 導する。 また, 各生徒の 支援に当たる担 当職員を明確に しておく。 ・別途実施計画 の安全面への配 慮事項参照</p>	
<p>関連する指導の形態：日常生活の指導, 国語, 数学, 保健体育</p>			

単元名	お楽しみ会をしよう (体験学習)	期 間	4～5月
時 数	計9時間 ・ お楽しみ会をしよう(事前5, 当日4)		
目 標	○ 交流に向けて, 日程や活動内容を知り, 準備することができる。(準備) ○ いろいろな遊びを通して, みんなと仲良く遊ぶことができる。(学校) ○ 地域の同年代の児童や生徒などいろいろな人と関わることができる。		
学 習 内 容		チェックリスト との関連	指導上の 留意点
1 お楽しみ会について話し合う。 (1) 期日や場所を知る。 (2) お楽しみ会の内容について話し合う。 2 お楽しみ会の準備や練習をする。 (1) 計画を立てる。 お楽しみ会を実行するために必要な準備について話し合う。(必要な経費, 目的地に行くための交通手段, 日程表, 会順表, 材料など) (2) 利用・活動場所の利用の仕方や活動内容について練習する。 (買い物, カラオケ, 外食, 調理など) (3) 利用・活動する場所や交通機関でのマナーについて学習する。 * お楽しみ会を実施する。《校外学習》		社-情-コー伝-1 社-情-コー知-9 社-情-協-1 社-情-コー伝-1 社-情-コー知-9 社-情-協-1	・校外での安全な活動の仕方について職員間で話し合い, 安全面を重点的に指導する。 また, 各生徒の支援に当たる担当職員を明確にしておく。 ・別途実施計画及び安全面への配慮事項の作成
3 お楽しみ会の振り返りをする。 (1) 写真やVTRを視聴する。 (2) 思い出や頑張ったことを発表する。 (3) 絵や文で表現する。		社-知-公-1～4 家-食-19～48 家-住-ふ-70, 73	
関連する指導の形態：日常生活の指導, 国語, 数学			

単元名	〇〇中学校との交流（交流及び共同学習）	期 間	年2回（6～7月）
時 数	計12時間 ・ 第1回（事前2，当日3，事後1） ・ 第2回（事前2，当日3，事後1）		
目 標	○ 交流に向けて，日程や活動内容を知り，準備することができる。（準備） ○ いろいろな遊びを通して，みんなと仲良く遊ぶことができる。（学校） ○ 地域の同年代の児童や生徒などいろいろな人と関わることができる。		
学 習 内 容		チェックリスト との関連	指導上の 留意点
（詳細は，別紙実施計画参照） 1 相手先の概要について知る。（中学校） 2 当日の日程や活動内容を知る。 3 準備や練習をする。 （例）名札作り，歌やレクリエーションの練習， 自己紹介の練習 4 交流及び共同学習をする。 《校外学習》 5 交流活動を振り返り，まとめをしたり，お礼状を書いたりする。		社-情-コ-伝-1 社-情-コ-知-9 社-情-協-1 社-情-協-2～6社-情- コ-伝-1 社-情-コ-知-9 社-情-協-1	・ 事前に相手先を訪問し，施設面や危険な箇所を調べておく。 ・ 教師が担当する生徒を明確にしておく。
関連する指導の形態：音楽，特別活動			

単元名	夏の暮らし	期 間	7月
時 数	計5時間		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四季があることを知ることができる。 ○ 季節の行事・遊び・食べ物・活動について体験することができる。 ○ 学期の目標を立てることができる。 ○ 学期の反省をすることができる。 ○ 長期休みの目標を立てることができる。 ○ 長期休みの反省をすることができる。 		
	学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点
	<p>1 夏の季節の特徴を知る。</p> <p>(1) 天候を調べる。(温度, 台風, 衣服の工夫)</p> <p>(2) 自然の特徴を知る。(植物, 昆虫)</p> <p>(3) 学校周辺の散策や自然観察をする。《校外学習》</p> <p>2 夏の暮らしの工夫を知る。(衣, 食, 住)</p> <p>(1) 夏の遊びをする。(水遊び, 砂遊びなど)</p> <p>(2) 夏の食べ物を知ったり, 作って食べたりする。</p> <p>(3) 季節の行事や慣習について知る。</p> <p>(七夕, 夏祭り, 花火大会, 暑中見舞いなど)</p> <p>(4) 暑中見舞いをポストに投函する。《校外学習》</p> <p>(5) 健康管理について知る。(熱中症, 汗の始末)</p> <p>3 1学期の反省やまとめをする。</p> <p>(1) 持ち物の整理や教室の掃除をする。</p> <p>(2) 作品やアルバムを整理する。</p> <p>(3) 1学期の生活や学習の反省をする。</p> <p>(4) 夏休みの生活について話し合う。</p> <p>(生活のしおり, 課題帳, 健康安全, 手伝いなど)</p> <p>(5) 学級や学年で合同学習を計画する。</p> <p>買い物学習《校外学習》, 調理実習, お楽しみ会等</p> <p>4 まとめをする。</p>	<p>社-情・行-5</p> <p>社-情-コー伝-1</p> <p>社-情-コー知-9</p> <p>社-情-協-1</p> <p>社-身-健-9</p> <p>職-働-1, 3</p> <p>職-作習-7~10</p> <p>職-理-28~32</p> <p>社-情-協-2~6</p> <p>職-作習-7~10</p> <p>職-理-28~32</p> <p>社-知-買-1</p>	<p>・教師が側につき, 調理器具(包丁, コンロ等)の安全な取り扱い方を指導する。</p> <p>・食材や器具の清潔, 身支度など衛生管理の指導を行う。</p> <p>・授業時(前, 中, 後)の健康観察を行い, 随時水分補給や休憩を取り入れる。</p> <p>・別途実施計画の安全面への配慮事項参照。</p>
関連する指導の形態: 日常生活の指導, 保健体育, 特別活動(学級活動), 国語, 数学			

単元名	運動会		期 間	9～10月
時 数	<p>計7時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会準備(学級での取組) 2 ・ 係活動 3 ・ 会場設営 2 ・ 予行 保健体育3 ・ 当日 学校行事5 			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動会について知ることができる。 ○ 運動会の係や役割を決めることができる。 ○ 運動会に必要な道具などの準備をすることができる。 ○ 運動会の振り返りをすることができる。 			
学 習 内 容		チェックリスト との関連	指導上の 留意点	
<p>1 運動会について話し合う。</p> <p>(1) 去年の様子をVTRを見ながら思い出す。</p> <p>(2) 期日や種目, 練習計画を知る。</p> <p>(3) 係活動について知り, 係の希望を提出する。</p> <p>2 運動会の準備をする。</p> <p>(1) 係に分かれて運動会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム係, 応援団, 放送係など <p>(2) ポスターの製作をする。</p> <p>(3) 会場づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テントを立て, 設営する。 <p>* 全校美化活動に参加する。 学校行事 1</p> <p>(4) 種目の道具作りをする。</p> <p>3 運動会予行に参加する。</p> <p>* 運動会に参加する。 学校行事 5</p> <p>4 運動会の反省をする。</p> <p>(1) 運動会の後始末をする。</p> <p>(2) VTRを視聴する。</p> <p>(3) 運動会の様子を絵や作文に書く</p>		<p>社-情-コー伝-1</p> <p>社-情-コー知-9</p> <p>社-情-協-1</p> <p>職-働-1, 3</p> <p>職-作習-7~10</p> <p>職-理-28~32</p> <p>社-情-協-2~6</p> <p>社-情-コー伝-1</p> <p>社-情-コー知-9</p> <p>社-情-協-1</p>	<p>・授業時(前, 中, 後)の健康観察を行い随時水分補給や休憩を取り入れる。</p> <p>・はさみ, カッターナイフ等使用する際は, 必ず教師が測につき, 安全な扱い方について指導する。</p> <p>・テントや種目の用具など, 使用する道具の設置や保管場所, 安全な使用の仕方の指導を徹底する。</p> <p>・別途実施計画の安全面への配慮事項参照</p>	
関連する指導の形態：保健体育, 国語, 美術				

<p>単元名</p>	<p>働く生活Ⅱ（校内実習をしよう） （職場体験をしよう（3年のみ））</p>	<p>期 間</p>	<p>10～11月</p>
<p>時 数</p>	<p>計 9 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内実習(事前6, 当日作業学習24, 事後3) <hr/> <p>< 3年生のみ：職場体験 ></p> <p>計 13 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場体験(事前4, 当日作業学習12, 事後3) 通勤練習 6 		
<p>目 標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な職業があることを知ることができる。 ○ 働くことの意義や大切さを知ることができる。 ○ 事業所や福祉施設の必要な情報を調べることができる。 ○ 交通ルール, 見学や食事のマナーを知ることができる。 ○ 校内探検や職場見学をすることができる。 ○ 学校生活で頑張ることを考えることができる。 ○ 作業学習等の様子を見学することで, 働くための学習について知ることができる。(小) 		
<p>学 習 内 容</p>		<p>チェックリスト との関連</p>	<p>指導上の 留意点</p>
<p>1 校内実習, 職場体験について知る。</p> <p>(1) 校内実習について知る。 作業内容, 1日の流れ等について知る。</p> <p>(2) 職場体験先について知る。(職場体験対象者) 目的, 職種, 具体的な作業活動内容, 1日の流れ ※通勤練習を行う。 (バスの乗り方, 利用のマナー等)</p> <p>(3) 目標を立てる。</p> <p>(4) 実習がんばろう会に参加する。</p> <p>(5) 職場体験先と目標について発表する。 (職場体験対象者)</p> <p>(6) 校内実習, 職場体験に参加する。 (本時は作業学習カウント) (詳細は, 別紙実施計画, 学習計画参照)</p> <p>(7) 校内実習, 職場体験を振り返る。</p> <p>(8) 目標の反省をする。 がんばったこと, 来年度に向けての頑張りたいことを考える。</p> <p>(9) 実習反省会に参加する。</p> <p>2 まとめをする。</p> <p>(1) 写真やVTRを視聴する。</p> <p>(2) 感想を発表する。</p> <p>(3) まとめの掲示物を作る。</p> <p>(4) 職場体験先の様子や評価の発表をする。 (職場体験対象者)</p>		<p>社-知-公-1～9 社-情-コ-3, 7 ～9, 12 社-情-協-2～6 職-働-1～6</p>	<p>・実習においての安全対策については, 別紙実施計画「実習の運営方針」「指導に当たって」参照</p>
<p>関連する指導の形態：作業学習</p>			

単元名	校外学習～みんなで買い物や食事に挑戦しよう～	期間	11～12月
時数	計13時間（他教科等4時間を含む） ・ 校外学習(事前7, 当日4, 事後3)		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校外学習について知ることができる。 ○ マナーを守って公共の施設や公共交通機関を利用することができる。 ○ 買い物や外食をとおして、金銭のやりとりをすることができる。 ○ 集団行動をすることができる。 ○ 校外学習についての振り返りをすることができる。 		
学 習 内 容		チェックリスト との関連	指導上の 留意点
<p>(詳細は、別紙実施計画、学習計画参照)</p> <p>1 校外学習について知る。(期日, 見学先, 日程など)</p> <p>2 見学先や地域について調べる。</p> <p>3 しおりを作る。</p> <p>(1) 交通手段を確認する。時刻表を調べる。</p> <p>(2) 食事や買い物の計画を立てる。</p> <p>4 校外学習に行く。</p> <p>(1) 年賀状を購入する。(ポストに投函する)</p> <p>5 校外学習を振り返る。(VTR視聴, 感想文, 感想画)</p> <p>(1) 使ったお金を計算する。</p> <p>(2) 調べたことをまとめる。</p>		<p>社-情-コ-伝-1</p> <p>社-情-コ-知-9</p> <p>社-情-協-1</p> <p>社-地-公-1～4</p> <p>社-地-買-1 社</p> <p>-情-コ-伝-1</p> <p>社-情-コ-知-9</p> <p>社-情-協-1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に実際に歩き, 安全な道順や危険な箇所を調べておく。 ・ 校外活動における安全な指導体制(配置, 対応等)について職員間で確認しておく。 ・ 交通ルールや買い物の際にむやみに品物等に触れない等, 安全面の指導を十分に行う。
関連する指導の形態：国語, 数学			

単元名	学習発表会	期 間	1～2月
時 数	計15時間 ・学習発表会(事前及び練習10, 予行3当日 学校行事3 , 作業学習2 , 事後2)		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習発表会について知ることができる。 ○ 学習発表会の係や役割を決めることができる。 ○ 舞台発表に必要な道具や作品展示の準備をすることができる。 ○ 舞台発表をしたり, 作品展示を鑑賞したりすることができる。 ○ 学習発表会の振り返りをするすることができる。 		
	学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点
	<p>(詳細は, 別紙学習計画参照)</p> <p>1 学習発表会について知る。 期日, 発表内容(舞台発表, 展示発表, バザー) 当日までの学習計画</p> <p>2 学習発表会の準備や練習をする。</p> <p>3 作品展示の準備をする。</p> <p>4 発表や鑑賞のマナーを知る。</p> <p>5 学習発表会の予行に参加する。</p> <p>* 学習発表会に参加する。 学校行事3 作業学習2</p> <p>6 学習発表会の後片付けをする。</p> <p>7 学習発表会の反省をする。 ・ VTRを視聴する。 ・ 思い出や頑張ったことを発表する。 ・ 絵や文で表現する。</p>	<p>社-情-コ-伝-1 社-情-コ-知-9 社-情-協-1</p> <p>職-働-1, 3 職-作習-7~10 職-理-28~32 職-作習-7~10 職-理-28~32</p> <p>社-情-協-2~6</p> <p>社-情-コ-伝-1 社-情-コ-知-9 社-情-協-1</p>	<p>・ 練習開始前に使用する場所や道具の安全確認を行う。体育館練習時は, 照明が暗くなることもあるので, 転倒のおそれや危険物がないか十分点検する。 ・ はさみ, カッターナイフ等使用する際は, 必ず教師が側につき, 安全な扱い方について指導する。</p>
関連する指導の形態：国語，数学，音楽，美術，作業学習			

単元名	もうすぐ卒業（3年生）	期 間	2～3月
時 数	<p>計30時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 入試に向けて5 卒業文集，記念品制作6 お楽しみ会（事前2，当日4） お別れ会（当日2） お別れ遠足（事前1，当日学校行事5） 卒業式練習（卒業生のみ5，全体2），予行3 		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 卒業や進級するにあたり、1年間の出来事や思い出を振り返ることができる。 学年末の準備をしたり、行事に参加したりすることができる。 これまでの自分の成長を振り返り、今までお世話になった人に感謝の気持ちを伝えることができる。 		
	学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点
	<p>1 卒業に向けての学習について知る。</p> <p>2 高等部の学習を体験する。</p> <p>（1） 高等部の生徒心得や学習内容について知る。</p> <p>（2） 高等部体験学習をする。（別紙実施計画参照）</p> <p>3 高等部入学選考に向けて学習する。</p> <p>（1） 対策模試，面接の練習，集団行動観察の練習をする。</p> <p>4 中学部での学校生活を振り返り，まとめの学習をする。</p> <p>（1） 卒業式の練習をする。（全体，学部，学級）</p> <p>（2） 卒業文集制作を計画し原稿を依頼し，作成する。</p> <p>（3） 卒業記念品を制作する。</p> <p>（4） お別れ遠足の準備をしに買い物学習に出かける。</p> <p style="text-align: center;">学校行事 5 《校外学習》</p> <p>（5） お別れ会の準備や練習をする。</p> <p>（6） お別れ会に参加する。（別紙実施計画参照）</p> <p>（7） 作品やアルバムを整理する。</p> <p>（8） 持ち物の整理や教室の大掃除をする。</p> <p>（9） 学習のまとめや反省をする。</p> <p>5 思い出作り（レクリエーション，食事会）</p> <p style="text-align: right;">《校外学習》</p>	<p>社-情-コ-伝-1</p> <p>社-情-コ-知-9</p> <p>社-情-協-1</p> <p>職-働-1～3</p> <p>職-作習-7～10</p> <p>職-理-28～32</p> <p>社-情-コ-知-9</p> <p>社-情-協-1</p> <p>社-情-協-2～6</p> <p>職-働-1～3</p> <p>職-作習-7～10</p> <p>社-地-公-6</p>	<p>・路線バスの利用，会場での活動について，公共の施設利用のマナー，安全面（駐車場・路上・店内），生徒の行動把握などに留意する。</p> <p>・記念品制作に際してのニス，金槌，釘，のこぎりなどの使用について必ず職員が付き添い安全面に注意しながら取り扱う。</p> <p>・道具の移動や高所の清掃等，けががないように注意する。</p>
関連する指導の形態：特別活動（学級活動），国語，美術，数学			

単元名	冬の暮らし	期 間	-
時 数	※ 各学級，学年で生徒の実態に応じて計画・実施（時間割係に相談）		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四季があることを知ることができる。 ○ 季節の行事・遊び・食べ物・活動について体験することができる。 ○ 学期の目標を立てることができる。 ○ 学期の反省をすることができる。 ○ 長期休みの目標を立てることができる。 ○ 長期休みの反省をすることができる。 		
学 習 内 容		チェックリストとの関連	指導上の留意点
<p>1 新年の行事や慣習について知る。</p> <p>(1) 初詣，書き初め，七草，鏡開き，成人式など</p> <p>(2) 年始のあいさつをする。</p> <p>2 冬の季節の特徴や生活の工夫について知る。</p> <p>(1) 自然の特徴を調べる。（天気，植物，昆虫）</p> <p>(2) 校内や学校周辺の自然散策をする。《校外学習》</p> <p>3 冬の遊びをする。</p> <p>(1) たこあげ，はねつき，こま回し，福笑い，かるた等</p> <p>4 まとめをする。</p>		<p>社-情-コー-伝-1</p> <p>社-情-コー-知-9</p> <p>社-情-協-1</p>	<p>・新学期が始まったばかりなので，健康観察と衣服の調節等を配慮する。</p> <p>・校外活動における安全な指導体制（配置，対応等）について職員間で確認しておく。</p> <p>・教室や会場の設営や片づけでは，道具の移動や高所での活動等けががないように注意する。</p>
関連する指導の形態：特別活動（学級活動），国語，美術			

高等部

[生活单元学习]

Ⅲ指導計画

生活単元学習Ⅰ（共通単元）

単元名	新しい生活（1年）	期間	4月
時数	10		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい学級や学年の先生や友達を知ることができる。 ○ 一年間の行事を知ることができる。 ○ 意欲をもって過ごすことができるように、学級・個人目標を立てることができる。 ○ 友達と協力して過ごすことができるように、係活動を決めることができる。 		
学習内容	チェックリストとの関連	指導上の留意点	
<p>1 高等部の生活について話し合い、知る。【8】</p> <p>(1) 自己紹介をする。</p> <p>(2) 一日の生活の流れや係の仕事などを知る。</p> <p>(3) 学部・学校めぐりをする。</p> <p>(4) 一年間（一学期）の目標を決め、発表の練習をする。</p> <p>(5) 時間割表やプロフィールなどを作成し、学級設営をする。</p> <p>2 対面式の準備をし、参加する。【2】</p> <p>(1) 対面式について知る。</p> <p>(2) 自己紹介の練習をする。</p> <p>(3) 対面式に参加する。</p> <p>3 春の一日遠足の学習をする。</p> <p>(1) 日時、場所、持ち物、きまりについて知る。</p> <p>(2) 自己紹介やレクリエーションの練習をする。</p> <p style="padding-left: 20px;">* 一日遠足に参加する。（学校行事 5時間）</p> <p>(3) 一日遠足を振り返り、思い出を発表する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康状態を観察する。 ・絵カードやVTRなど生徒の実態にあったものを使って提示する。 ・生徒の健康状態に気をつけて学校めぐりをする。 ・自己表現力を把握し、支援の方法を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・発表の中でできることを把握し、支援の方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康状態を観察する。 	
関連する指導の形態：作業学習，国語，特別活動（ホームルーム活動）			

Ⅲ指導計画

単元名	新しい生活（２・３年生）	期 間	４月
時 数	１０		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい学級や学年の先生や友達を知ることができる。 ○ 新入生を迎える会などの行事を準備したり, 参加したりすることで進級の喜びを味わうことができる。 ○ 一年間の行事を知ることができる。 ○ 意欲をもって過ごすことができるように, 学級・個人目標を立てることができる。 ○ 友達と協力して過ごすことができるように, 係活動を決めることができる。 		
学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点	
<p>1 新しい学年について話し合う。【８】</p> <p>(1) 一年間（一学期）の目標を決め, 発表の練習をする。</p> <p>(2) 時間割表やプロフィールなどを作成し, 学級設営をする。</p> <p>2 対面式の準備をし, 参加する。【２】</p> <p>(1) 係分担（進行係・招待係・会場係）を決める。</p> <p>(2) 対面式の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係ごとに準備をする。 <p>(3) 対面式に参加する。</p> <p>3 春の一日遠足の学習をする。</p> <p>(1) 日時, 場所, 持ち物, きまりについて知る。</p> <p>(2) レクリエーションの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 一日遠足に参加する。(学校行事 ５時間) <p>(3) 一日遠足を振り返り, 思い出を発表する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康状態を観察する。 ・自己表現力を把握し, 支援方法を工夫する。 ・係の中でできることを把握し, 支援方法を把握する。 ・生徒の健康状態を観察する。 	
関連する指導の形態：作業学習, 国語, 特別活動（ホームルーム活動）			

Ⅲ指導計画

単 元 名	宿泊学習に参加しよう（1年）	期 間	4月～5月
時 数	15【事前13，事後2】		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊学習について知ることができる。 ○ 公共施設の利用方法を知ることができる。 ○ 係を決めて責任をもって取り組むことができる。 ○ 宿泊学習についての振り返りを行うことができる。 		
学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点	
<p>1 宿泊学習のしおりに作る。 【1】</p> <p>2 宿泊学習について知る。 【3】</p> <p>(1) 昨年の写真などを見て，宿泊学習の目的等を知る。</p> <p>(2) 期日，参加者，利用交通機関，公共施設，宿泊地について知る。</p> <p>(3) 班編成や学習計画について知る。</p> <p>(4) しおりに分かったことを記入していく。</p> <p>3 宿泊学習の準備や練習をする。</p> <p>(1) 調理の練習をする。 【5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理 <p>(2) 係活動の準備や練習をする。 【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集会（はじめの式，おわりの式など）係 ・ レクリエーション係 ・ 調理係 など <p>(3) ベッドの作り方の練習をする。 【1】</p> <p>(4) 自分の持ち物を調べる。 【1】</p> <p>* 宿泊学習に参加する。（学校行事 12．6時間）</p> <p>4 宿泊学習の反省をする。 【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかったこと等の絵や感想文を書き，発表する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の健康状態を把握する。 ・ 昨年の写真などをうい視覚，聴覚などの感覚も活用し訴えることができるように支援する。 ・ しおりを一緒に見ながら日程などを詳しく説明する。 ・ 家庭と連携をとりながら宿泊中必要な物に加え，日常生活で必要な薬などを準備するものを十分に把握できるように配慮する。 ・ 実際に参加するときの食事形態を把握し，はさみ・とろみ剤・介助用食器を使用する。 ・ 生徒ができる活動を把握し，支援方法を考える。 ・ 生徒の体調が悪くなるサインについて十分に把握する。 	
<p>関連する指導の形態：特別活動（ホームルーム活動）</p>			

Ⅲ指導計画

単元名	職場見学に行こう（2年）	期間	4月～5月
時数	16		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な職業を知ったり、働くことの意義や大切さを知ったりすることで、興味・関心をもったり高めたりすることができる。 ○ 事業所や福祉施設の必要な情報を調べることができる。 ○ 交通ルール、見学や食事のマナーを知ることができる。 ○ 校内探検や職場見学をすることができる。（小） ○ 学校生活で頑張ることを考えることができる。（小） ○ 作業学習等の様子を見学して、働くための学習について知ることができる。（小） 		
学習内容	チェックリストとの関連	指導上の留意点	
<p>1 職場見学について知る。 【2】</p> <p>(1) 職場見学のしおりに作る。</p> <p>(2) 目的や期日について知る。</p> <p>(3) 訪問する事業所と福祉施設について知る。</p> <p>(4) 卒業生の職場での様子をVTRで視聴する。</p> <p>2 職場について調べる。(グループ活動) 【5】</p> <p>(1) 訪問先の事業所と福祉施設について調べる。 (場所、仕事・活動内容、利用者の人数等)</p> <p>(2) 職場見学で卒業生に聞きたいことを考える。</p> <p>(3) 広幅用紙に調べたことや質問内容をまとめる。</p> <p>(4) 訪問先でのマナーや態度について確認する。</p> <p>3 グループごとに発表する。 【2】</p> <p>(1) 調べた内容を発表する。</p> <p>(2) 卒業生への質問内容を発表する。</p> <p>(3) 発表に対して意見を交換する。</p> <p>4 職場を見学する。(事業所や福祉施設) 【5】</p> <p>(1) 職場の様子や雰囲気味わう。</p> <p>(2) 卒業生や職場の人の話を聞いたり、質問をしたりする。</p> <p>5 職場見学の反省をする。 【2】</p> <p>(1) VTRを視聴し、職場見学を振り返る。</p> <p>(2) 卒業生の質問への回答、職場の人の話、職場見学を通して知ったこと等をまとめる。</p> <p>(3) まとめた内容を発表する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・事前に見学する職場の卒業生とコンタクトを取り、卒業生のコメントや写真、VTR等を活用することで、視覚や聴覚等に訴え、生徒にとって分かりやすくなるように配慮する。 ・インターネットやパンフレットを活用して、グループごとに主体的に調べ学習を進められるようにする。 ・はさみ等を使う際は、生徒の実態に応じた支援方法を考え、安全面に配慮する。 ・生徒の健康状態を把握する。 ・緊急連絡体制等を事前に確認し、安全面における指導を徹底することで、安全に校外での学習が実施できるようにする。 ・職場の人に失礼のないよう、態度やマナーについて事前に確認する。 ・VTRや写真を活用し、活動中の様子を視覚や聴覚など様々な感覚で振り返ることができるように配慮する。 	
関連する指導の形態：作業学習、国語、特別活動（ホームルーム活動）			

Ⅲ指導計画

単元名	修学旅行に行こう（3年）	期間	4～5月
時数	16〔事前：14時間 事後：2時間〕		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行について知ることができる。 ○ 公共施設の利用方法を知ることができる。 ○ 買い物の計画を立てることができる。 ○ 修学旅行についての振り返りをすることができる。 		
学習内容	チェックリストとの関連	指導上の留意点	
<p>1 修学旅行について知る。</p> <p>(1) 過去のVTRや写真を視聴する。 【2】</p> <p>(2) 修学旅行の期日や目的について知る。</p> <p>2 修学旅行のしおりを作る。 【2】</p> <p>(1) 期日、見学地、参加者、利用交通機関、公共施設、宿泊地について知る。</p> <p>(2) 写真やシールを貼って、しおりを作る。</p> <p>3 見学施設について調べる、計画を立てる。 【9】</p> <p>(1) 実態別（班別）に分かれ見学施設について調べる。</p> <p>(2) 調べたことをまとめ、発表する。</p> <p>(3) テーマパークの計画を立てる。（ゆっくりコース・アトラクションコースはどのように回ったらいいかなど）</p> <p>(4) お土産購入の計画を立てる。</p> <p>3 修学旅行の準備をする。 【1】</p> <p>(1) 持っていく荷物を確認する。</p> <p>(2) 日程について知る。</p> <p>4 しおりを見ながら、確認をする。</p> <p>* 修学旅行に参加する。（学校行事 18時間）</p> <p>5 修学旅行の反省をする。</p> <p>(1) VTRを視聴し、思い出を振り返る。 【2】</p> <p>(2) 写真や絵を使い、思い出をまとめる。</p>		<p>・VTRや写真を活用することで、視覚や聴覚等に訴え、生徒にとってより分かりやすいように配慮する。</p> <p>・VTRや写真、パンフレット等を用い、視覚や聴覚等に訴え、生徒にとってより分かりやすいように配慮する。</p> <p>・糊を付けたリシールをはがしたり等、生徒のできる活動を見付け、取り入れるようにすることで、より主体的に学習に参加できるように配慮する。</p> <p>・VTRや写真を活用し、活動中の様子を視覚や聴覚など様々な感覚で振り返ることができるように配慮する。</p> <p>・生徒の様子を注意深く観察し、一番楽しかったことについて取り上げ、写真等を用いてまとめるようにする。</p> <p>※緊急連絡体制等を事前に確認し、安全面における指導を徹底することで、安全に校外での学習が実施できるようにする。</p>	
関連する指導の形態：特別活動（ホームルーム活動）			

Ⅲ指導計画

単元名	働く生活 I	期間	5～6月
時数	12 (事前8 事後4)		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習について知ることができる。 ○ 意欲や目的意識をもって実習に参加するために、目標を立てることができる。 ○ 実習についての振り返りをすることができる。 		
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点
<p>1 産業現場等における実習について知る。 【2】</p> <p>(1) 昨年の実習の VTR を視聴する。</p> <p>(2) 実習の目的, 期間, 学習計画を知る。</p> <p>(3) 実習日誌を作る。</p> <p>2 自分の実習について知る。 【2】</p> <p>(1) 実習先を知り, 実習先について実習日誌に記入する。</p> <p>(2) 実習での個人目標を立てる。</p> <p>(3) がんばろう会の準備をする。</p> <p>3 実習の準備をする。(実習先に応じた学習)</p> <p>[職場や施設等での実習] 【1】</p> <p>(1) 事前打合せ会について知る。</p> <p>[校内実習]</p> <p>(1) 校内実習の日程を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程表, 作業計画, 出勤表を作る。 ・ 実習中の決まりを考える。 ※事前実習1日目に取り組む </div> <p>4 校内事前実習について知る。 【1】</p> <p>(1) 実習内容等についてまとめる。</p> <p>(2) 実習先の仕事内容で要求される作業能力, 心得を知る。</p> <p>5 実習ががんばろう会の準備をし, 参加する。 【1】</p> <p>※事前実習最終日</p> <p>6 実習に向けて最後の確認をする。 【1】</p> <p>※事前実習最終日</p> <p>7 実習の反省をする。</p> <p>(1) 実習の反省をする。 【1】</p> <p>(2) 実習反省会に参加する。 【2】</p> <p>8 実習先へのお礼状を書く。 【1】</p>			<p>・別途実施計画の安全面への配慮事項参照</p> <p>・通勤面の安全対策については, 保護者や学園, 実習先と十分に連携を図り, 担当職員が交通安全の状況を把握するとともに, 職員間で共通理解を図る。</p>
<p>関連する指導の形態：作業学習, 特別活動 (ホームルーム活動)</p>			

Ⅲ指導計画

単 元 名	1学期を振り返って	期 間	7月
時 数	5		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期の反省をすることができる。 ○ 夏休みの目標を立てることができる。 ○ 四季があることを知ることができる。(小中) ○ 季節の行事・遊び・食べ物・活動について体験することができる。(小中) 		
学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点	
<p>1 1学期の行事を振り返る。 【1】</p> <p>(1) 行事表や写真などで、1学期の行事を振り返る。</p> <p>(2) 1学期の思い出を書く。</p> <p>2 夏休みの計画を立てる。 【1】</p> <p>(1) 夏休みのしおりを製本する。</p> <p>(2) 夏休みの目標を立てる。</p> <p>(3) 1日の予定表をつくる。</p> <p>3 1学期のまとめをする。</p> <p>(1) 1学期のアルバムや作品の整理をする。 【1】</p> <p>(2) 1学期の目標の反省をする。 【1】</p> <p>(3) 教室を掃除する。 【1】</p> <p>* 終業式に参加する。(学校行事 1)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・アルバム(写真)や絵カードなど生徒の実態に応じたものを使って提示する。 ・生徒の実態に応じて、作文や絵など書き方を工夫する。 ・生徒の実態に応じて、教師や友達と一緒に行う。 ・教師や友達と一緒に行事等を振り返りながら写真を貼る。 ・机や棚の整理整頓をし、持ち帰る物と置いておく物と分別する。 	
関連する指導の形態：特別活動(ホームルーム活動)			

Ⅲ指導計画

単 元 名	2学期に向けて	期 間	9月
時 数	5		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休みの反省をすることができる。 ○ 2学期の目標を立てることができる。 ○ 四季があることを知ることができる。(小中) ○ 季節の行事・遊び・食べ物・活動について体験することができる。(小中) 		
学 習 内 容		チェックリストとの関連	指導上の留意点
1 夏休みを振り返る	【2】		<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みにどんなことをしたかしおりを活用して確認する。 ・生徒の実態に応じて、作文や絵など書き方を工夫する。 ・生徒の実態に応じて、教師や友達と一緒にいる。
(1) 夏休みの思い出を書く。 (2) 夏休みの思い出を発表する。			
2 2学期の行事について知る	【3】		<ul style="list-style-type: none"> ・2, 3年生については、昨年度を振り返り, どのような行事があったか思い出すことができるようにする。 ・1学期の反省や2学期の行事表から2学期の目標を立てることができるようにする。
* 始業式に参加する。(学校行事 1) (1) 2学期の行事表をつくる。 (2) 2学期の目標を立て, 発表する。 (3) 行事表や2学期の目標を教室に掲示する。			
関連する指導の形態：特別活動（ホームルーム活動）			

Ⅲ指導計画

単 元 名	運動会	期 間	10月
時 数	3		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動会について知ることができる。 ○ 運動会の係や役割を決めることができる。 ○ 運動会に必要な道具などの準備をすることができる。 ○ 運動会の振り返りをすることができる。 		
学 習 内 容	チェック リストと の関連	指導上の留意点	
<p>1 運動会について知る。【2】</p> <p>(1) 昨年の様子を，VTRを見ながら思い出す。</p> <p>(2) 今年の運動会の赤白チームの組み分けを知る。</p> <p>2 運動会の係活動をする。【4】</p> <p>※ 運動会予行に参加する。(体育 3)</p> <p>3 運動会の準備をする。【2】…前日の準備</p> <p>※ 運動会に参加する。(学校行事 5)</p> <p>4 運動会の反省をする。【1】</p> <p>(1) VTRを視聴する。</p> <p>(2) 写真や絵を使い，思い出をまとめる。</p>	<p>社-情-コ- 伝-1</p> <p>職-働-1, 3</p> <p>社-情-コ- 伝-1</p>	<p>・VTR や写真を活用することで，視覚や聴覚等に訴え，生徒にとってより分かりやすいように配慮する。</p> <p>・生徒のできる活動を取り入れ，主体的に学習に参加できるように配慮する。</p> <p>・生徒の様子から，楽しかったことを，写真等を用いてまとめるようにする。</p>	
関連する指導の形態：体育，美術，音楽，特別活動（ホームルーム活動）			

Ⅲ指導計画

単 元 名	働く生活Ⅱ	期 間	11月
時 数	12 (事前8 事後4)		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習について知ることができる。 ○ 意欲や目的意識をもって実習に参加するために、目標を立てることができる。 ○ 実習についての振り返りを行うことができる。 		
学 習 内 容		チェックリストとの関連	指導上の留意点
1 産業現場等における実習について知る。 【2】	(1) 実習の目的, 期間, 学習計画を知る。 (2) 実習日誌を作る。		<ul style="list-style-type: none"> ・別途実施計画の安全面への配慮事項参照 ・通勤面の安全対策については, 保護者や学園, 実習先と十分に連携を図り, 担当職員が交通安全の状況を把握するとともに, 職員間で共通理解を図る。
2 自分の実習について知る。 【2】	(1) 実習先を知り, 実習先について実習日誌に記入する。 (2) 実習での個人目標を立てる。 (3) がんばろう会の準備をする。		
3 実習の準備をする。(実習先に応じた学習) [職場や施設等での実習] 【1】	(1) 事前打合せ会について知る。		
[校内実習]	(1) 校内実習の日程を知る。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程表, 作業計画, 出勤表を作る。 ・ 実習中の決まりを考える。 ※事前実習1日目に取り組む 			
4 校内事前実習について知る。 【1】	(1) 実習内容等についてまとめる。 (2) 実習先の仕事内容で要求される作業能力, 心得を知る。		
5 実習がんばろう会の準備をし, 参加する。 【1】	※事前実習最終日		
6 実習に向けて最後の確認をする。 【1】	※事前実習最終日		
7 実習の反省をする。	(1) 実習の反省をする。 【1】 (2) 実習反省会に参加する。 【2】		
8 実習先へのお礼状を書く。 【1】			
関連する指導の形態：作業学習, 特別活動 (ホームルーム活動)			

Ⅲ指導計画

単 元 名	2学期を振り返って	期 間	1 2月
時 数	5		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2学期の反省をすることができる。 ○ 冬休みの目標を立てることができる。 ○ 四季があることを知ることができる。(小中) ○ 季節の行事・遊び・食べ物・活動について体験することができる。(小中) 		
学 習 内 容		チェックリス トとの関連	学 習 内 容
<p>1 2学期の行事を振り返る。 【1】</p> <p>(1) 行事表や写真などで、2学期の行事を振り返る。</p> <p>(2) 2学期の思い出を書く。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・アルバム(写真)や絵カードなど生徒の実態に応じたものを使って提示する。 ・生徒の実態に応じて、作文や絵など書き方を工夫する。
<p>2 冬休みの計画を立てる。 【1】</p> <p>(1) 冬休みのしおりを製本する。</p> <p>(2) 冬休みの目標を立てる。</p> <p>(3) 1日の予定表をつくる。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じて、教師や友達と一緒に行う。
<p>3 2学期のまとめをする。</p> <p>(1) 2学期のアルバムや作品の整理をする。 【1】</p> <p>(2) 2学期の目標の反省をする。 【1】</p> <p>(3) 教室を掃除する。 【1】</p> <p>* 終業式に参加する。(学校行事 1)</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と一緒に行事等を振り返りながら写真を貼る。 ・机や棚の整理整頓をし、持ち帰る物と置いておく物と分別する。
関連する指導の形態：特別活動（ホームルーム活動）			

Ⅲ指導計画

単 元 名	3学期に向けて	期 間	1月
時 数	5		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬休みの反省をすることができる。 ○ 3学期の目標を立てることができる。 ○ 四季があることを知ることができる。(小中) ○ 季節の行事・遊び・食べ物・活動について体験することができる。(小中) 		
学 習 内 容		チェックリストとの関連	指導上の留意点
<p>1 冬休みを振り返る。 【2】</p> <p>(1) 冬休みの思い出を書く。</p> <p>(2) 冬休みの思い出を発表する。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みにどんなことをしたかしおりを活用して確認する。 ・生徒の実態に応じて、作文や絵など書き方を工夫する。 ・生徒の実態に応じて、教師や友達と一緒に行う。
<p>2 3学期の行事について知る。 【3】</p> <p>* 始業式に参加する。(学校行事 1)</p> <p>(1) 3学期の行事表をつくる。</p> <p>(2) 3学期の目標を立て、発表する。</p> <p>(3) 行事表と3学期の目標を教室に掲示する。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・2, 3年生については、昨年度を振り返り、どのような行事があったか思い出すことができるようにする。 ・2学期の反省や3学期の行事表から3学期の目標を立てることができるようにする。
関連する指導の形態：特別活動（ホームルーム活動）			

Ⅲ指導計画

単元名	学習発表会を成功させよう	期間	1月～2月
時数	4（劇を行う場合30）		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習発表会について知ることができる。 ○ 学習発表会の係や役割を決めることができる。 ○ 舞台発表に必要な道具や作品展示をすることができる。 ○ 舞台発表をしたり，作品展示を鑑賞したりすることができる。 ○ 学習発表会の振り返りをするすることができる。 		
学習内容		チェックリストとの関連	指導上の留意点
1 学習発表会について知る。【1】 (1) 昨年の様子をVTRを見ながら思い出す。 2 学習発表会の準備をする。 (1) ポスターを作る。 3 作品展示の準備をする。 (1) 作品を展示し，鑑賞する。 4 学習発表会予行に参加する。【3】 5 学習発表会に参加する。（学校行事 3） 6 学習発表会の反省をする。 (1) VTRを視聴する。 (2) 写真や絵を使い，思い出をまとめる。		社情・コ・伝・1 職・働・1, 3 社情・コ・伝・1	<ul style="list-style-type: none"> ・VTR や写真を活用することで，視覚や聴覚等に訴え，生徒により分かりやすいようにし，学習発表に対する意欲やイメージを高める。 ・別途実施計画の安全面への配慮事項参照 ・生徒の様子から，楽しかったことを，写真等を用いてまとめるようにする。
(※劇を行う場合) 1 学習発表会について知る。【1】 (1) 昨年の学習発表会の様子をVTR等で見ると。 2 学習発表会の準備をする。【6】 (1) ポスターを作る。 (2) 舞台発表の小道具を作る。 3 学習発表会の演目の練習をする。【18】 (1) 舞台発表の配役や係を決める。 (2) 舞台発表の練習をする。（グループ練習，全体練習） 4 作品展示の準備をする。【1】 (1) 作品を展示し，鑑賞する。 5 学習発表会予行に参加する。【3】 6 学習発表会に参加する。（学校行事 3） 7 学習発表会の反省をする。【1】 (1) VTRを視聴する。 (2) 写真や絵を使い，思い出をまとめる。			<ul style="list-style-type: none"> ・VTR や写真を活用することで，視覚や聴覚等に訴え，生徒により分かりやすいようにし，学習発表に対する意欲やイメージを高める ・生徒のできる活動を取り入れ，主体的に学習に参加できるように配慮する。 ・音楽に合わせて歌ったり，楽器を鳴らしたりする。 ・紙をちぎったり，貼り付ける等の手指活動を通して感覚の認知を高められるように配慮する。 ・別途実施計画の安全面への配慮事項参照
関連する指導の形態：国語，音楽，美術			

Ⅲ指導計画

単 元 名	もうすぐ卒業（3年）	期 間	2月～3月
時 数	19		
目 標	<p>○ 卒業や進級するにあたり，一年間の出来事や思い出を振り返ることができる。</p> <p>○ 学年末の準備をしたり，行事に参加したりすることができる。</p> <p>○ これまでの自分の成長を振り返り，今までお世話になった人に感謝の気持ちを伝えることができる。</p>		
学 習 内 容	チェックリストとの関連	指導上の留意点	
<p>1 3年間を振り返り，卒業式について知る。</p> <p>(1) 卒業式までの日程や行事を確認し，学習計画を知る。</p> <p>(2) 3年前の自分と今の自分を比較する。 3年間の自分を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体的な成長について ・ 目標や行事の反省 ・ 3年間の思い出を発表する。 <p>(3) アルバムや作品の整理をする。</p> <p>2 お別れ会の準備をする。</p> <p>(1) お別れ会について知る。</p> <p>(2) お別れのことばを考え，発表の練習をする。</p> <p>3 お別れ会に参加する。</p> <p>4 文集や卒業記念製作を作る。</p> <p>(1) 書く内容や作るものを話し合いに参加する。</p> <p>(2) 原稿を依頼したり，書いたりする。</p> <p>(3) 記念品を製作したり，文集を製本したりする。</p> <p>5 お別れ遠足について知る。</p> <p>(1) お別れ遠足について知り，発表の練習をする。</p> <p>(2) お別れ遠足に参加する。（学校行事 5）</p> <p>6 校外学習について知る。</p> <p>(1) 内容について知り，話し合いに参加する。</p> <p>(2) 必要なものを準備する。</p> <p>(3) 校外学習に行く。</p> <p>(4) 校外学習を振り返り，感想を発表する。</p> <p>7 卒業後の生活について知る。</p> <p>(1) 卒業後の進路や目標を発表する。</p> <p>(2) 同窓会について知る。</p> <p>(3) 同窓会に入会する。</p> <p>8 卒業式に参加する。</p> <p>(1) 卒業式の練習をする。</p> <p>(2) 卒業式予行に参加する。（1）</p> <p>(3) 卒業式に参加する。（学校行事 2）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康状態を観察する。 ・写真や絵カードなど生徒の実態に応じたものを使って提示する。 ・教師や友達と一緒に行事等を振り返りながら写真を貼る。 ・はさみ等を使う際は，生徒の実態に応じた支援方法を考え，安全面に配慮する。 ・友達と一緒に原稿の依頼をする。 ・可能な限り生徒本人の活動の場面を増やすことができるよう生徒の実態に応じた支援方法を検討する。 ・生徒の実態に応じた内容のものとし，教師や友達と一緒に行く。 ・教師と一緒に写真などを使用して発表する。 	
関連する指導の形態：国語，特別活動（ホームルーム活動）			

Ⅲ指導計画

単元名	もうすぐ進級（1・2年）	期間	2月～3月
時数	19		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業や進級するにあたり，一年間の出来事や思い出を振り返ることができる。 ○ 学年末の準備をしたり，行事に参加したりすることができる。 ○ 卒業生を祝う気持ちを持ち，感謝の気持ちを伝えることができる。 		
学習内容	チェックリストとの関連	指導上の留意点	
<p>1 修了式までの日程や行事を確認し，学習計画を知る 【1】</p> <p>(1) 2月，3月の日程を確認する。</p> <p>(2) (お別れ遠足について，日程や行き先を知る) * お別れ遠足に参加する(学校行事 5)</p> <p>2 送別会の準備をする 【7】</p> <p>(1) 送別会について知る。(日時など) (1)</p> <p>(2) 送別会の準備をする。(4) ・ 係ごとに準備をする。</p> <p>(3) 送別会に参加する。(2)</p> <p>3 卒業を祝う 【4】</p> <p>(1) 卒業式の練習に参加する。(1)</p> <p>(2) 卒業式予行をする。(1) * 卒業式に参加する。(学校行事 2)</p> <p>(3) 卒業式の後片付けをする。</p> <p>4 一年間を振り返り，進級について話し合う 【7】</p> <p>(1) 一年前の自分を振り返る。 ・ 目標や行事の反省</p> <p>(2) アルバムや作品の整理をする。</p> <p>(3) 教室を掃除する。(1～2) * 修了式に参加する。(学校行事 1)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・アルバム(写真)や絵カードなど生徒の実態に応じたものを使って提示する。 ・はさみ等を使う際は，生徒の実態に応じた支援方法を考え，安全面に配慮する。 ・生徒の実態に応じた内容のものとし，教師や友達と一緒にいる。 ・教師や友達と一緒にいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と一緒に行事等を振り返りながら写真を貼る。 ・絵カードなど生徒の実態に応じたもので提示する。 ・生徒の実態に応じた内容のものとし，教師や友達と一緒にいる。 	
関連する指導の形態：特別活動（ホームルーム活動）			

単元名	家庭の生活Ⅰ～心と身体～（1年）	期間	1学期
時数	6		
目標	○ 清潔や健康を保つための方法を知ることができる。 ○ 心の健康を維持するための方法を知ることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
1 清潔と健康 ・ 清潔を保つことの大切さを知る。 (1) 身だしなみ・整理整頓をすることは、将来の就職先で必要な力であると知る。 (2) 実際に、正しい身だしなみ、整理整頓をする。 （教師見本，他者との比較など） ・ 健康を維持する大切さを知る。 (1) 寝不足，偏った食事，長時間のテレビ視聴（ゲーム）などを続けると体調を崩し，日常生活に影響を及ぼすことを知る。 (2) 心と体の健康を保つために日々どんな事を心掛けなければならないかを知る。 2 自己理解 (1) 自分の長所と短所を挙げる。 (2) 自分の短所をどのように克服すればよいか考える。 3 危機回避 (1) 自分の身の回りにはどのような危険があるか知る。 機械，農機具，刃物，自動車，動植物，薬物，アルコール，不審者等 (2) どのようにすれば危険を回避できるか考える。 4 悩みと不安 (1) 悩んでるときや緊張しているときの気持ち，体の変化（体温，脈拍）等 を考える。 (2) 自分が一番心が落ち着く場所，音楽などを考える。 (3) ストレスが掛かってきているときに深呼吸したり，一番落ち着く事を考 えたりすることでストレスが軽減することを知る。		・ 生徒自身で長短 所を挙げられない 場合は，日々の言 動の中での良い点 を言ったり，家族 や友だち等から褒 められていること を聞いたりして， 生徒が発言しやす くなるように配慮 する。	
私たちの進路	P. 6～13, P. 43～51		

単元名	家庭の生活Ⅱ～掃除と洗濯～（1年）	期間	1学期
時数	4		
目標	○ 掃除道具の使い方や洗濯の方法を知ることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 掃除の仕方</p> <p>(1) なぜ掃除をしなければいけないのかを考える。 （家庭生活Ⅰの清潔と健康で学んだことを思い出しながら）</p> <p>(2) それぞれの実態に合わせて掃除場所を決める。 A トイレ掃除 B 教室清掃 C 廊下清掃</p> <p>(3) 掃除道具の正しい使い方を知る。</p> <p>(4) 実際に掃除をする。</p> <p>(5) どのようなことに注意したか感想をそれぞれ発表する。</p> <p>2 洗濯の仕方</p> <p>(1) なぜ洗濯をしなければならないのか考える。</p> <p>(2) それぞれの実態に合わせて洗濯するものを決める。 A 上履き, 衣服 B 上履き, 衣服 C ハンカチ手洗い</p> <p>(3) 洗濯するときの注意点を知る。 （素材, 一緒に洗濯してはいけないものなど）</p> <p>(4) 実際に洗濯をする。</p> <p>(5) 洗濯したものを干す。</p> <p>(6) どのようなことに注意したか感想をそれぞれ発表する。</p>		<p>・ 様々な掃除場所を経験してほしいことから輪番制にしてもよい。</p> <p>・ 掃除と洗濯を習熟度別に行う際は、掃除場所や洗濯機の台数の関係上、同じ題材を同時に授業しないようにする。</p>	
私たちの進路			

単元名	家庭の生活Ⅲ～日用品～（1年）	期間	3学期
時数	7		
目標	○ 家電製品の使い方や家具の組み立てについて知ることができる。		
学習内容			指導上の留意点
<p>1 電化製品の使用（電池・電球の交換）</p> <p>(1) 電池や電球の種類について知る。</p> <p>(2) 身の回りにの物にはどのような種類の電池や電球が使われているか調べる。</p> <p>(3) 実際に様々な種類の電池や電球を用意し、交換する。</p> <p>(4) 難しかったこと等の感想を述べる。</p> <p>2 アイロン（発達段階に応じて実施）</p> <p>(1) アイロンの使い方を知る。</p> <p>(2) 注意することはなにか考える。</p> <p>(3) 実際に使用する。</p> <p>3 洗濯物たたみ</p> <p>(1) なぜ洗濯物をたたむ力が必要なのかを考える。 （施設先での仕事，家でのお手伝い→自立に向けてなど）</p> <p>(2) 洗濯物のたたみ方を知る。 A 衣服，靴下など B 衣服，靴下など C 靴下，下着など</p> <p>(3) 実際にたたんでみる。</p> <p>(4) 今後気を付けていかなければいけないことを発表する。</p> <p>4 TPO に応じた服装</p> <p>(1) なぜ TPO に応じた服装に応じた服装をしなければならないのか考える。</p> <p>(2) 場面ごとの適切な服装について考える。</p> <p>(3) 実際に事業所や施設先での適切な服装について考える。</p> <p>5 家具組み立て</p> <p>(1) 道具の使い方や説明書の読み方を知る。</p> <p>(2) 家具を組み立てる。</p>			<p>・ 感電しないように，通電していないことを確実に確認してから安全に交換できるようにする。</p> <p>・ やけどをしないように取扱に十分に配慮する。</p> <p>・ ドライバーでネジ山を潰さないように廃材等で練習をしてから，家具組立に臨むようにする。</p>
私たちの進路	P. 50～51		

単元名	家庭生活Ⅳ～体の健康～（2年）	期間	1学期
時数	4		
目標	○ 病気や病院の種類について知ることができる。 ○ 病院受診の方法について知ることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
1 病気の種類について (1) 病気の種類で何を知っているか発表する。 (2) どのような症状が出たら病気なのかを知る。 2 病院の種類について (1) 自分たちの身の回りにはどのような病院があるか考える。 (2) どのような症状が出たときはどのような病院に行けばいいのか知る。 3 病院受診について (1) 病院には何を持って行く必要があるのか知る。 → お金、保険証、障害手帳など (2) 実際に病院受診のロールプレイをする。 (3) 難しかったことを発表する。 4 お酒やたばこ、薬物について (1) お酒やたばこ、薬物の体への影響について知る。 ○ 発達段階に応じて、自分が困ったときはどうすればよいか、どのような人 にお願いすればいいかなどを実施してもよい。 ○ 発達段階に応じて、原付等で事故に巻き込まれた際、どのような対応をす ればよいかなどを行ってもよい。		・自分の症状を正確に相手に伝えられたかを確認する。 正確に伝えるためには、どのような伝え方をすればよいかを考えさせる。 (例) いつから どこが どのような症状 ・症状を伝える手段として、ズキズキ、チクチク、ガンガン等の擬態語があることに触れる。	
私たちの進路			

単元名	家庭生活Ⅴ～被服～（2年）	期間	3学期
時数	4		
目標	○ 基本的な裁縫の仕方について知ることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 基礎縫いについて知る</p> <p>(1) 針と糸の使い方を知る。</p> <p>(2) 基礎縫いをする。(なみ縫い・まつり縫いなど)</p> <p>(3) 実際にボタンを付ける。</p> <p>2 ミシンの使い方について知る</p> <p>(1) 糸の通し方を知る。</p> <p>(2) ボビンの準備をする。</p> <p>(3) 実際にぞうきんを作る。</p> <p>(4) 小物を作る。</p> <p>A ミシン B ボタン C 洗濯物のたたみ方</p> <p>○ Cに関しては、発達段階に応じて以下の題材を実施してもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洗濯物のたたみ方 ・ 洗濯の仕方（ハンカチの手洗い） ・ 掃除の仕方（廊下，教室） 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 道具の安全な取り扱いを指導するとともに，器物破損時の対応や火気扱いは，必ず担当職員の管理の下で行う。 	
私たちの進路			

単元名	情報機器とモラルⅠ～インターネットの利用～（1年）	期間	2学期
時数	2		
目標	○ インターネットの使い方や注意点を知ることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
1 インターネットの使用目的や使い方について知る。 2 ネットショッピングなどのネット利用の注意点を知る。 3 ネット利用の注意点を参考にしながら、インターネットを使う。			
私たちの進路			

単元名	情報機器とモラルⅡ～携帯電話～（2年）	期間	2学期
時数	2		
目標	○ 携帯電話の使い方や注意点について知ることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
1 メールや電話などの携帯電話の主な機能について知る。 2 出会い系サイトなどの危険性について具体的に知る。 3 いじめなどにつながらないように、SNS 等を使用する時の注意点について考える。 4 困った時には一人で抱え込まず、すぐに相談するなどのトラブル対応について知る。		・ 性教育やいじめ問題とも関連させながら、インターネットやDVD 教材等を利用して、トラブルについて具体的に示すようにする	
私たちの進路			

単元名	栄養と調理Ⅰ～Ⅲ	期間	1～3学期
時数	1年(9) 2年(14)		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収穫した野菜を調理し、食べることができる。(小学部) ○ 必要な材料や道具を準備し、調理することができる。 ○ 栄養バランスのよい食生活について知ることができる。 		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 食生活を振り返る</p> <p>(1) 簡単な食品名や料理の名前について発表する。</p> <p>(2) 食べ物の働きや食事の栄養バランスについて知る。</p> <p>(3) 加工食品や半加工食品の利用の仕方について調べる。</p> <p>(4) 食品の変質と保存方法について知り、賞味期限や食品の適切な保存方法について調べる。</p> <p>(5) 食品や食器、着衣の衛生について知り、食品の取扱いについて気を付けることをまとめ、発表する。</p> <p>(6) 調理器具の種類と安全な使い方、調理実習時の注意について知る。</p> <p>2 調理実習をする</p> <p>(1) 作りたいものを話し合い、必要な材料や調理器具について調べ、手順を確認しながら調理計画を立てる。</p> <p>※ 調理の具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単なおやつ(フルーチェ、フルーツヨーグルト、ゼリー、フレンチトースト、ババロア、よもぎ団子、ふくらかん、舟焼き、はったい粉菓子、大学芋など) ・ 加工品の利用(カップ麺、レトルト食品、缶詰などのインスタント食品類) ・ 日常よく食べる食事(ご飯、味噌汁、丼ご飯、炒飯、麺類、お好み焼き、カレーライス、サンドウッチなど) ・ その他(お茶の入れ方、ジュースの作り方など) <p>(2) 調理計画に基づいて仕事分担をし、清潔や安全に気を付けて調理をする。</p> <p>(3) きれいに盛り付けて配ぜんし、食事のマナーに気を付けながら会食をする。</p> <p>(4) 使った食器や調理器具を洗って拭き、後片付けをする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理実習に当たっては、体調把握やエプロン等の着用、身だしなみ、衛生状態の確認を行う。 ・ 材料の鮮度を確認し、保存食の準備も確実にを行う。 ・ 調理に使う食器、道具類の衛生管理に気を付ける。 ・ 道具の安全な取り扱いや電子レンジなどの家庭電化製品の正しい使い方を指導するとともに、器物破損時の対応や火気扱いは、必ず担当職員の管理の下で行う。 ・ その他、食に関する指導の調理活動に関する安全面の配慮に沿って活動する。 ・ 献立については、生活経験や実態を考慮し、事前に保護者に事前アンケートなどを取るとともに、担任、担当職員で検討し、活動に反映するようにする。 	
私たちの進路	P. 34～37		

単元名	生活とお金Ⅰ（1年）～小遣い帳～	期間	2学期
時数	2		
目標	○ お金の計画的な使い方を知ることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
1 どのような事にお金を使うかを考える。 2 無駄にお金を使わないようにするために、所持金を把握しておく必要があることを理解する。 3 お小遣い帳の書き方を知り、自分で記入してみる。			
私たちの進路	P. 57		

単元名	生活とお金Ⅱ～生活費，浪費～（2年）	期間	2学期
時数	2		
目標	○ お金の計画的な使い方を知ることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
1 生活費 (1) 鹿児島県の最低賃金で実習期間中の作業時間を働いた場合、どれくらいの給料がもらえたか計算機等を用いて計算する。 (2) 1ヶ月働いたらどれくらいの収入になるかを計算する。 (3) 1ヶ月の生活に必要な生活費の項目を挙げ、どれくらい必要か考える。 2 浪費 (1) お金を使える場所について考える。 (2) お金を使った時の気持ちについて考える。（物品，サービスなど） (3) お金を使いすぎた時のことを考え，発表する。 (4) 計画的にお金を使うように考える。		・ 生活を営む上で必要な支出項目（電気代，光熱費，携帯電話代など）について具体的にあげる。 ・ 教師もしくは生徒の各家庭の電気代，ガス代などの使用量を事前に調べて，具体的な金額を示すようにする。	
私たちの進路	P. 57～58， P. 97～100		

単元名	生活とお金Ⅲ～金融機関，貯蓄，お金の貸し借り，悪徳商法に気を付けよう，個人情報の管理～（3年）	期間	3学期
時数	5		
目標	<input type="radio"/> 金融機関の利用方法を知ることができる。 <input type="radio"/> お金に関するトラブルについて知ることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 金融機関</p> <p>(1) 金融機関の役割について知る。</p> <p>(2) 日常生活でどんな時に金融機関を使っているかを考え，発表する。</p> <p>(3) 奄美にある金融機関について調べる。</p> <p>2 貯蓄</p> <p>(1) なぜ貯金が必要かを考え，発表する。</p> <p>(2) 通帳の作り方や仕組みについて知る。</p> <p>(3) 通帳を使ってお金を預ける練習をする。</p> <p>3 お金の貸し借り</p> <p>(1) 友達等とお金の貸し借りの危険性について考える。</p> <p>(2) クレジットカード，ローン，消費者金融等の仕組み(利息)について知る。</p> <p>(3) 借金後の返済の困難さを理解し，お金に困った時の対応について考える。</p> <p>4 悪徳商法に気を付けよう</p> <p>(1) 悪徳商法とは何かについて考える。</p> <p>(2) キャッチセールス等の悪徳商法の種類について知る。</p> <p>(3) クーリングオフ等の悪徳商法から身を守る方法を具体的に知る。</p> <p>5 個人情報の管理</p> <p>(1) 個人情報とは何かについて，映像や資料等を通して考える。</p> <p>(2) 個人情報を守るための方法について考える。</p>		<p>どんな情報が個人情報になるかを知り，その情報を第三者が悪用した場合に受ける影響について簡単に触れる。</p>	
私たちの進路	P. 57～58, P. 97～100		

単元名	職業生活Ⅰ（1年）	期間	2学期
時数	4		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な職業があることを知ることができる。 ○ 働くことの意義や大切さを知ることができる。 ○ 就職をするために必要な知識や態度を身に付けることができる。 		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 学校で働く人</p> <p>(1) 学校内で仕事をしている人を探す。 教師，事務職員，栄養教諭，調理員，養護教諭，看護師，バス運転手，バス介助員</p> <p>(2) 学校内で働いている人の仕事の内容について考える。 事務職員・・・書類作成，計算，外勤(金融機関等)，接待(窓口，お茶) 栄養教諭・・・献立，栄養の管理等 調理員・・・調理等 養護教諭，看護師・・・傷の手当，健康観察，検診等 バス運転手・・・通学バスの運転</p> <p>(3) 職務遂行のために必要な知識，技術等について考える。 事務職員・・・パソコン，文章作成，計算，掃除，給仕，ビジネスマナー 栄養教諭・・・衛生管理，栄養，カロリー計算等 調理員・・・調理道具の操作技術，知識，衛生管理等 養護教諭，看護師・・・病気や怪我，薬に対する知識や技術，健康管理等 バス運転手・・・運転免許，バスの知識（エンジン，ブレーキ，燃料等）</p> <p>2 学校周辺で働く人</p> <p>(1) 学校周辺で仕事をしている人を探す。 農家，郵便配達者，宅配便配達者，建設作業員，希望の星学園支援員，道の島交通バス運転手，タクシー運転手等</p> <p>(2) 仕事内容や職務遂行のために必要な知識，技術等について考える。 農家・・・作物，動物，農機具に対する知識，操作技術等 郵便・宅配便配達者・・・地図の見方，運転免許，ビジネスマナー，笑顔 建設作業員・・・体力，運転免許，道具・機械等の知識や操作技術等</p> <p>3 身の周りに多くの働いている人，職業・職種があることを知る。</p> <p>(1) 学校内，学校周辺にたくさんの働いている人，職種があることを振り返る。</p> <p>(2) それぞれの仕事に必要とされる能力があることを知る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて校内散策をし，どのような仕事をしているか聞かせることで，生徒に関する興味関心を高めるようにする。 ・ 学校内で様々な職種を探してから，学校周辺へ視野を広げていくことで，仕事探しをしやすくする。 <p>※ 時間に余裕がある場合は，生徒の将来なりたい仕事を挙げさせる。学校生活の中で身に付けなければならないことを考えさせ，今後の学習に，向けて意識を高く持てるようにする。</p>	
私たちの進路	P. 22～33		

単元名	職業生活Ⅱ（2年）	期間	1学期
時数	4		
目標	○ 様々な職業があることを知ることができる。 ○ 働くことの意義や大切さを知ることができる。 ○ 就職をするために必要な知識や態度を身に付けることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
1 働く目的と意義 (1) 職業に関するインタビューをする。 ・家族や知人に、「働くこと」についてどのような思いをもって働いているかを聞く。 ・聞いてきたことを発表する。 ・身の周りの人が、多くの考えを持ちながら働いていることを知る。 (2) 働く理由や目的は様々あることを知り、生徒それぞれの働く理由や価値観を意見交換する。 2 職場と学校の違い (1) 職場（実習先、施設）での様子を考え、学校と違うところを発表する。 (2) 職場で守らなければならないルールについて知る。 出勤時間、休憩時間、休む時の連絡、守秘義務等		・多様な価値観があることを踏まえた上で、何のために働くのかを生徒自身が持てるように配慮する。 ・服装、身だしなみ、挨拶の仕方、入退室の仕方、報告・連絡・相談、言葉遣いなどについて具体的に生徒が気をつけたことや、従業員の様子について思い出させる。 ・必要に応じて、実習中のVTR等を見せる。	
私たちの進路			

単元名	職業生活Ⅲ（2年）	期間	2学期
時数	4		
目標	○ 様々な職業があることを知ることができる。 ○ 働くことの意義や大切さを知ることができる。 ○ 就職をするために必要な知識や態度を身に付けることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
1 就業形態 (1) 労働時間や働く時間帯など様々な働き方があることを知る。 (2) 短時間労働や長時間労働の長短所について考え、自分の考えを発表する。 (体力的、精神的) 疲労度、給与等 (3) 働くために求められる能力について考える。 体力、気力、コミュニケーション力、衛生管理、報連相等 (4) 自分はどのような働き方があっているか考える。 2 給与 (1) 働いたら報酬を得られることを知る。 (2) 労働時間の長短、職種によって得られる報酬が異なることを知る。 (3) 給与に通勤手当等の項目があることを知る。 (4) 校外実習で2週間働いたとして、どのくらい報酬を得ることができたかを知る。 3 就業規則 (1) 教職員の服務規律を具体的に知る。 (2) 服務規律を違反した場合の罰則(訓告や減給等)について知る。 (3) 事業所での就業規則として考えられることを発表する。 (4) 守るべきことを理解し、どのように行動しなければならないかを考える。		・ フルタイムや短時間労働などの就業形態があることを、卒業生が就職した際の求人票やハローワークのHP等から求人票を見せながら、自分の就職について考える機会となるようにする。 ・ 求人票を見ながら、具体的な項目について確認をする。 ・ 事業所等での就業規則について、生徒が想像しやすいように、身近な教職員の就業規則と罰則等について簡単に説明する。 ・ 就業規則を守らなかった場合(無断欠勤等)の自分への罰則と一緒に働いている人や自分に対する影響についても触れる。 ・ 場合によって、卒業生に対する支援で顕著な例を進路指導主任等から話をしてもらう場を設定する。	
私たちの進路			

単元名	職業生活Ⅳ～関係機関について知る～（3年）	期間	1学期
時数	4		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な職業があることを知ることができる。 ○ 働くことの意義や大切さを知ることができる。 ○ 就職をするために必要な知識や態度を身に付けることができる。 		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 卒業後に関わる関係支援機関について知る。</p> <p>(1) 自分の希望する進路先に関する支援機関について知る。</p> <p>(2) 生活上のことで悩んだ時に相談できる関係支援機関を知る。</p> <p>2 関係支援機関がどのような支援を行っているかを知る。</p> <p>(1) 進路先に応じた関係支援機関の仕事内容について具体的な支援方法について知る。</p> <p>3 ハローワークの役割について知る。</p> <p>(1) 求人したい人(事業所)と就職したい人をつなげる役割を担っていることを知る。</p> <p>(2) 求職登録したことによるメリットについて知る。(求人者限定情報の閲覧, 不当解雇されにくいなど)</p> <p>4 障害者就業・生活支援センターの支援の内容について知る。</p> <p>(1) 就業の支援を行っていることを知る。(就業に向けた相談・準備支援, 就職活動の支援, 関係機関との連絡調整等)</p> <p>(2) 生活の支援を行っていることを知る。(生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言等)</p> <p>○ 自分たちの利用する施設の意義や内容を実態に応じて捉える。</p> <p>A 関係支援機関について, ハローワークについて, 障害者就業・生活支援センターについて(就職)</p> <p>B 施設での生活(就労移行支援, 就労継続等)</p> <p>C 施設での生活(生活介護等)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急番号（110・119）の確認, かかりつけ医, 犯罪（つきまとい, 性犯罪, 恐喝）への対応について確認する ・ 必要に応じて関係支援機関に来校してもらい, 担当者から直接説明してもらうよう依頼する。 ・ 事業所からハローワークに求人が出されることを知る。本校卒業生の就職に多く関わっていることを話し, 利用するには求職登録する必要があることに触れる。 	
私たちの進路	P. 66～67, P. 114～116		

単元名	職業生活Ⅴ～履歴書・面接・求人票～（3年）	期間	2学期
時数	10		
目標	<input type="radio"/> 様々な職業があることを知ることができる。 <input type="radio"/> 働くことの意義や大切さを知ることができる。 <input type="radio"/> 就職をするために必要な知識や態度を身に付けることができる。		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 ハローワークの利用方法について知る。</p> <p>(1) 求職申込書の記入から就職するまでの流れを知る。</p> <p>(2) ハローワークのホームページを開き、自分の希望する職種の求人情報を検索してみる。</p> <p>2 履歴書の書式の記入する必要次項を確認し、自分で記入する。</p> <p>(1) 文字の大きさ，文字間隔，丁寧な書き方</p> <p>3 志望動機等の自己アピール欄に記入する内容を考える。</p> <p>(1) 得意なこと，実習で経験したこと，いつもしていること，頑張れることなど</p> <p>(2) 希望した理由</p> <p>4 面接の受け方について知り，マナーを守って面接の練習をする。</p> <p>(1) 身だしなみ（ズボンの裾，ボタン，ファスナー，シャツ，口臭や体臭，洗顔，ひげ，寝ぐせやふけ，爪の長さ等）</p> <p>(2) 聞かれたら答えられるようになること（名前，年齢，学校名，会社までの行き方）</p> <p>(3) 面接の受け方について知る。（入退室の仕方，椅子にかけたときの姿勢，顔の向き，丁寧な言葉遣い，声の大きさ，お辞儀等）</p> <p>(4) 面接の練習をしてなおした方がよいところについて知る。</p> <p>5 事業所に就職した先輩の求人票を見ながら，記載されている内容について知る。</p> <p>(1) 事業所名，連絡先，就業条件（給料，勤務時間，休日）など</p> <p>(2) 必要な資格など</p> <p><input type="radio"/> 将来の就労の仕組みや施設生活について実態に応じて捉える。</p> <p>A 履歴書，面接，求人票</p> <p>B 卒業後に利用できる関係支援機関，困ったときの対処方法</p> <p>C 自分たちの気持ちの伝え方，困ったときの対処方法</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者登録番号を入力して，希望する条件で検索させる。（求職番号を入力しなくても検索ができる） ・ ふりがな（フリガナ）の書き方等についても触れる。 ・ 実習先の事業所の業種や担当する職種を考慮して，自分がどのように働けるかを考えさせる。 ・ 「印象がいい」人はどのような人か考えさせ，自分の身だしなみをチェックする。 ・ 面接の受け方チェックリストを使用する。（進路指導主任と確認をする） 	
私たちの進路	P. 66～69, P. 74～75 P. 89～92, P. 105		

単元名	ステキな社会人を目指して～生単のまとめ～（3年）	期間	3学期
時数	8		
目標	○ 社会人としてのマナーやルールについて考えることができる。 ○ まとめたことを発表することができる。		
学習内容		指導上の留意点	
1 社会人としてのマナーやルールについて考える。 (1) 社会人の身だしなみについて考える。 (2) スーツやドレス、ネクタイを着用する。 (3) 化粧や髪の設定、髭の剃り方を知る。 (4) 携帯電話のマナーや公共交通機関の利用の仕方について考える。 2 これまでに学んできたことを振り返り、グループごとにまとめる。 (1) 学んできたことを振り返り、書きたいことを選ぶ。 (2) 広幅用紙に調べたことや学んだことをまとめる。 3 グループごとにまとめたことを発表する。 (1) 調べた内容を発表する。 (2) 発表者に対して質問内容を発表する。 (3) 意見交換をする。		・ 実際にスーツやドレスなどを着用したり、化粧や髪の設定をしたりすることで、身だしなみに対する意識を高めることができるようにする。 ・ VTRや写真、配付したプリントを活用し、視覚や聴覚など様々な感覚で振り返ることができるように配慮する。	
私たちの進路			

単元名	社会の仕組みを学ぼう（1年）	期間	1学期
時数	11		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団行動をすることができる。 ○ 校外学習について知ることができる。 ○ マナーを守って公共の施設や公共交通機関を利用することができる。 ○ 買い物や外食をとおして、金銭のやりとりをすることができる。 ○ 校外学習についての振り返りを行うことができる。 		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 校外学習について知る。</p> <p>(1) 目的や期日等について知る。</p> <p>(2) 訪問先について知る。</p> <p>2 公共機関について知る。</p> <p>(1) 訪問先の公共機関の役割・仕事について知る。</p> <p>(2) 訪問先での質問等を考える。</p> <p>3 社会規範について知る。</p> <p>(1) 挨拶や言葉遣いについて知る。</p> <p>(2) 訪問先でのマナーについて知る。</p> <p>(3) 団体行動をする際に気を付けなければならないことについて知る。</p> <p>4 校外学習に参加する。 【5】</p> <p>(1) 校外学習に参加する。</p> <p>5 校外学習のまとめをする。</p> <p>(1) 訪問先での活動をVTRや写真を使って振り返る。</p> <p>(2) 訪問先について知ったことをまとめる。</p> <p>(3) まとめたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>訪問先の例</p> <p>役場、警察署、消防署、裁判所、浄水場、下水処理場、発電所、ゴミ処理場、大型店舗のバックヤード等</p> </div> <p>○ 社会の仕組みや様々な職業や仕事について知る。</p> <p style="padding-left: 20px;">A・B 公共機関の訪問</p> <p style="padding-left: 40px;">C 市街地で様々な店や職業を探す等</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問先については、その学年の実態を考慮し、学年部の職員で話し合い、決定する。 ・ 集団で安全に活動できるように配慮する。 ・ 支援を必要とする生徒については、担当職員を明確にしておく。 ・ 単独行動等の行動がないように、規範意識を高めるように活動内容を配慮する。 ・ 緊急連絡体制を十分把握し、安全確保に万全を期する。 	
私たちの進路			

単元名	余暇活動（2年）	期間	1学期
時数	11		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団行動をすることができる。 ○ 校外学習について知ることができる。 ○ マナーを守って公共の施設や公共交通機関を利用することができる。 ○ 買い物や外食をとおして、金銭のやりとりをすることができる。 ○ 校外学習についての振り返りをすることができる。 		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 校外学習について知る。</p> <p>(1) 目的や期日等について知る。</p> <p>(2) 訪問先について知る。</p> <p>2 訪問先の利用方法を知り、活動について考える。</p> <p>(1) 訪問先の機関の役割・仕事について知る。</p> <p>(2) 訪問先の利用方法について知る。</p> <p>(3) 訪問先での活動について考える。</p> <p>3 社会規範について知る。</p> <p>(1) 訪問先でのマナーについて知る。</p> <p>(2) 団体行動をする際に気を付けなければならないことについて知る。</p> <p>4 校外学習に参加する。 【5】</p> <p>(1) 校外学習に参加する。</p> <p>5 校外学習のまとめをする。</p> <p>(1) 訪問先での活動を VTR や写真を使って振り返る。</p> <p>(2) 訪問先での活動を反省し、発表する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問先については、その学年の実態を考慮し、学年部の職員で話し合い、決定する。 ・ 集団で安全に活動できるように配慮する。 ・ 支援を必要とする生徒については、担当職員を明確にしておく。 ・ 単独行動等の行動がないように、規範意識を高めるように活動内容を配慮する。 ・ 緊急連絡体制を十分把握し、安全確保に万全を期する。 	
<p>訪問先の例</p> <p>図書館（本の借り方）</p> <p>公民館・体育館（ボランティア・サークル活動）</p>			
私たちの進路			

単元名	私たちの進路 (3年)	期間	2学期
時数	13		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団行動をすることができる。 ○ 校外学習について知ることができる。 ○ マナーを守って公共の施設や公共交通機関を利用することができる。 ○ 買い物や外食をとおして、金銭のやりとりをすることができる。 ○ 校外学習についての振り返りをすることができる。 		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 校外学習について知る。</p> <p>(1) 目的や期日等について知る。</p> <p>(2) 訪問先について知る。</p> <p>2 交通について知る。</p> <p>(1) 訪問先の行き方について知る。</p> <p>(2) バスの時刻表を調べる。</p> <p>3 食事について</p> <p>(1) 昼食の計画を立てる。</p> <p>4 社会規範について知る。</p> <p>(1) 交通ルールや公共交通機関のマナーについて知る。</p> <p>(2) 訪問先でのマナーについて知る。</p> <p>(3) 団体行動をする際に気を付けなければならないことについて知る。</p> <p>5 校外学習に参加する。</p> <p>(1) 校外学習に参加する。</p> <p>6 校外学習の反省・まとめをする。</p> <p>(1) 使ったお金を計算する。</p> <p>(2) 訪問先での活動をVTRや写真を使って振り返る。</p> <p>(3) 訪問先で知ったことについてまとめる。</p> <p>(4) まとめたことを発表する。</p>		<p>・ 訪問先については、その学年の実態を考慮し、学年部の職員で話し合い、決定する。</p> <p>・ 集団で安全に活動できるように配慮する。</p> <p>・ 支援を必要とする生徒については、担当職員を明確にしておく。</p> <p>・ 単独行動等の行動がないように、規範意識を高めるように活動内容を配慮する。</p> <p>・ 緊急連絡体制を十分把握し、安全確保に万全を期する。</p> <p style="text-align: center;">【5】</p>	
<p>訪問先例</p> <p>障害者就業・生活支援センター，社会福祉協議会， ハローワーク，相談支援事業所，役所福祉関係部署等</p>			
私たちの進路			

単元名	生活と調理（3年）	期間	1学期
時数	18		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団行動をすることができる。 ○ 校外学習について知ることができる。 ○ マナーを守って公共の施設や公共交通機関を利用することができる。 ○ 買い物や外食をとおして、金銭のやりとりをすることができる。 ○ 校外学習についての振り返りを知ることができる。 		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 買い物学習及び調理学習について知る。</p> <p>(1) 生活費について知る。</p> <p>(2) 目的や期日、日程を知る。</p> <p>(3) 買い物をする場所を知る。</p> <p>2 準備をする。</p> <p>(1) 作りたいものを決め、必要な材料、調理手順を調べる。</p> <p>(2) 調理計画に基づいて仕事分担をする。</p> <p>(3) 買う材料、予算を立てるなどの買い物計画を立てる。</p> <p>(4) 社会規範、交通機関について知る。</p> <p>・バスの料金、時間、行き先までの道順の確認、買い物や交通のマナーなど</p> <p>3 買い物学習に参加する。 【2】</p> <p>4 調理学習をする。 【3】</p> <p>(1) 調理の準備をする。</p> <p>(2) 調理をする。</p> <p>(3) 調理の片づけをする。</p> <p>5 買い物学習・調理学習を振り返る</p> <p>(1) 使ったお金の計算をする。</p> <p>(2) 写真を見て振り返る。</p> <p>(3) 買い物学習と調理学習の感想をまとめる。</p> <p>6 給料と生活費の関係について知る。</p> <p>A・B (1) 生活費について学んだことを振り返る。</p> <p>(2) 給料の使い方について知る。</p> <p>(3) 金銭の管理（お小遣い帳、レシートの管理）について知る。</p> <p>(4) 生活費の管理についてや金銭の管理について学習した内容・感想をまとめ、発表する。</p> <p>C (1) 生活の中でお金を使う場面を知る。</p> <p>(2) 買い物のマナーを知る。</p> <p>(3) おもちゃの金銭を使い、買い物の練習をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援を必要とする生徒については、担当職員を明確にしておく。 ・ 単独行動、万引き等の行動がないように、規範意識を高めるように活動内容を配慮する。 ・ 緊急連絡体制を十分に把握し、安全確保に万全を期する。 	
私たちの進路	P 97, 98	P 57, 58	

単元名	買い物学習Ⅰ（1年）	期間	2学期
時数	15		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団行動をすることができる。 ○ 校外学習について知ることができる。 ○ マナーを守って公共の施設や公共交通機関を利用することができる。 ○ 買い物や外食をとおして、金銭のやりとりをすることができる。 ○ 校外学習についての振り返りを知ることができる。 		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 買い物学習について知る。</p> <p>(1) 目的や期日等について知る。</p> <p>(2) 訪問先について知る。</p> <p>2 買い物学習の準備をする。</p> <p>(1) 買い物について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金の支払い方法を確認する。 ・買い物場所でのマナーについて知る。 <p>(・バスの時刻表，料金等を調べる。)</p> <p>(2) 食事について計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼食場所を決める。 ・食事場所でのマナーについて知る。 <p>(3) 社会規範について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールや公共交通機関のマナーについて知る。 ・団体行動をする際に気を付けなければならないことについて知る。 <p>3 買い物学習（校外学習）に参加する。</p> <p>4 買い物学習の反省をする。</p> <p>(1) 買い物学習を振り返る。</p> <p>(2) 使ったお金の計算をする。</p>		【5】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援を必要とする生徒については、担当職員を明確にしておく。 ・ 単独行動，万引き等の行動がないように，規範意識を高めるように活動内容を配慮する。 ・ 緊急連絡体制を十分に把握し，安全確保に万全を期する。
私たちの進路			

単元名	買い物学習Ⅱ (2年)	期間	2学期
時数	15		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団行動をすることができる。 ○ 校外学習について知ることができる。 ○ マナーを守って公共の施設や公共交通機関を利用することができる。 ○ 買い物や外食をとおして、金銭のやりとりをすることができる。 ○ 校外学習についての振り返りをすることができる。 		
学習内容		指導上の留意点	
<p>1 買い物学習について知る。</p> <p>(1) 目的や期日等について知る。</p> <p>(2) 訪問先について知る。</p> <p>2 買い物学習の準備をする。</p> <p>(1) 買い物について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物計画 (欲しいもののリスト, 予算の確認など) を立てる。 <p style="padding-left: 40px;">買い物のテーマの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業学習に必要なものを買う。 ・ 季節行事に必要なものを買う。 ・ 学級に必要なものを買う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ お金の支払い方法を確認する。(小銭の理解) ・ 買い物場所でのマナーについて知る。 <p>(・バスの時刻表, 料金等を調べる。)</p> <p>(2) 食事について計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昼食場所を決める。 ・ 食事場所でのマナーについて知る。 <p>(3) 社会規範について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ルールや公共交通機関のマナーについて知る。 ・ 団体行動をする際に気を付けなければならないことについて知る。 <p>3 買い物学習 (校外学習) に参加する。 【5】</p> <p>4 買い物学習の反省をする。</p> <p>(1) 買い物学習を振り返る。</p> <p>(2) 使ったお金の計算をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援を必要とする生徒については, 担当職員を明確にしておく。 ・ 単独行動, 万引き等の行動がないように活動内容を配慮する。 ・ 緊急連絡体制を十分に把握し, 安全確保に万全を期する。 	
私たちの進路			

作業學習

單元一覽表

【作業学習】 中学部 単元一覧

中学部			
月	単元名	目標	教科等との関連
4	『作業学習について知ろう』 『〇〇の作り方を知ろう』	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習の目的, 各班の作業内容, 自分が所属する班を知る。 ・販売までの主な作業工程を知る。 ・作業の一連の流れ(準備～作業～片付け～反省)を知る。 ・製品の作り方や作業の仕方を学ぶ。 ・作業に必要な道具の名称と使い方を学ぶ。 ・挨拶, 返事, 報告, 質問の仕方や伝え方を学ぶ。 ・分担された作業に取り組む。 ・周りの人との依頼・受諾の仕方を知る。 ・設定された目標を意識して取り組む。 ・目標に対する自分の取組を, 教師と一緒に評価する。 ・作り上げる, やり遂げる達成感をもつ。 ・販売に必要な準備, 係を知る。 ・販売での客とのやり取りを学ぶ。 ・働くことで報酬をもらうことを知り, 働くことへの意欲をもつ。 	生単:働く生活Ⅰ (職場見学)
12h			
5			
12h			
6	『販売をしよう』	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の一連の流れに見通しをもち, 自主的に行動する。 ・自分が作りたい製品, 取り組みたいことを選ぶ。 ・道具を安全に正しく使う。 ・販売を意識して, 丁寧に製品を作る。 ・自分から挨拶, 返事, 報告, 質問をする。 ・分担された作業に責任をもって取り組む。 ・作り上げる, やり遂げる達成感を高める。 ・一定期間の継続した作業や実際の事業所で働くことを通して, 将来の働く生活への関心をもつ。(校内実習, 職場体験) ・自分で目標を選択して設定する。 ・目標に対する自分の取組を教師と一緒に評価し, 次回の目標選択に生かす。 	生単:働く生活Ⅱ (事前事後学習)
16h			
7			
8h	『校内実習』 『職場体験(3年)』	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から挨拶, 返事, 報告, 質問をする。 ・周りの人と協力(依頼・受諾)して作業に取り組む。 ・自分で目標を考えて設定する。 ・目標に対する自分の取組を適切に評価する。 ・販売に必要な準備, 係を自分たちで考える。 ・販売を意識して, 丁寧に製品を扱う。 ・客を意識したやり取りを考える。 ・販売活動を通して, 達成感や働く喜びを味わい, 働くことへの意欲を高める。 ・売上金の使い方(材料購入, 報酬)を知る。 ・報酬でしたいことを話し合っって計画を立て, 周りの人と協力して実行する。 ・働くことへの自信をもつとともに, 次年度の課題を見付ける。 	数学:金銭 学習発表会
9			
16h			
10			
16h	『1年間の反省・まとめをしよう』	<ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓を心掛け, 作業室を清潔に保つ。 ・製品の良否が分かり, 良い物を作る。 ・販売に必要な準備や係を知り, 友達と協力して取り組む。 ・販売活動を通して, 次の販売に向けて必要なことを見付ける。 ・物を作り, 育てることの喜びを味わう。 ●働くことの喜びを知り, 進んで仕事に参加する。 ●分からないときに報告・連絡・相談をする。 ●丁寧さやスピードを意識して作業する。 ●積極的に自分から仕事を探し, 作業する。 ●分担された作業に責任をもって取り組み, 周りの人と協力して作業する。 ●人との関わり方を知る。 ●礼儀を大切にす。 ●一定時間継続して作業のできる体力と気力を身に付ける。 ●自分の得意なこと苦手なことを知る。 ●よりよく働くために必要なことが分かり, 自分の課題を見付け, 課題解決に向けて努力することができる。 	総合:しおかぜ市場を 成功させよう
11			
12h			
12h	『〇〇を作ろう』 『バザーに向けて準備をしよう』	<ul style="list-style-type: none"> ●場面に応じた声の大きさで, 報告・連絡・相談をする。 ●作業の工程全体を理解し, 自分で工夫して作業したり, 他の人と協力したりして作業する。 ●急な作業内容の変更や交代にも対応して作業する。 ●自分の不得意な部分を補おうと努力したり, 得意なことを生かしたりしようとする。 ●よりよく働くために必要なことが分かり, 自分の課題を見付け, 課題解決に向けて努力することができる。 ・自分たちの経験を生かし, 友達と協力して販売活動の準備をする。 ・販売活動を通して物を作り, 育てることの喜びを味わい, 仕事への自信をもつ。 ・販売活動を通して流通について知り, 計画的な消費活動を行う。 ●働くことの大切さや厳しさを知り, 卒業後の生活について自覚をもつ。 	生単:働く生活 (事前事後学習)
1			
12h			
2	『バザーで販売をしよう』	<ul style="list-style-type: none"> ●働くことへの意欲を高める。 ・売上金の使い方(材料購入, 報酬)を知る。 ・報酬でしたいことを話し合っって計画を立て, 周りの人と協力して実行する。 ・働くことへの自信をもつとともに, 次年度の課題を見付ける。 	生単:働く生活 (事前事後学習)
16h			
3			
8h	『1年間の反省・まとめをしよう』	<ul style="list-style-type: none"> ●働くことへの意欲を高める。 ・売上金の使い方(材料購入, 報酬)を知る。 ・報酬でしたいことを話し合っって計画を立て, 周りの人と協力して実行する。 ・働くことへの自信をもつとともに, 次年度の課題を見付ける。 	生単:働く生活 (事前事後学習)
1			
12h			

【作業学習】 高等部 単元一覧

高等部			
月	単元名	目標	教科等との関連
4	『作業学習について知ろう』 『〇〇の作り方を知ろう』	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の目的, 各班の作業内容を知り, 希望の作業班を選ぶ。 ・販売までの主な作業工程を知る。 ●作業に応じた服装をする。 ・様々な製品の作り方や作業の仕方を学ぶ。 ●作業に使う道具, 機械等の名称, 操作の仕方を知り, 安全に正しく扱う。 ・製品の良否が分かる。 ・掃除の仕方や道具の収納の仕方を学ぶ。 ●適切な言葉遣いをする。 ・分担された作業に, 責任をもって取り組む。 ・作業の決まりや指示, 伝達, 注意等を守る。 ●自分で目標を考えて設定する。 ●目標に対する自分の取組を適切に評価する。 ●時間を守る。 ●注意を集中し, 根気強く作業をする。 	生単:働く生活 (事前事後学習)
5			
6			
7	『前期産業現場等における実習』	<ul style="list-style-type: none"> ●働くことへの意欲を高める。 ・売上金の使い方(材料購入, 報酬)を知る。 ・報酬でしたいことを話し合っって計画を立て, 周りの人と協力して実行する。 ・働くことへの自信をもつとともに, 次年度の課題を見付ける。 	生単:働く生活 (事前事後学習)
9			
10			
11	『後期産業現場等における実習』	<ul style="list-style-type: none"> ●働くことへの意欲を高める。 ・売上金の使い方(材料購入, 報酬)を知る。 ・報酬でしたいことを話し合っって計画を立て, 周りの人と協力して実行する。 ・働くことへの自信をもつとともに, 次年度の課題を見付ける。 	生単:働く生活 (事前事後学習)
12			
1			
1	『〇〇を作ろう』 『バザーに向けて準備をしよう』	<ul style="list-style-type: none"> ●働くことへの意欲を高める。 ・売上金の使い方(材料購入, 報酬)を知る。 ・報酬でしたいことを話し合っって計画を立て, 周りの人と協力して実行する。 ・働くことへの自信をもつとともに, 次年度の課題を見付ける。 	生単:働く生活 (事前事後学習)
2			
2			
3	『バザーで販売をしよう』	<ul style="list-style-type: none"> ●働くことへの意欲を高める。 ・売上金の使い方(材料購入, 報酬)を知る。 ・報酬でしたいことを話し合っって計画を立て, 周りの人と協力して実行する。 ・働くことへの自信をもつとともに, 次年度の課題を見付ける。 	生単:働く生活 (事前事後学習)
1			
12h			
2	『1年間の反省・まとめをしよう』	<ul style="list-style-type: none"> ●働くことへの意欲を高める。 ・売上金の使い方(材料購入, 報酬)を知る。 ・報酬でしたいことを話し合っって計画を立て, 周りの人と協力して実行する。 ・働くことへの自信をもつとともに, 次年度の課題を見付ける。 	生単:働く生活 (事前事後学習)
3			
3			

●実習にも関する項目

目標の観点:「挨拶・返事, 報告・連絡・相談」「作業技能」「役割・協力」「販売活動」「目標・評価」

教科・領域を合わせた指導における

指導内容抽出表

教科等を合わせた指導における指導内容

	遊びの指導	日常生活の指導	生活単元学習	作業学習
人とのかわり自己理解・他者理解	遊びを通して友達とかかわる。(小) 友達を自分から誘って遊ぶ(小) 友達とけんかになったとき、謝ったりゆるしたりする。	友達を自分から誘って遊ぶ(小) 友達の発表を聞いて、友達のやりたいことや楽しかったこと・がんばったこと等を知る。(小) 教師や友達とたくさん触れ合い、信頼関係を築く。(小)	遊びを通して友達とかかわる。(小) 友達の発表を聞いて、友達のやりたいことや楽しかったこと・がんばったこと等を知る。(小) 新しい学年や学級の友達や教師について知る。(小) 新しい学級や交流学習で自己紹介をしたり、聞いたりする。(小) どのような遊びがあるかを知り、友達や教師と一緒に遊ぶ。(小) 友達や教師と夏の遊びを楽しむ。(小) ALTとのかかわりをおして、かんたんな英語をつかって楽しむ。(小) 交流会に楽しく参加する。(小) 誕生者を教師や友達と一緒に祝う。(小) 誕生会で、誕生者の誕生日や年齢、好きなもの等を知る。(小) 新しい学部や学年を知り、中学生としての自覚をもつ。(中) 交流学習をおして将来社会に出て必要なコミュニケーション能力を養う。(中) 夏に関する学習をおして夏のくらしを楽しむ。(中) 新しい学部・学級、交流学習にて自己紹介をしたり聞いたりする。(中) 働く生活Ⅱにて現実可能な目標設定やその自己評価をする。(中) 運動会や学習発表会のVTRや写真を見て、自分や友達の良かった所を発表する。(中) 社会見学や職場体験の話し合いで、自分たちが決めたスケジュールに沿ってグループで活動する。(中) 職場体験のビデオを見て、友達の良かった所を発表する。(中) 交流会で他校の友達に自己紹介をしたり一緒に行動したりする。(中) 実習を振り返り、実習先や担任の評価を参考に自分の課題に気付く。(高) 高等部入学や進級をおして、新しい学部の生活や友達について知り、環境に慣れる。(高)	校内実習や職場体験で、自分の仕事をやり遂げる(中) 実習を振り返り、実習先や担任の評価を参考に自分の課題に気付く。(高) 先輩や友達が働く様子を見て自分の進路について考える(高)
人間関係形成能力	友達と同じ場で遊ぶ。 友達と一緒に遊ぶ。	自分の名前を呼ばれたときに言葉やサインで返事したり、友達の名前を呼んだりする。(小) 友達と同じ場で活動する。(小) 集団での学習に参加し、友達や教師と一緒に活動する。(小) 学習道具の準備や片付けを、友達と協力して行う。(小) 学級の係の仕事や給食当番の仕事を全員で分担して取り組む。(高) 友達と一緒に決まりを守って楽しく遊んだりきもちよく片付けたりすることができる。(高)	友達と同じ場で活動する。(小) 集団での学習に参加し、友達や教師と一緒に活動する。(小) 集団で行動するときの約束事を知り、守って活動する。(小) 運動会や学習発表会の練習や準備に友達や教師と一緒に参加する。(小) 運動会で友達と協力しながら会場設営や係の仕事をする。(小) 宿泊学習の係活動や役割分担を知り、みんなで協力する大切さを知る。(小中) 運動会の準備・片付け・係活動をおして友達と協力したり、自分の役割を果たしたりする。(中) 宿泊学習や修学旅行に参加し、集団で行動する。(中) 職場見学や校外学習のグループにて自分の役割を理解、遂行し、他者の指示に従う。(中) 運動会の係活動にて、自分の係の仕事や友達と協力して行う。(中) 学習発表会の準備や練習で自分の役割を果たす。(中) 運動会などで協力して役割を果たす(高)	自分の役割を自覚し、責任をもって最後まで取り組む。(中) 基礎的な栽培過程の知識と技術を養い、道具の使い方を知らるとともに、協力して最後まで働く態度を身に付けることができるようにする。(高関業) 校内清掃や洗車等の計画を立てて友達と協力しながら時間いっぱい清掃することにより、日頃から清潔・清潔に関する知識を持つことができるようにする。(高CS) 他の作業班と協力してお客さんに喜んでもらえるような製品を作ることができる。(高CS) 仕事を分担し、協力して作業するときに必要な態度を身に付けることができるようにする。(高縫製) 担当した作業工程に責任をもち、全員で協力して作業に取り組むことができるようにする。(高木工) 分担の仕事に責任を持つとともに、協力して作業を行うことができるようにする。(高窯業)
意思表示	自分のやりたい遊びや使いたい道具・道具を友達や教師に言葉やサインで伝える。	自分のやりたい遊びや使いたい道具・道具を友達や教師に言葉やサインで伝える。 「おねがい」「いや」「ちよた」などの意思を、言葉やサインで伝える。(小) 朝や帰りの会、合同学習の場で、感想を発表する。(小) 手伝ってほしいときに自分から依頼する。(高) 一日を振り返り、反省することができる。(高)	自分のやりたい遊びや使いたい道具・道具を友達や教師に言葉やサインで伝える。 朝や帰りの会、合同学習の場で、感想を発表する。(小) 各行事で頑張ったことや友達のよかった所を伝える。(中) 自分のやりたいことを自分なりの伝え方で発表する。(小) 日ごとの進路についての考え、質問などを話し、担任と一緒に考えていく。(高) 夏休みの思い出などを相手に分かるように伝える。(高) 新しい学部・学級、交流学習にて自己紹介をする。(中) お楽しみ会にて、自分のやりたいことを発表する。(中) 電話を使用し、必要な要件を相手に伝える。	電話を使用し、必要な要件を相手に伝える。 分からないことは「教えてください」「分かりません」などと相手に伝える。(高)

<p>挨拶・清潔・身だしなみ場に応じた言動</p>	<p>楽しかったことを発表する際、丁寧な言葉遣いをする。</p>	<p>登下校時に、礼をしったりタッチをし、多くの先生に挨拶をする。(小) 肌や下着が見えないように、シャツをズボンに入れる。(小) 朝や帰りの会、授業ではじまり・終わりの挨拶をする。(小) 鏡を見ながら、袖や襟等の衣服の各部を整える。(小) 朝や帰りの会で、教師の話や友達への発表を静かに聞く。(小) 丁寧な言葉遣いで発表・依頼等をする。(小)</p> <p>身近な人にあいさつができる。</p>	<p>校外学習・宿泊学習・修学旅行で挨拶をしたり、お礼を言ったりする。(小) 友達への発表を静かに聞く。(小) 聞いている人のほうを向いて、聞き取りやすい大きさの声で発表する。(小) 作業学習等の見学や校外学習で、丁寧な言葉遣いで質問する。(小) 宿泊学習や修学旅行で自分のことは自分でしようとする態度や習慣を身に付ける。(小) 宿泊学習、修学旅行、校外学習時の食事のマナーや挨拶について学習する。(中) 役割演技の中で「こんなときはどうする?」いろいろな役を演じて考える。(中) 宿泊学習に必要な物品が分かり、自分で準備を行う。(中) 新しい学部・学級、交流学習にて分かりやすい自己紹介をしたり、静かに聞いたりする。(中) 職場見学や校外学習にて、事前に考えた質問を丁寧な言葉で発表したり聞いたりする。(中)</p> <p>卒業後、社会人として身についておくべき技能について学習する。(高) 電話のかけ方やマナーについて知り、正しく用件を伝える。(高) 宿泊学習などでの持ち物準備で、必要な物品を理解し、自分で準備する。(高)</p>	<p>職場体験で職場の先輩や上司の指示を聞いて働く。(中)</p> <p>あいさつや言葉遣い、根気強さなど社会生活に必要な基礎的な力を育成する。(高) <small>校内清掃や先輩等の計画を立てて友達と協力しながら時間いっぱい清掃することにより、日頃から清掃・清潔に関する知識を持つことができるようになる。(高2)</small></p>
<p>様々な情報への関心 情報収集と活用</p>	<p>友達や教師のまねをして遊ぶ。</p>	<p>今日の日程(時間割)を聞き、一日の学習活動への見通しをもつ。(小)</p>	<p>学校探検をし、校内の働く人々を知る。(小) 社会見学に行き、様々な仕事を知る。(小) 校内保健をとおして校内で働く人に興味関心を持つ。(小) クリスマスや年賀状をとおして年のくれの雰囲気や生活に関心をもつ。(小) 季節のちがいを感じながら過ごす。(小) 中学部や高等部の作業学習のようすを見学したり、話を聞いたりする。(小) 身近な人や校内・校外で働く大人のようすを見学したり、話を聞いたりする。(小) 職場見学や修学旅行で働く人にインタビューをする。(中) 職場体験先の仕事について、図書館の本やインターネット等を利用して調べる。(中) 社会に出て働いている特別支援学校の先輩の話を知る。(中) 年末から年始にかけての行事や慣習に関心を持ち、積極的に参加する。(中) 自分の家族や町の中、校内にてどのような仕事があるか調べる。(中) 校外学習で目的地のことについて調べる。(高) 実習先のことを調べ、事前の準備や活動内容の確認をする。(高) 奄美や日本、世界についてインターネットや書籍等を活用して調べる。(高)</p>	
<p>社会資源の活用とマナー法や制度の活用</p>	<p>簡単なルールのある遊びをする。(小) <small>自分のやりたい遊びや使いたい道具・道具を友達や教師に言葉やサインで伝える。(小)</small> 約束事を守って遊ぶ。(小)</p>	<p>簡単なルールのある遊びをする。(小) 約束事を守って遊ぶ。(小) 校外学習に参加する。(小) 順番を守って給食の配膳、後片付けをする。(小) 交通ルールやマナーを守って登下校をする。(小) 給食で食事のマナーを守って食べる。</p> <p>時間割に沿って行動する。(中)</p> <p>高等部の生徒心得を守り、規範意識をもつ。(高) <small>友達から悪口を言われたり、悩んだりしているときに相手に伝えたり、相談したりする。(高)</small></p>	<p>簡単なルールのある遊びをする。(小)</p> <p>一日遠足について知る。(小) 校外学習の事前学習の約束事を知る。(小) 校外学習の事後学習で約束事を守れたかを確認する。(小) 校外学習・宿泊学習・修学旅行で公共施設や公共交通機関を利用する。(小) 交通ルール・公共の場でのマナー・食事のマナーを知り、守って活動する。(小)</p> <p>路線バスを利用して、買い物や食事に出かける。(中) 職場体験で路線バスや介護タクシーを利用して通勤する。(中) 施設を利用する際に電話で確認をしたり、予約をしたりする。(中) 図書館で本を借りる。(中) 調べ学習や実際の利用をとおして、公共施設や交通機関での望ましい態度を身に付ける。(中) 修学旅行にて、航空機や電車、路面電車、タクシーなどさまざまな交通機関を利用する。(中)</p> <p>友だちから悪口を言われたり、悩んだりしているときに相手に伝えたり、相談したりする。(高) 実習や校外学習で療育手帳を活用して実際に路線バスを利用して実習先を訪問する。(高)</p> <p>実習の反省会で実習先や関係の方々から話を聞く。(高)</p>	<p>実習や校外学習で療育手帳を活用して実際に路線バスを利用して実習先を訪問する。(高) 校内実習のきまりを守り、自ら進んで働くことができるようにする。(高)</p>
<p>情報活用能力</p>			<p>遠足のおやつや調理学習の買い出しをする。(小) お金の種類や計算、計算機の使い方を学習する。お釣りやレシートをもらう。(小) 買い物の仕方を知り、自分で、または教師と一緒に買い物ができる。(小) 社会見学や校外学習で決められた予算の中で食事や買い物の計画を立てる。(中) 作ったものを販売し、お金を受け取る。(中)</p>	<p>作ったものを販売し、お金を受け取る。(中)</p>

<p>金銭の扱いや金銭の使い方と管理消費生活の理解</p>			<p>校外学習や修学旅行などでお小遣い帳をつける。(中) 実習反省会のボーナス券をおかしや校外学習の小遣い(貯金)に交換する。(中)</p> <p>校外学習で与えられた予算の中から食事や買い物の計画を立てる。(高) 修学旅行で計画的な買い物をする。(高)</p>	<p>バザーの売上金の一部を反省会の経費として買い物に出掛ける。(中) バザーの売上から校外学習費をもらう(高) 利益の計算をする。(しおかぜ市場、バザー)(高)</p>
<p>はたらくよこご役割の理解と働くことの意味</p>		<p>自分の係の仕事や役割を知り、意欲的に取り組む。(小)</p> <p>学級の係や掃除、委員会活動に取り組む。(中)</p> <p>学級での与えられた仕事や掃除、配膳の分担を確実に行う。(高)</p>	<p>農圃の草取り、苗植え、収穫をする。(小) 調理学習をする。(小) 作業学習見学をとおして働くことへの興味関心をもつ(小) 野菜や植物を育て成長の様子を観察したり世話をする大切さを味わったりする。(小) 運動会・交流会・なかよしタイム・誕生会で、係の仕事や自分の役割を知り、最後まで取り組む。(小) 働く生活や人々について調べる。 職場見学で働く人の話を聞く。(中) 職場体験で働く体験をする。(中) 地域の清掃活動に出掛ける。(中) 調べ学習や見学をとおして働くことの意味や将来の仕事への興味関心を持つ。(中) 校内・校外実習の準備や反省をとおして働く上で必要な知識や技術・態度を身に付ける。(中) 職場見学や校外学習のグループにて自分の役割を理解、遂行する。(中)</p> <p>学級での与えられた仕事や掃除、配膳の分担を確実に行う。(高) 様々な職業を知り、自分の生活と結び付けることでその仕事の意義を知る。(高) 事前実習やがんばろう会、反省会に参加する。(高)</p>	<p>作業で自分の仕事を理解し、友達と協力しながら実行する。(中)</p> <p>作業で自分に与えられた仕事を理解して、責任を持って実行する。(高) 基礎的な職場過程の知識と技術を身に付け、見通しをもって喜んで働く態度や自分の役割に責任を持って最後までやり遂げる態度を身に付けることができるようになる。(基礎) 清掃の基本的な手順が分かり、根気強く最後まで意欲を持って続けることができるようになる。(高CS) 自分に分担された作業を、最後までやり遂げようとする態度を身に付けることができるようになる。(高縫製) 製品の仕上りの確認を行うことにより、目的を持って意欲的に作業に取り組む姿勢を身に付けることができるようになる。(高木工) 成形の作業に必要な知識と技能を身に付け、製作の喜びと作業への意欲や自信を持つことができるようになる。(高窯業) 作業で自分に与えられた仕事を理解して、責任をもって実行する。(高)</p>
<p>習慣形成</p>	<p>順番を守って遊具を使う。(小) 自分の使った遊具や道具を片付ける。(小) 安全に気をつけて遊ぶ。(小)</p> <p>朝、掃りのあいさつをする(小) 給食前に手洗い、排せつを済ませ、エプロンを着ける。(小) 給食の配膳、下膳をする。(小) 言葉掛け、カード等での支援を受けて係活動、清掃活動をする。(小) 朝の会で日付天気調べをし、発表する。(小) チャイムやタイマーが鳴る前に食事着替えを終わらせることができる。(小) 朝や掃りの支度、更衣をする。(小) 着席して朝や掃りの会、授業に参加する。(小) 学習道具の準備や片付け、整理整頓をする。(小) うがい、手洗い、排せつ、歯磨きをする。(小) 給食でスプーンや箸を正しく使って食べる。(小) ほうきや雑巾等の道具を正しく使って掃除をする。(小) 相手の顔を見て元氣な挨拶をする。(中) 時間割と時計を見て行動し、遅れたときは報告する。(中) 身の回りを整理整頓する習慣をつけ、清掃活動に取り組む。(中)</p> <p>登校時に立ち止まって相手を見て朝の挨拶をする。(高) 授業や作業学習に遅れないように教室移動をする。遅れたときは報告する。(高) 毎朝の検温で自分の体調を把握したり、体調が悪いときは報告したりする。(高) 自分に必要な体力を蓄積して、体力つりや筋力運動などに取り組む。(高)</p>	<p>順番を守って遊具を使う。(小) 自分の使った遊具や道具を片付ける。(小) 安全に気をつけて遊ぶ。(小)</p> <p>調理実習を通して、調理器具の使い方や調理の方法を学ぶ。(中) 校外学習、職場体験、修学旅行を通して、公共交通機関の利用について学ぶ。(中) 異学部、異学年でもグループ活動(運動会係活動や校外学習)を通して、丁寧な言葉遣いなどを実践する。(中)</p> <p>健康状態を整え安全に学習に参加する(職場見学、宿泊学習、修学旅行)。(高) 時間を意識して与えられた仕事や作業を終わらせる。(高)</p>	<p>身の回りを生理整頓する習慣をつけ、清掃活動に取り組む。(中)</p> <p>校内実習に合わせた生活リズムを身に付けることができるようになる。(高) 材料・道具・製品を大事に扱うことができるようになる。(高木工)</p> <p>時間を意識して与えられた仕事や作業を終わらせる。(高)</p>	
<p>夢や希望</p>	<p>自分の好きな遊びを見つける。(小)</p>	<p>自分の好きな遊びや、やりたい活動・係の仕事を見つける。(小)</p>	<p>自分の好きな遊びや、やりたい活動・係の仕事を見つける。(小) 「バスごっこ」や「レストランごっこ」などを通して、様々な職業を体験する。(小) 作業学習体験に参加する。(小) 思い出を振り返り進級や卒業することへの意識をもつことができる。(小) 職場体験で自分の興味のある職場を体験することにより、将来の目標ややりたいことを見付ける。(中) 職場見学や校外学習等で卒業生の話を聞いたり、実際に働いている様子を見たりする。(中) 1年間の行事や学習を振り返り、自分の成長に気付き、進級や卒業に対する自己評価をもつ。(中) 実習などで就業体験や入所生活を体験することにより、将来の生活の場について考える。(高)</p>	<p>実習などで就業体験や入所生活を体験することにより、将来の生活の場について考える。(高)</p>

			自分の将来や夢について考えていることを発表する。(高) 実習や校外学習等で卒業生の話を聞くことで身近な将来について考える。(高)	実習や校外学習等で卒業生の話を聞くことで身近な将来について考える。(高)
やりがい生きがい・やりがい	好きな遊びや運動を見つける。(小) 絵本の読み聞かせを聞く。(小) できなかった運動(縄跳び、鉄棒、水泳など)や遊びの練習する。(小)	好きな遊びや運動を見つける。(小) 自分の好きな遊びや、やりたい活動を見つける。(小) 毎日の係活動をする。(小) 朝や帰りの会、合同学習の場で、感想やできたことを発表する。(小) 絵本の読み聞かせを聞く。(小) できなかった運動(縄跳び、鉄棒、水泳など)や遊びの練習する。(小) 休み時間に自分の興味のある様々な活動(運動、読書、音楽等)に取り組み。(中) 昼休み時間に自分の興味のある活動に取り組み、上達や趣味のレベルの格差につなげる。(高)	自分の好きな遊びや、やりたい活動を見つける。(小) 朝や帰りの会、合同学習の場で、感想やできたことを発表する。(小) 絵本の読み聞かせを聞く。(小) 学習発表会の練習や発表をとおして、表現する楽しさを味わう。(小) 製品をバザーで販売し、製作した物を売る喜びとお客さんに喜んでもらえるやりがいを知る。(中) 自分たちで企画したお楽しみ会を実施し、楽しむ。(中) 校外学習や修学旅行で自分の買いたい物、行きたい場所、やりたいことなどを決め、これまでの学習の実践をする。(中) 発表する喜びや楽しさを味わう。(中) 身体表現や音楽の楽しさを感じながら発表会に参加する。(高) 学習発表会で練習した成果を発表し、賞賛を受けることで達成感を味わう。(高)	製品をバザーで販売し、製作したものを売る喜びとお客さんに喜んでもらえるやりがいを知る。(中) 製品作りを通して、もの作りの楽しさを知る。(中) 作業学習で作った製品をバザーで販売して自分たちの作品の有用性を知る(高) 作業学習による製品の販売活動をおして、作業学習への意欲をさらに高めるとともに成就感を味わうことができるようにする。(高) 製品作りやスポーツ等で回数を重ねることで技能が上達する。(高)
進路計画		職場体験を通して、働くために必要な力、自分の課題やできることを考えることができる。(中)	職場体験を通して働くために必要な力、自分の課題やできることを考えることができる。(中) 校内実習や高等部体験で高等部生や高等部の先生の話や聞くことで、自分の進路について考える。(中) 事業所や施設の見学をとおして、卒業後の進路を意識した将来設計に結びつく進路計画を主体的に立てる。(高) オリエンテーションで学校生活や各行事等について見通しをもつ。(高) 実習などで卒業した先輩の姿を見て将来の自分のことと合わせて考える(高) 実習反省会などで自分の自立に向けた課題を確認する。(高) 自分のライフプランから今の自分の位置を知る。(高)	実習などで卒業した先輩の姿を見て将来の自分のことと合わせて考える(高) 実習反省会などで自分の自立に向けた課題を確認する。(高) 卒業後の進路について見通しがもてるようにする。(高)
目標設定		自分の役割や係の仕事などを最後まで取り組もうとする態度を育てる。(小) 一日の始まりを意識し、学校生活のめあてや見通しを持つことができる。(高)	自分の役割や係の仕事などを最後まで取り組もうとする態度を育てる。(小) 新しい学年・学期、運動会・学習発表会等での目標を決める。(小) 運動会、学習発表会、校外学習、校内実習、職場体験、修学旅行、宿泊学習、交流学習等の現実可能な目標を立てる。(中) 新しい学部、学年、学期にて1年間や学期の目標を立てる。(中) これまでの作業学習や前回の実習の課題を踏まえた実習の目標を立て、達成できるように取り組む。(高) 〇年後の自分がどうなっているか、どうなっていたいかを考える。(高)	校内実習、職場体験の目標を自分で三項立てる。(中) 校内実習では目標数に向けて製品を作る。(中) 各学期の学習計画について知り、目標を立てる。(高) 毎時間、毎学期の自分の作業目標や目標数を決め、達成できるように取り組む。(高) これまでの作業学習や前回の実習の課題を踏まえた実習の目標を立て、達成できるように取り組む。(高)
意思決定能力	自己選択自己選択(決定・責任)	自分の遊びたいものを選びながら、時間いっぱい遊ぶ。(小)	自分の好きな遊びややりたい活動を選択する。(小) 自分の使いたい道具や行きたい場所などをサインやカードで選択しながら活動に取り組む。(小) 自分の委員会活動や係活動を選択する。(小) 校外学習や修学旅行で、自分の買いたいもの、行きたい場所、やりたいこと等を決める。(小) 修学旅行の自主学習日「わくわく鹿児島デー」では複数ある見学コースから1つ選択することができる。(中) 校外学習や修学旅行で自分の買いたい物、行きたい場所、やりたいことなどを決める。(中) お楽しみ会等で自分たちのやりたいことを話し合い、決定する。(中) 自分の掃除場所や委員会活動、係活動を選択する。(中)	各作業班の活動を見学し、希望する班を決める。(高) 実習を通して得た経験や自信を基に、保護者や担任と相談を重ね、自分の進路について最終的に選択・決定する。(高)
	振り返り肯定的な自己評価	楽しかったことや頑張ったことを友達や教師の前で自分なりの伝え方で発表する。(小)	楽しかったことや頑張ったことを友達や教師の前で自分なりの伝え方で発表する。(小) 運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習・修学旅行等の写真、ビデオなどを友達や教師と一緒に見ながら振り返る。(小) 行事の事後学習で頑張ったことの反省をし、来年への目標を発表する。(中) 運動会、学習発表会、校外学習、校内実習、職場体験、修学旅行、宿泊学習、交流学習等の目標に対する評価について、その判断理由を明らかにしながら行う。(中) 運動会、学習発表会、校外学習、校内実習、職場体験、修学旅行、宿泊学習、交流学習等の評価から、今後の生活や授業等で頑張りたいことを考える。(中) 実習を通して見付かった課題をどうやって克服していくか考え、目標設定し、取り組んでいく。(高) 学期ごとの振り返りをおして反省し、反省を生かして次の学期の目標を立てる。(高) お別れ会、お別れ遠足での発表をとおして思い出を振り返る。(高)	校内実習及び職場体験の反省会で実習を振り返り、自分で立てた目標を評価する。(中) 実習を通して見付かった課題をどうやって克服していくか考え、目標設定し、取り組んでいく。(高) 毎時間、自分で立てた作業目標について評価し、発表する。(高) 各学期の学習を振り返ることを通して、働くことへの自信を深める。(高)
	自己調整		お楽しみ会や校外学習でのグループ学習において、やること、行く場所等を話し合いや多数決を通して絞り込む。(中) 公民館や交通機関、交通や食事(レストラン)のルールやマナーについて、分かりやすい説明から正しいものを選び、なぜそれなら正しいのかという理由を述べたりする。(中) 卒業後の生活において想定されるトラブルやその対処方法を知る。(高) 社会人になってからの友達や職場の人の付き合い方、男女交際について考え、円滑な人間関係を学ぶ。(高)	

社会性の 発達について

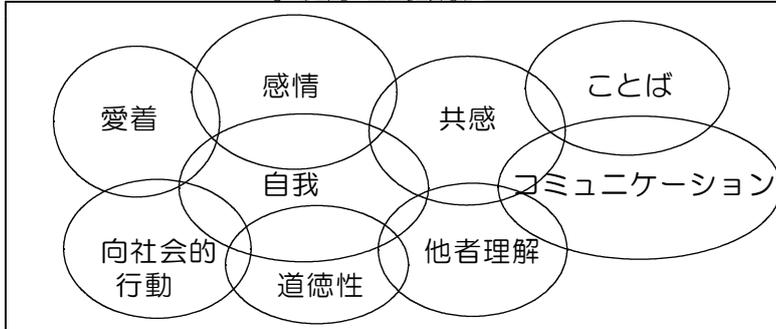
社会性の発達について

【社会性とは】

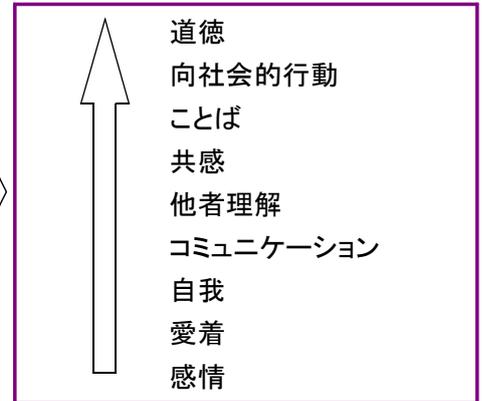
社会集団の中にあるルール，規範，常識，暗黙の了解などをうまく把握し，その社会集団の中で良好な関係性を保ちながら社会のために何らかの役割を果たす力

自己実現

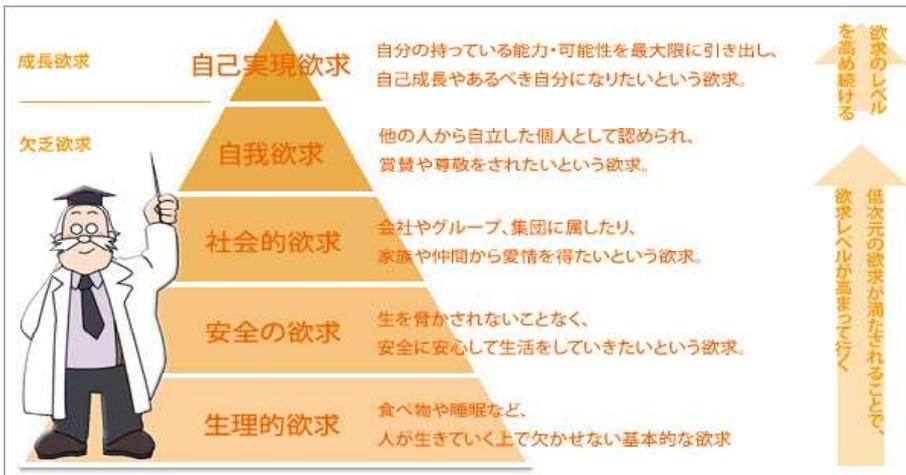
「社会性の要素」



※ たくさんの要素が複合的に関係し積み重なっている。

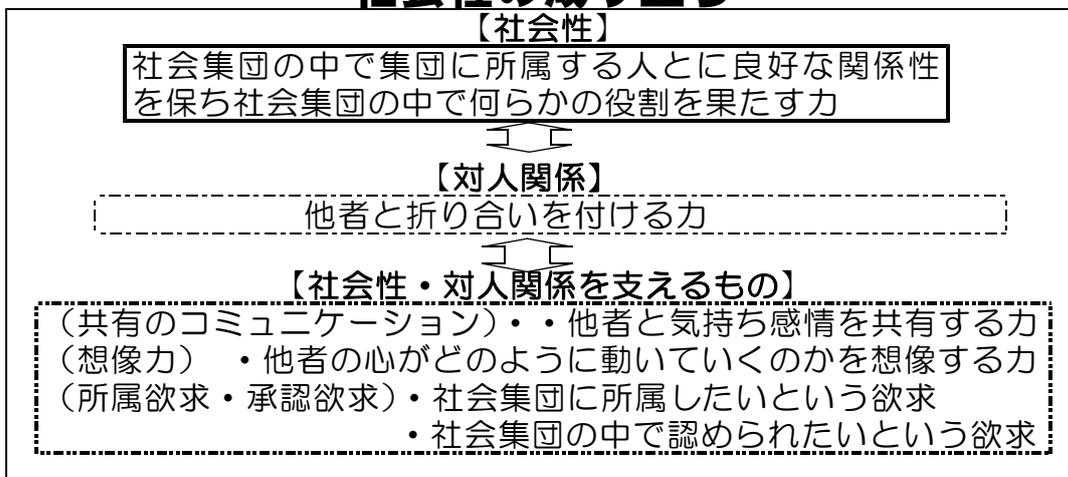


マズローの自己実現理論



「人間は自己実現に向かつて絶えず成長する生き物である」**アブラハム・マズロー**
 「生理的欲求」が満たされると「安全の欲求」があらわれるというように，低次の欲求が満たされないとい次のステップには進めない。

社会性の成り立ち



参考文献：「子どものパーソナリティと社会性の発達」宮下一博編著 北大路書房 2000
 「子どもの社会的発達」井上健治 久保ゆかり編 東京大学出版会 1997
 「子どもの社会性の発達と保育の本 (0歳～6歳)」湯汲英史 学研教育出版 2015
 「新版 S-M 社会生活能力検査」日本心理適性研究所 日本文化科学社 1980

社会性の発達段階表

	自立	ことば	感情・共感	愛着	自我	他者理解・意識
0歳		<ul style="list-style-type: none"> あやすと微笑む。 喃語が盛んになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感情の基本は「快-不快」 	<ul style="list-style-type: none"> 人見知り、8ヶ月不安が見られる。 共同注視が見られる。 「自分」の発見 不快を泣いて表す あやすと微笑む 基本的信頼関係の形成 		<ul style="list-style-type: none"> 知らない人をじっと見つめる。
1歳	<ul style="list-style-type: none"> 見立て（象徴化）の発生 なぐりがき（円錯画）をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「これ何？」「だれ？」に答えられるようになる。 繰り返しことばが言えるようになりそのことばで表されたものがわかる。 ものに名前があることを知り、物の名前をさかんに聞く。 見立て（象徴化）の発生 1語文 使える言葉が増え2歳近くで300くらいになる。 名詞、動詞、形容詞が使えるようになり2語文が使えるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感情的参照行動が始まる。 自己主張が始まる。 感情の分化が始まる。 社会的参照行動が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的参照行動が始まる。 「いっしょに」を使い始める。 感情の分化が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者を意識し始める。 「ほしい」という気持ちが高まる。 思い通りにしたい気持ちが強まる。 「自分の」という意識をもつ。 自分の意思を表現するようになる。 「自分で」という意識をもつ。 「いや」が多くなる。 物の取り合いが多くなる。 	
2歳	<ul style="list-style-type: none"> 相対的な見方ができ始める。 反対語の理解が始まる。 反対類推力がついてくる。 平行あそびが見られる。 縦線、横線をかく。 	<ul style="list-style-type: none"> 「こどこ？」に答えられるようになる。 「なんで？」と質問するようになる。 1語文はほとんど見られなくなる。 動詞、形容詞の数が増える。 3つのことばを結びつけた文（3語文）が言えるようになる。 動詞の語尾変化によって過去、現在、未来の区別ができる。 語順を考えないで、思いつくままにことばを並べた話し方をする。「てにをは」などの助詞の入ったことばが使えるようになる。 3歳近くで平均800~1000のことばを覚えている。 報告確認のことばが出始める 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的承認欲求が芽生える。 ことばで気持ちを表し始める（社会化の始まり）。 喜怒哀楽がはっきりしてくる。 社会的感情が芽生える。 平行あそびがみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的承認欲求が芽生える。 自分の分離が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「できた」と報告する。 相対的な見方ができ始める。 「はんぶんこ」がわかる。 ことばで気持ちを表し始める（社会化の始まり）。 「なんで？」と質問するようになる。 反対語の理解が始まる。 反対類推力がついてくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自他の分離が始まる。 おとなの言うことをよく聞いて、すぐまねをする。聞きかじったことを誤用する場合も多い。 「できた」と報告する。

	自立	ことば	感情・共感	愛着	自我	他者理解・意識
		<ul style="list-style-type: none"> ・反対類推力がついてくる。 ・見立てを言語化するようになる。 ・平行あそびが見られる。 ・体験絵本への関心が高まる。 				
3歳	<ul style="list-style-type: none"> ・閉じた丸をかく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的承認欲求が高まる・少人数であそび（協同あそび）。 ・「いつ？」がわかり始める。 ・「どうやって？」に答えられるようになる。 ・ままごと（役割あそび）を始める。 ・「ドガ加イカ、ミヨム」のようになりかなり複雑な文が話せるようになる。 ・ことばの増加量はこの時期がもっとも多い。 ・4歳近くで、1,500 くらいのことばを覚えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「寂しい」を使い始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「好き」という気持ちが高まる。 ・大人の役割に気づき始める（決定権の理解も含む）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・順番を意識し始める。 ・思いだす、振り返るようになる。 ・好きなもの、したいことへの主張が強くなる。 ・並ぶことができ始める（列はぐちゃぐちゃ）。 ・「あげるーもらう」がわかるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじわるの発生 ・大人の役割に気づき始める（決定権の理解も含む）。 ・仲間の発見。 ・「(自分も)入れて」と言うようになる。
4歳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得手不得手がわかってくる。 ・順序数がわかり始める。 ・全能感・挑戦意欲が高まる ・頭足人をかく。 ・四角をかく。 ・集団であそぶようになる。 ・子ども同士で話し合いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の嫌がること、汚いことばを使うことがある。 ・理由をつけて主張するようになる。 ・アニメや空想の世界に熱中する。 ・お姫様ごっこ、ヒーローごっこから劇遊びを楽しむようになる。 ・大変おしゃべりになる。このころのおしゃべりは一種のあそび。「なぜ」「どうして」という質問が多くなる。 ・各品詞がさかんに使われ、話しことばが一応完成する。 ・「ホク」「ワタ」という主語をさかんに使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得手不得手がわかってくる。 ・「つらい」「悔しい」気持ちが出てくる。 ・努力を評価してほしいがる。 ・集団であそぶようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の内面（感情）に気づき始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由をつけて主張するようになる。 ・あきらめられるようになってくる。 ・「～かもしれない」と思い始める。 ・「勝ちたい」気持ちが強まる。 ・順序数がわかり始める。 ・集団であそぶようになる。 ・全能感、挑戦意欲が高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の評価を気にし始める。 ・あこがれの発生。 ・人の嫌がること、汚いことばを使うことがある。 ・集団であそぶようになる。
5歳	<ul style="list-style-type: none"> ・練習に励むようになる。 ・三角（斜線）をかく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大部分の子どもが正しい発音ができるようになる。 ・自然物や動植物に関することばが増える。 ・目的にあった問い方、答え方ができるようになる。 ・先生から家への伝言をきちんと伝えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感情コントロール力をつけ始める。 ・うそをつくことがある。 ・「恥ずかしい」という気持ちが出てくる。 ・恐怖心が表れる。 ・（失敗しないように）備えるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・じゃんけんを理解し始める。 ・ルールを理解、ルールを守ろうとする。 ・仲間意識、帰属意識が芽生える。 ・自他の能力の違いに気づく。 ・（失敗しないように）備えるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の能力の違いに気づく。 ・仲間意識・帰属意識が芽生える。 ・「恥ずかしい」という気持ちが出てくる。 ・あこがれに近づきたいと思いはじめ始める。 ・あこがれに近づきたいと思いはじめ始める。

	自立	ことば	感情・共感	愛着	自我	他者理解・意識
6歳	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳や一般的知識で判断できるようになる。 ・見通す力、段取る力がつき始める。 ・「教えたい」気持ちが芽生える。 ・読み、書き、計算への興味が芽生える。 ・ひし形をかく。 ・小額の買物ならさしず通りに買ってこられる。 ・1時間くらいならひとりでも留守番できる。 ・決められた時間になれば自分で寝ようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前、年齢、誕生日、住所、電話番号、幼稚園、両親、季節のことなど「はい、～です、ます」と質問に答える。 ・ひらがなの読み書きができる。 ・同頭語、同尾語集め、ルールのあるしりとりができる。 ・自分の名前が正しく書ける。 ・自分の意思を、文章になった言葉で表現できる。 ・絵本や紙芝居に興味を持ち、集中して見る。 ・やさしい本を自分で読んで理解できる。 ・4枚の絵を見て、お話を創作できる。 ・絵を見て、擬声語や擬態語で表現できる。(水の出方など…ジャー、ボタンボタンなど) ・反対語が理解できる。(明るい⇔暗い、上⇔下、あげる⇔もらう、閉じる⇔開くなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・不安を共有しようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・練習に励むようになる。 ・セクシュアル、アイデンティティーの確立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の目を意識してきれいに並ぼうとする(列をつめたり、まっすぐにしたり)。 ・ドッジボール、陣取りなど簡単なルールの集団遊びに参加できる。 ・地域の行事や催しに親が付き添わなくても子ども同士で参加できる。 ・相手の目を見て話すこと、聞くことができる。
7歳	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて自分で電話をかけられる。 ・必要に応じて要件やメモできる。 ・友達へ自分から年賀状を書き、宛名を書いて出すことができる。 ・本などを買うとき、自分で適当な物が選べる。 ・時間にあわせて計画的に行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事柄について簡単な文章(日記、作文など)を書くことができる。 ・学級会で自分の意見が述べられる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・人の家に行ったら行儀よくしてられる。 ・将棋、トランプなど複雑なルールの遊びができる。 ・学級会で自分の意見が述べられる。 ・学校や地域のクラブ活動などにメンバーとして参加できる。 	
8歳		<ul style="list-style-type: none"> ・目上の人には丁寧なことばを使える。 				<ul style="list-style-type: none"> ・目上の人には丁寧なことばを使える。
9歳	<ul style="list-style-type: none"> ・注意されなくても人の話や説明を終わりまで静かに聞くことができる。 ・年下の子ども世話や子守りなどを安心してまかせられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない言葉や表現を辞書で調べることができる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・幼児や老人をいたわることができる。 ・注意されなくても人の話や説明を終わりまで静かに聞くことができる。 ・相手の立場や気持ちを考え、困ることや、無理な要求を 	<ul style="list-style-type: none"> ・年下の子ども世話や子守りなどを安心してまかせられる。

	自立	ことば	感情・共感	愛着	自我	他者理解・意識
	<ul style="list-style-type: none"> 計画的にこづかいを貯めてものを買うことができる。 				<ul style="list-style-type: none"> しない。 野球（ソフトボール）、バスケットボール、サッカーなどをルールに従ってできる。 学校全体の役割（児童会の委員など）ができる。 	
10歳～	<ul style="list-style-type: none"> 新聞の記事や小説等を読んで理解できる。 テレビのニュースや時事に関心をもつ。 一度にたくさんのかづかいを持たせてもむだづかいしない。 病気にかからないように自制することができる。 言われなくても自分で計画をたてて勉強をする。 大人の指導者がいなくても、グループで会合やハイキング、スポーツなどの計画をたてて実行することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場を考えて話すことができる。 新聞の記事や小説等を読んで理解できる。 敬語を正しく使い分けられる。 			<ul style="list-style-type: none"> 日常接している学校や地域 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場を考えて話すことと友達以外の人間関係にも関心を持つ。 相手の立場を考えて話すことができる。

〈引用文献〉

- 『子どものパーソナリティと社会性の発達』 宮下一博著 北大路書房 2000
- 『子どもの社会的発達』 井上健治 久保ゆかり著 東京大学出版会 1997
- 『子どもの社会性の発達と保育の本（0～6歳）』 湯汲英史 学研教育出版 2015
- 『新版S-M社会生活能力検査』 日本心理適性研究所 日本文化学社 1980

コミュニケーションの 発達について

コミュニケーションの発達について

【コミュニケーションとは】

本研究にあたり、「コミュニケーション」とその特性について、以下のように整理して捉えることとした。

1 「コミュニケーション」の全般的な捉え

「コミュニケーション」という言葉を用いるとき、人によってその概念が微妙に異なることがしばしばある。そこで本研究においては「コミュニケーション」を以下のように捉え、研究のベースとした。

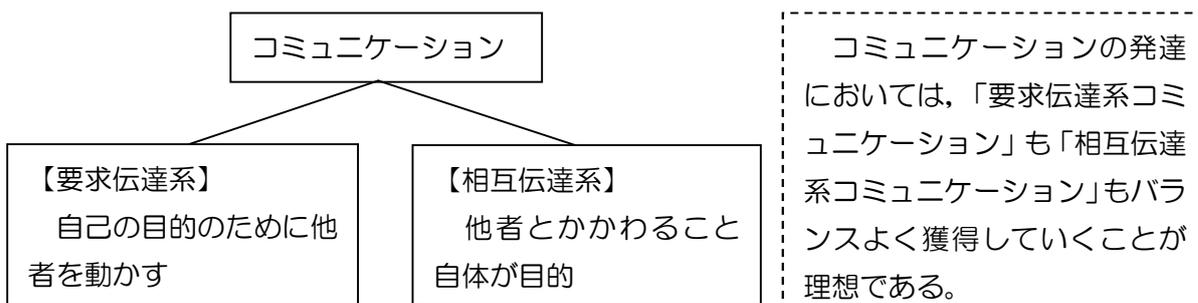
「コミュニケーションとは、ことばあるいは他のさまざまな手段による人間相互の交流と理解のプロセスである。それは、話し手と聞き手の間に交わされる伝達のプロセスを含むものである。」

※引用『実践インリアルアプローチ事例集 豊かなコミュニケーションのために』
監修：竹田契一 著：里見恵子 河内清美 石井喜代香

2 コミュニケーションの四つの段階

- (1) 聞き手効果段階…生後すぐから10か月頃まで。意図は聞き手によって解釈される。
- (2) 意図的伝達段階…10か月～1歳頃に始まる。意図を行為で伝えられるようになる。
- (3) 命題伝達段階…1歳～1歳4か月頃に始まる。ことばで伝えられるようになる。
- (4) 文と会話段階…1歳半～2歳頃に始まる。文での表現が始まり、3歳頃から大人の会話スタイルに近づく。

3 コミュニケーションの二重性



4 コミュニケーションの六つの機能

感情表出	物事の好き嫌いや自分の感情、または「Yes/No」等、気持ちを表出する機能
発信行動	必要な事柄を相手に伝えたり、経験したことを表現したりする機能
受容行動	相手の表出（言葉等）を受け止める機能
拒否・要求行動	いらぬものや欲しいもの等について、言葉や態度で表す機能
基礎理解・行動	人や物の名前が分かる、指示を理解する等の機能
あいさつ	非言語的なものを含めて、挨拶をする機能

コミュニケーションの発達段階表

年齢一月	感情表出	発信行動	受容行動	拒否・要求行動	基礎理解・行動	あいさつ	
0歳	0	<ul style="list-style-type: none"> 泣いているときに抱き上げるとしずまる。 あやすと泣きやむ。 					
	1	<ul style="list-style-type: none"> あやすと泣きやむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 話すように声を出す。 物・顔などをじっと見つめる。 そばに居てもらいたいかのよう泣くことがある。離れると泣く。 人に注目されたくて泣く。 身体の動きを止めて、特定の人の顔を数秒見続けることができる。 			<ul style="list-style-type: none"> そばに居てもらいたいかのよう泣くことがある。離れると泣く。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の動きを止めて、特定の人の顔を数秒見続けることができる。
	2	<ul style="list-style-type: none"> あやすと顔を見て笑う。 あやすと泣きやむが、人が離れると泣く。 不快を表わす表情・行動をすることができる。 話しかけると声をあげて笑う。 				<ul style="list-style-type: none"> あやすと顔を見て笑う。 あやすと泣きやむが、人が離れると泣く。 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> 気に入らないときは、むずかかって怒る。 伝達性の感じられる行動・表情をすることができる。 特定の人に何らかの働きかけをすることができる。 親しい人が近づくと喜ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の人目を見ることが出来る(アイコンタクト)。 特定の人身体動作と呼応した動作が見られる。 人のいる方向を見ることが出来る。 人の顔を見て、声を出してお話する。 伝達性の感じられる行動・表情をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 働きかけに回答することができる。 特定の人働きかけを受けて応えるような反応をすることができる。 声などが終わるまで全身の動きを止めて聞くことができる。 特定の人働きかけ(イントネーション、身振り、表情の変化)に反応することができる。 特定の人声のする方向を見ることが出来る。 		<ul style="list-style-type: none"> 特定の人との関わりをもつことに興味・関心がある。 特定の人との関わりを維持することに興味・関心がある。 特定の人身体動作と呼応した動作が見られる。 特定の人や物を10秒以上見続けることができる。 特定の人が見ている物を見ることが出来る。 特定の人声のする方向を見ることが出来る。 母親の声を聞き分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の人目を見ることが出来る(アイコンタクト)。
	4	<ul style="list-style-type: none"> 「イナイナイバア」をあやしてするとキャッキョッと笑う。 	<ul style="list-style-type: none"> 人に向かって声を出す。 人を見ると笑いかける。 			<ul style="list-style-type: none"> 父親と母親を見分けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人に向かって声を出す。 人を見ると笑いかける。
5	<ul style="list-style-type: none"> あやすとキャッキョッと笑う。 不快な感情を声で表わす(むずかり、ぐずり泣き)。 	<ul style="list-style-type: none"> 物がほしいとき、特定の人を見る。 喃語を言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の人意図的な働きかけに対して、身振りや発声で回答することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物がほしいとき、特定の人の方を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の人反応に興味・関心がある。 近くの人行っていることを見続けることができる。 		

	感情表出	発信行動	受容行動	拒否・要求行動	基礎理解・行動	あいさつ
	<ul style="list-style-type: none"> 手にしたものを取り上げようとすると、しっかり握って「うーん」と声を出して怒る。 	<ul style="list-style-type: none"> 意図性のある身振り・表情をすることができる。 意図性のある発声をすることができる。 特定の人への伝達的な働きかけに対し、伝達の意味を理解したかのように反応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の人への伝達的な働きかけに対し、伝達の意味を理解したかのように反応することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 目の前で動いた物、人を注視することができる。 問題を解決する特定の人への存在に気付く。 遊びが途切れたとき、失敗したときなどの特定の人への存在や表情に興味・関心がある。 特定の人が30cm離れたところにある物を指差すとそちらを見ることが出来る。 働きかけたときの特定の人への反応に興味・関心がある。 	
6			<ul style="list-style-type: none"> 「禁止」など親の話し方で感情を聞き分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 母親が手をさしのべると喜んで自分から体を乗り出す。 人見知りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 親しみと怒った顔が分かる。 母親と他の人の区別がつく。 知らない人をじっと見つめて表情が変わる。 人見知りをする。 	
7	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃをとられると不快を示す。 欲しいものが得られないと怒る。 			<ul style="list-style-type: none"> 要求があるとき、声を出して大人の注意をひく。 顔を拭くと、嫌がって顔を背けたり手で払いのけたりする。 		
8	<ul style="list-style-type: none"> テレビで人の顔が大写しになると笑いかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 「視線」+「発声」+「身振り」のうち二つ以上を複合して意図を伝えることができる。 特定の人を見ながら「身振り」や発声で意図を伝えようとする。 身振りやサインが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の人への意図的な「身振り」や「ことば」での働きかけに対し、その意図と合致した反応をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> よく抱いてくれる人を見ると自分から体を乗り出して抱いてもらいたがる。 眠くないときに自分の布団に寝かされそうになると泣く。 他の人が食べているものを見てほしがる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1m以上離れた物を指差すと、特定の人への顔と指差した物とに視線を3回以上移動することができる。 目的を達成するために特定の人を動かすことに興味・関心がある。 働きかけたときの特定の人への反応に興味・関心がある。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビで人の顔が大写しになると笑いかける。
9		<ul style="list-style-type: none"> 呼びかけるとたまに返事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> うるさいとき、怒った顔を見るとベソをかくこともあるが、見て見ぬふりをすることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 禁じられていることをわざとして母親の注意をひく。「あぶない」「こらこら」などと言われると面白がってわざとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身振りをまねする。 「イヤイヤ」「ニギニギ」「バイバイ」などの動作をする。 音声をまねしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 呼びかけるとたまに返事をする。
10	<ul style="list-style-type: none"> 母親が泣き真似をすると心配そうにするが、笑いだすとキャッキッと喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 母親や食べ物のことを「ママ」と言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いけません」と言うとき、ちょっと手を引っ込めて親の顔を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「マンマ」と言って食事の催促をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 父親や母親のことを問うと、そちらを見る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「バイバイしましょう」など、大人の言葉を理解して行動する。

		感情表出	発信行動	受容行動	拒否・要求行動	基礎理解・行動	あいさつ
0歳		<ul style="list-style-type: none"> 母親の後ろを追い、少しの間でも離れることを嫌がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話・目覚まし、玄関ベルなどが鳴ると、そちらを見てから母親の方を向いて知らせようとする。 母親の後ろを追い、少しの間でも離れることを嫌がる。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の要求するもの欲しいものがはっきりしてきて、一本の指で目的のものを指す。 母親の後ろを追い、少しの間でも離れることを嫌がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「バイバイしましょう」など、大人の言葉を理解して行動する。 	
	11	<ul style="list-style-type: none"> 何事にも興味があり、ことに動物や乗り物に対しては自分から「んー」「んー」と指差して嬉しがる。 大人のすることをしたがる。 おもちゃよりも母親が使っているもの（新聞、本、布など）をほしがる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「視線」+「発声」+「身振り」を複合し、かつ時間差で伝えることができる。 「視線」+「発声」+「身振り」を複合して意図を伝えることができる。 抑揚のある発声をする事ができる。 手渡す、見せる、指さすなど社会的な身振りで伝達することができる。 特定の人の気を引くために物を使うことができる。 活動を繰り返してもらうために、社会的手段（渡す、指さす、声を出す、身振り）で特定の人に働きかけることができる。 ものなどを相手に渡す。 特定の人の「ことば」+「身振り」による働きかけに対し、ある程度意味を理解して応答することができる。 どのような状態でも「バイバイ」がわかり、手を振る。 何事にも興味があり、ことに動物や乗り物に対しては自分から「んー」「んー」と指さして嬉しがる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の人の「ことば」+「身振り」による働きかけに対し、ある程度意味を理解して応答することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手渡す、見せる、指さすなど社会的な身振りで伝達することができる。 特定の人の気を引くために物を使うことができる。 活動を繰り返してもらうために、社会的手段（渡す、指さす、声を出す、身振り）で特定の人に働きかけることができる。 大人のすることをしたがる。 活動を繰り返してもらうために、活動で用いた物を渡すことができる。 おもちゃよりも母親が使っているもの（新聞、本、布など）をほしがる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物・サービスを得るために特定の人を利用する(原命令)。 「おいで」等の要求を理解する。 ことばを1～2語正しくまねる。 物などを相手に渡す。 特定の人が言っていること、伝えようとしていることの意味を理解することに興味・関心がある。 特定の人と自分の意図や情報を共有することに興味・関心がある。 どのような状態でも「バイバイ」がわかり、手を振る。 何事にも興味があり、ことに動物や乗り物に対しては自分から「んー」「んー」と指差して嬉しがる。 大人やきょうだいがすることを見て、すぐ真似る。 	<ul style="list-style-type: none"> 抑揚のある発声をする事ができる。 どのような状態でも「バイバイ」がわかり、手を振る。 「視線」+「発声」+「身振り」を複合して意図を伝えることができる。 手渡す、見せる、指さすなど社会的な身振りで伝達することができる。 抑揚のある発声をする事ができる。
1歳	0	<ul style="list-style-type: none"> 大人よりも兄や姉など子どもに遊んでもらうのを喜ぶ。 褒められると同じ行動を繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> 褒められると同じ行動を繰り返す。 家族が喜んで笑った自分の動作を何回も繰り返す。 よく知っている場所にくると指さしや「アー」の発声で教える。 	<ul style="list-style-type: none"> 服を着せようとする、それに応じる様子が見える。 テレビの画面に会場の聴取者が拍手すると同じようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家の前、または菓子戸棚の前に来ると、体をゆすったり指さしたり声を出したりして教える。 ほしい皿を指さす。 	<ul style="list-style-type: none"> 服を着せようとする、それに応じる様子が見える。 「触ってはいけない」といつも言われている物を触って大人に見つかり、あわてて差し出したり後ろに隠したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 鏡の中の自分にお辞儀したり、笑いかけたりして鏡を相手に遊ぶ。 朝、パパが出かける用意をしているのを見て自分からバイバイする。

	感情表出	発信行動	受容行動	拒否・要求行動	基礎理解・行動	あいさつ	
1歳		<ul style="list-style-type: none"> おもちゃ、新聞、絵本等手当たり次第にとって渡してくれる。 鏡の中の自分におじぎしたり、笑いかけたり、鏡を相手に遊ぶ。 朝、パパが出掛ける用意をしているのを見て自分からバイバイする。 ほしい皿を指さす。 		<ul style="list-style-type: none"> 届かないところに好きなおもちゃを見つけると「んーんー」と指さしてほしが る。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の中である絵を指差したとき、ちょっとの間はじっとその絵を見つめる。 熱い物を吹いて与えると、自分でふうふう吹く。 		
	1				<ul style="list-style-type: none"> 大人の表情が分かる。 場面に適切と思われる行動を行ったとき、行わなかったときの特定の人の反応に興味・関心がある。 正しいとされる行動をすることに興味・関心がある。 二語文の指示を理解することができる。 「ことば」の指示を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話しかけられるのをとても喜ぶようになる。 「有意味語」+「身振り」で伝えることができる。 「ことば」の指示を理解することができる。 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> 話しかけられるのをとても喜ぶようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ジャーゴニックスピーチ(意味はあるが、構音として完成されていない発語)を話すことができる。 「有意味語」+「身振り」で伝えることができる。 「有意味語」で伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 二語文の指示を理解することができる。 「ことば」の指示を理解することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 話しかけられるのをとても喜ぶようになる。 ジャーゴニックスピーチ(意味はあるが、構音として完成されていない発語)を話すことができる。 「有意味語」+「身振り」で伝えることができる。 「有意味語」で伝えることができる。 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> せきやくしゃみ、鼻をかんだりするのを真似て喜ぶ。 人に食べさせて喜ぶ。 おもちゃを取り合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 親の顔を伺いながらいたずらをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な言いつけを理解して する。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物かごを出すと「イコウイコウ」という。 人に食べさせて喜ぶ。 おもちゃを取り合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な言いつけを理解して する。 	
	4	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を読んでもらいたがる。 			<ul style="list-style-type: none"> 絵本を読んでもらいたがる。 		
	5		<ul style="list-style-type: none"> おもちゃを人に見せてあげようとする。 			<ul style="list-style-type: none"> おもちゃを人に見せてあげようとする。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> 困難なことに出会うと助けを求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いけない」というとふざけてかえってやる。 何かの事物を指さし、問い掛けるように大人の方を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いけない」と言うときふざけてかえってやる。 かくれんぼ、たかいたかい、イナイナイバーの遊びを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> かくれんぼ、たかいたかい、イナイナイバーの遊びを好む。 困難なことに出会うと助けを求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前を呼ばれると「ハイ」と返事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前を呼ばれると「ハイ」と返事をする。
	7						
	8						
9	<ul style="list-style-type: none"> 他の子が母親の膝に座ると怒って押しつける。 他の人におもちゃ等を見せびらかして得意になる。 ほしいものがあると「ちょうだい」と言ってもらいに 来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と手を繋げるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人に鉛筆を握らせ、絵を描けとせがむ。 ほしいものがあると「ちょうだい」と言ってもらいに 来る。 見せたいものがあると人を引っ張っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人の言った単語をそのまま真似をする。 友達と手を繋げるようになる。 母親とままごとの真似をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と手を繋げるようになる。 大人の言った単語をそのまま真似をする。 	

		感情表出	発信行動	受容行動	拒否・要求行動	基礎理解・行動	あいさつ	
1歳	10	<ul style="list-style-type: none"> •見せたいものがあると人を引っ張っていく。 •おいしいものを食べると「オイシイ」と言う。 	<ul style="list-style-type: none"> •二語文を話す（「わんわんきた」等）。 		<ul style="list-style-type: none"> •他の子どもが母親の膝に座ると怒って押しのける。 	<ul style="list-style-type: none"> •他の人におもちゃ等を見せびらかして得意になる。 •「もう一つ」「もう少し」が分かる。 •大人の言った言葉の終わりの2～3語をオウム返しに言う。 		
	11							
2歳	0	<ul style="list-style-type: none"> •言いたいことがたくさんあって「アノネ」というが、後が続かない。 •「きれいね」「おいしいね」等の表現が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> •子ども同士で追いかけることができる。 •簡単な文章を言うことができる。 •言いたいことがたくさんあって「アノネ」というが、後が続かない。 •子ども同士でふざけあうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> •子ども同士で追いかけることができる。 •子ども同士でふざけあうことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> •遊び友達の名前が言える。 •子ども同士で追いかけることができる。 •子ども同士でふざけあうことができる。 •「きれいね」「おいしいね」等の表現が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> •遊び友達の名前が言える。 •言いたいことがたくさんあって「アノネ」というが、後が続かない。 	
	1							
	2							
	3	<ul style="list-style-type: none"> •嫌なことをされたときに、否定の言葉を使うことができる（「いや」「やめて」「だめ」）。 •聞かれると、二つの物の中で好きな方を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> •促されると、「どうぞ」「ありがとう」を言うことができる（はっきり言えなくても可）。 •「～しているの誰？」という質問に、指さして答えることができる。 •“～ね、～よ”などの助詞を使って話すことができる（「お外行こうね」「ママ遊ぼうよ」等）。 •「これなあに？」という質問をする。 	<ul style="list-style-type: none"> •言われると、やっていることをやめて、2回に1回は親の言うことに従うことができる。 •音楽や物語を5～10分聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> •嫌なことをされたときに、否定の言葉を使うことができる（「いや」「やめて」「だめ」）。 	<ul style="list-style-type: none"> •言われると、やっていることを止めて、2回に1回は親の言うことに従うことができる。 •言われると、他の部屋から物をもって来る、他の部屋にいる人に物を渡して来ることができる。 •音楽や物語を5～10分聞くことができる。 •聞かれると、二つの物の中で好きな方を選ぶことができる。 •「今何してるの？」という質問に答えることができる。 •「～はどこ？」という質問に答えることができる。 •聞かれると、男か女かいうことができる。 •言われると、特定の本を見つけることができる。 •真似をして、横線を描くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> •促されると、「どうぞ」「ありがとう」を言うことができる（はっきり言えなくても可）。 	

		感情表出	発信行動	受容行動	拒否・要求行動	基礎理解・行動	あいさつ	
2歳						<ul style="list-style-type: none"> 真似をして、縦線を描くことができる。 真似をして、円を描くことができる。 真似をして、十字形を描くことができる。 真似をして、紙を半分に折ることができる。 言われると、物を別の物の中に、上に、下に置くことができる。 聞かれると、大小を区別して指差すことができる。 聞かれると、多い少ないを区別して指差すことができる。 		
	4							
	5							
	6	<ul style="list-style-type: none"> 一度期待をもつと修正がきかない。 	<ul style="list-style-type: none"> ふざけていたずらをするることができる。 年下の世話を焼きたがる。 		<ul style="list-style-type: none"> 一度期待をもつと修正がきかない。 	<ul style="list-style-type: none"> 年下の世話を焼きたがる。 名前を聞くと姓名を言うことができる。 自分の名前を入れて話することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 名前を聞くと姓名を言うことができる。 	
	7		<ul style="list-style-type: none"> 泣いている子どもを見るとなぐさめようとすることができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 泣いている子どもを見るとなぐさめようとすることができる。 		
	8							
	9							
	10							
	11							
	3歳	0	<ul style="list-style-type: none"> 他の子どもに「～しようか」と誘う。 「もう一つ」「もう一回」と要求することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話ごっこで二人交互に会話する。 他の子どもに「～しようか」と誘う。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話ごっこで二人交互に会話する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もう一つ」「もう一回」と要求することができる。 他の子どもに「～しようか」と誘う。 	<ul style="list-style-type: none"> ままごとで役になれる。 電話ごっこで二人交互に会話する。 「もう一つ」「もう一回」と要求することができる。 「ぼく」「わたし」などを使える。 お店屋さんごっこで売買する。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団において、呼名に対する返事をする。
		1						
2								

		感情表出	発信行動	受容行動	拒否・要求行動	基礎理解・行動	あいさつ
3歳	3		<ul style="list-style-type: none"> • 同年齢の子どもと会話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 同年齢の子どもと会話ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> • 同年齢の子どもと会話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 同年齢の子どもと会話ができる。
	4	<ul style="list-style-type: none"> • 自分でやりたいことをしながら、ときには他の子どもと遊んだり、話をしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 言われなくても「ありがとう」を言うことができる。 • 5分くらいの物語を読んだ後で、内容を聞くと答えることができる。 • 言葉による指示で関連のない二つの動作をすることができる。 • 「～したらどうするの?」という質問に答えることができる。 • 今までやっていたことについて質問すると答えることができる。 • 聞かれると、自分や人形などの身体部位を10こ指差す。 • 聞かれると男の子と女の子を区別して指差す。 • 聞かれると、長短を区別して指差す。 • 聞かれると高低を区別して指差す。 • 聞かれると、色の名を三つ言う。 	<ul style="list-style-type: none"> • よく知っている人と電話でやりとりをすることができる。 • 親以外の大人の言うことに2回に1回は従うことができる。 • 大人が見ていれば、屋外の決められた場所で遊ぶことができる。 • 自分でやりたいことをしながら、ときには他の子どもと遊んだり、話をしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「そしてどうしたの?」「それから?」などと言って、話の続きを催促することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • よく知っている人と電話でやり取りをすることができる。 • 守ってくれたり、助けたりする人の写真や絵を指差すことができる。 • 年長の子どもに指導されて、ルールのある集団遊びをすることができる。 • 大人が見ていれば、屋外の決められた場所で遊ぶことができる。 • 言われなくても「ありがとう」を言うことができる。 • 5分くらいの物語を読んだ後で、内容を聞くと答えることができる。 • 言葉による指示で関連のない二つの動作をすることができる。 • 「～したらどうするの?」という質問に答えることができる。 • 「そしてどうしたの?」「それから?」などと言って、話の続きを催促することができる。 • 聞かれると、自分や人形などの身体部位を10個指差す。 • 聞かれると、男の子と女の子を区別して指差す。 • 聞かれると、長短を区別して指差す。 • 聞かれると、高低を区別して指差す。 • 聞かれると、色の名を三つ言う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 促されなくても挨拶を正しく言うことができる。 • 言われなくても「ありがとう」を言うことができる。
	5						
	6	<ul style="list-style-type: none"> • 友達に「貸して」が言える。 	<ul style="list-style-type: none"> • 友達に「貸して」が言える。 	<ul style="list-style-type: none"> • 友達と順番にものを使う。 		<ul style="list-style-type: none"> • 友達と順番に物を使う。 • 友達に「貸して」が言える。 	

		感情表出	発信行動	受容行動	拒否・要求行動	基礎理解・行動	あいさつ
3歳	7	・「こうしていい？」と許可を求める。	・見聞きしたことを親や先生に話す。 ・「こうしていい？」と許可を求める。		・「こうしていい？」と許可を求める。	・見聞きしたことを親や先生に話す。 ・「こうしていい？」と許可を求める。	
	8						
	9						
	10						
	11						
4歳	0	・褒められると、得意になって説明する。	・自分や他者の作ったものを見せ合う、のぞき合う。 ・褒められると、得意になって説明する。 ・経験したことを他の子どもに話をする。	・自分や他者の作ったものを見せ合う、のぞき合う。		・自分や他者の作った物を見せ合う、のぞき合う。	
	1						
	2						
	3						
	4						
	5	・言われなくても、2回のうち1回は「ごめんなさい」を言うことができる。	・大人が見ていなくても、2～3人の子どもとごっこ遊びをすることができる。 ・言われなくても、2回のうち1回は「ごめんなさい」を言うことができる。 ・自分から質問することができる。	・大人が見ていなくても、2～3人の子どもとごっこ遊びをすることができる。	・他人の物を使うときには許しを求めることができる(4回のうち3回)。 ・助けが必要なときに、近くにいる人に頼むことができる。 ・自分から質問することができる。	・大人が見ていなくても、2～3人の子どもとごっこ遊びをすることができる。 ・聞かれると、見慣れた物の用途を言うことができる。 ・お姉さん、妹、お兄さん、弟、おじいさん、おばあさんという呼び方をすることができる。 ・反対の言葉を聞かれると言うことができる。 ・言われた数だけ物をとる。	・助けが必要なときに、近くにいる人に頼むことができる。 ・自分から質問することができる。
	6	・友達と互いに主張したり、妥協したりしながら遊ぶ。 ・他の子どもの遊びに「入れて」と言って加わる。	・友達と互いに主張したり、妥協したりしながら遊ぶ。 ・他の子どもの遊びに「入れて」と言って加わる。 ・テレビで見たことを話題にして、友達同士で話をする。	・友達と互いに主張したり、妥協したりしながら遊ぶ。 ・テレビで見たことを話題にして、友達同士で話をする。		・どちらがよくできたか友達と競争する。 ・他の子どもの遊びに「入れて」と言って加わる。 ・テレビで見たことを話題にして、友達同士で話をする。	・他の子どもの遊びに「入れて」と言って加わる。
	7						
	8						
	9						
	10						
11							

	感情表出	発信行動	受容行動	拒否・要求行動	基礎理解・行動	あいさつ
5歳	0	<ul style="list-style-type: none"> •他の子どもを注意する •砂場で二人以上で協力して一つの山を作れる。 	<ul style="list-style-type: none"> •砂場で二人以上で協力して一つの山を作れる。 		<ul style="list-style-type: none"> •他の子どもを注意する。 •砂場で二人以上で協力して一つの山を作れる。 •自分の家の住所番地を正しく答える。 	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6	<ul style="list-style-type: none"> •しりとりをつなげる。 •なぞなぞをする。 •数人が一緒になって子どもが発案したごっこ遊びをすることができる。 •他の子どもにゲームや遊びの説明をすることができる。 •友達を作ることができる。 •やさしいなぞなぞをすることができる。 •その日の出来事を自分から話すことができる。 •“なぜ？”という質問に、その理由を答えることができる。 •単語について、二つ以上の特徴を説明することができる。 •「もし～したら、どうなりますか？」という質問に答えることができる。 •聞き慣れない言葉の意味を聞くことができる。 •聞かれると、物の全部と半分を区別して指差す。 	<ul style="list-style-type: none"> •しりとりをつなげる。 •なぞなぞをする。 •数人が一緒になって子どもが発案したごっこ遊びをすることができる。 •友達を作ることができる。 •やさしいなぞなぞをすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> •しりとりをつなげる。 •なぞなぞをする。 •数人が一緒になって子どもが発案したごっこ遊びをすることができる。 •知らない人に後を付けられたり、おもちゃやお菓子をあげると言われたりしたときに、どうするかを、動作で示すか、言葉で言うことができる。 •友達が困っているときに助けてあげる。 •「一番多い、一番少ない」などと聞かれると答えることができる。 •易しいなぞなぞをすることができる。 •「なぜ」という質問に、その理由を答えることができる。 •単語について、二つ以上の特徴を説明することができる。 •「もし～したらどうなりますか？」という質問に答えることができる。 •聞き慣れない言葉の意味を聞くことができる。 •聞かれると、物の全部と半分を区別して指差す。 	
7						

		感情表出	発信行動	受容行動	拒否・要求行動	基礎理解・行動	あいさつ
5歳	8						
	9						
	10						
	11						
6歳	0						
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6	・とりっこをしたとき、子どもだけでじゃんけんをし、解決することができる。		・とりっこをしたとき、子どもだけでじゃんけんをし、解決することができる。		・とりっこをしたとき、子どもだけでじゃんけんをし、解決することができる。 ・親の年齢に興味をもって尋ねることができる。	
	7						
	8						
	9						
	10						
11							
7歳	0	・泣くのを人に見られないようにする。		・収集物を友達と交換することができる。		・友達がやってもらいたいと思っていることを察して、やってあげることができる。 ・泣くのを人に見られないようにすることができる。 ・友達の衣服のひもがほどけているのを見ると、直してあげることができる。 ・収集物を友達と交換することができる。	

【引用文献】

- ・『遠城寺式乳幼児分析的発達検査法』 遠城寺宗徳著
- ・『新版 ポーターシ早期教育プログラム - 0歳からの発達チェックと指導ガイド』 NPO法人 日本ポーターシ協会著
- ・『乳幼児精神発達診断法』 津守 真 磯辺景子著
- ・『言語発達の臨床』 田口恒夫編
- ・『障害の重い子どものコミュニケーション評価と目標設定』 坂口しおり著
- ・鹿児島県総合教育センター指導資料 特別支援教育 第165号
- ・岩手県総合教育センター特別支援教育室 指導資料 『コミュニケーションを促す方法』
- ・福岡市教育センター特別支援教育研究室 指導資料 『特別支援教育におけるコミュニケーション力の育成』

運動・動作（模倣） について

運動・動作について

【模倣とは】

新生児の原初模倣から始まる「模倣」は、初めは反射的なものから相手の意図を理解して真似する模倣へと、その発達段階とともに成長し変化していく。学齢期に入ると、学習、遊び、余暇などいろいろな場面で、とっかかりは指導者（大人）の模倣から始まることが多い。また、卒業後の進路先においても、教わる側と教える側にとって模倣は重要なコミュニケーションのツールとなる。このことから、模倣は将来の社会参加と自立のためにもとても重要な行動であるといえる。

模倣の構造

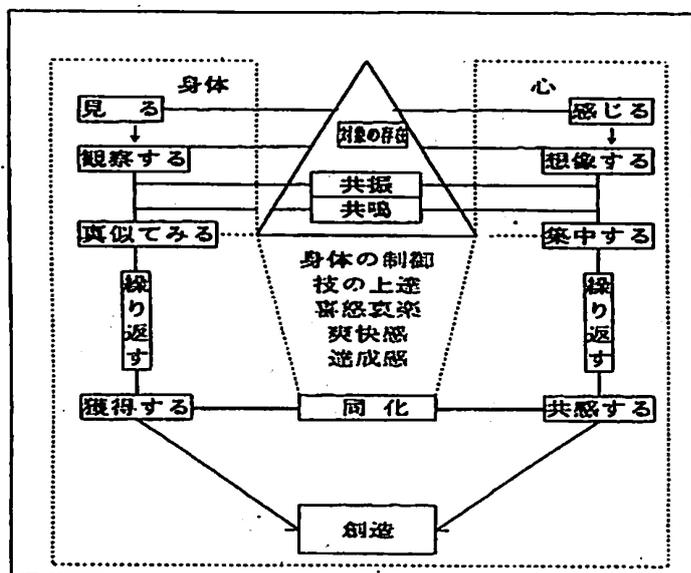


図1 身体教育における模倣の構造図
大阪教育大学紀要 第IV部門 第45巻
第1号 59～72頁 (1996年9月)
身体学習における『模倣』の構造
～幼児教育と武道の技能獲得過程の
類似点を通して～
古市久子・横山勝彦

図によると、模倣の段階設定の概略は、《対象の存在》を出発として、それに《共振》していき、《共鳴》し、それを繰り返し行っている間にしだいに同一化の方向に進む。すべての《同一化》がなされ、模倣がしっかりできるようになると、《創造》への方向に向かう、とされる。また、図の左右に眼を向けると、模倣とは、「見る」「観察する」「真似てみる」「繰り返す」「獲得する」という身体を使う部分（目に見える部分）と、「感じる」「想像する」「集中する」「繰り返す」「共感する」という心を使う部分（目に見えない部分）が相互に作用し合って成り立つ行動である。つまり、基本的な運動能力、認知能力の保持と「やってみよう」「やってみたい」「できるようになりたい」と思える心の成長ができていることが前提となる。

模倣の発達臨床的要因

発達水準		III水準	IV水準	V水準	VI水準	VII水準
模倣の発達段階	模倣の芽生え	→				
	一方だし模倣	→			
	パターン模倣		→		
	即時対応模倣			→	
	象徴的模倣				→
模倣内容	道具操作模倣	→			
	身体模倣	→			
	音声模倣	→			
姿勢運動	身体接着模倣		→		
	身体非接着模倣			→	
	座位での模倣		→		
	立位での模倣			→	
運動方向	左右対称模倣	→			
	左右非対象模倣		→		
	前後奥行き模倣			→	
	交叉模倣			→	
模倣環境	絵や録音モデル		→		
	人をモデル		→		
	個別場面		→		
	集団場面			→	

※破線は芽生えの時期

※参考文献「障害児の発達臨床Ⅱ 感覚と運動の高次化による発達臨床の実際」
宇佐川浩 著

【発達水準表】

感覚と運動の高次化からみた発達水準

発達の層	水準	名称
第Ⅰ層 (初期感覚の世界)	I 水準	感覚入力水準
	Ⅱ水準	感覚運動水準
	Ⅲ水準	知覚運動水準
第Ⅱ層 (知覚の世界)	Ⅳ水準	パターン知覚水準
	Ⅴ水準	対応知覚水準
第Ⅲ層 (象徴化の世界)	Ⅵ水準	象徴化水準
第Ⅳ層 (概念化の世界)	Ⅶ水準	概念化 1 水準
	Ⅷ水準	概念化 2 水準

【Ⅰ水準】＝ 感覚入力水準

感覚と運動が最もつながりにくい段階。感覚器官からの入力そのものが初期的で、情報が入力されたことと運動や表現とが繋がりにくく、反応が読み取りにくい。感覚を使えば動きは静止させ、運動を起こせば感覚を使わなくなることも多い。しかし受容されやすい感覚もある。揺れ、高い高い、グルグルまわし等の前庭感覚入力や、強くおしつける圧覚や手首や足首、膝や肘等の関節への刺激入力（固有感覚入力）、触れるといった触感覚入力等は、快の表情が表出されやすく、入力されていることはわかりやすい。

感覚刺激は、どちらかというとな弱めの方が受容しやすく、感覚が開きやすい。

【Ⅱ水準】＝ 感覚運動水準

感覚と運動の繋がりが少し芽生えてきた段階である。感覚の受容能力が高まり、そのために姿勢を整え、運動を組み立てようとする力も芽生えてくる。しかし感覚が運動に優先しているというわけではなく、感覚は運動の後追いあるいは追従して使われる傾向が強い。

【Ⅲ水準】＝ 知覚運動水準

手を使った事物操作や粗大な動きを通して、徐々に目や耳と運動が繋がっていくことが大きな特徴である。それだけ目や耳が外界に関与しようとしはじめるといったよい。

【IV水準】＝ パターン知覚水準

パターン化が極端に強いあるいは貯蔵的な知覚が中心となる段階である。この水準は以下の二つの特徴であらわされる。

ひとつは目や耳によって運動を少しずつ制御できるようになる。視覚・聴覚 \geq 運動という図式であらわせる。III水準の知覚運動水準と比べれば、より目や耳が先行して運動の方向を確認し、予測し、コントロールしていくということになる。もうひとつの特徴は情報処理がパターンのあるいは貯蔵的で固いことである。いつもと同じ行動様式を繰り返すことに固執しがちであり（その方が安心できるという意味）、新しい場面や人は苦手である。慣れない事態は予測がつきにくく、わからないために情緒が不安定になりやすい。固く固執が強いということは、好き嫌いも強いので嫌いという拒否行動やトラブルも多い。

【V水準】＝ 対応知覚水準

徐々に柔軟な処理ができるようになる。表象機能も芽生え、人にも物にも対応生を増していくという意味で対応知覚水準と呼ぶ。IV水準（パターン知覚水準）の認知様式の固さ、パターン化の強さ、拒否の強さと比べると、「やわらかさ」を増してきた子どもたちである。

【VI水準】＝ 象徴化水準

重要な情報を頭の中に表象（記憶）としてしまいこみ、必要に応じて動作イメージやことばとして産出していく。

事物や行為を、別の文脈のものにみだてたり置き換えたりする象徴的な機能が成立するということでもある。例えばチョークを、お父さんが吸っているタバコにみだてて、吸うまねをするといった具合である。本来意味するもの（チョーク）と違う文脈の意味されるもの（タバコ）に置き換える、という思考様式の拡がりが見られることになる。

【VII水準】＝ 概念化1水準

「複数のカテゴリーから属性や概念を見だし、可逆的に別のカテゴリーで分類したり記号化する力」と捉えることができる。例えば、①赤いりんご、②緑色のメロン、③黄色いバナナ、④赤いスポーツカー、⑤緑色のバイク、⑥黄色い自転車という6枚の絵があったとする。まず果物と乗り物に分類させる。その直後に色で分類させても混乱しないで新しいカテゴリーで再構成できる。こうした頭の中で分類基準を柔軟にきりかえるという作業が、概念化の成立であると考えている。

【Ⅷ水準】＝ 概念化2水準（絶対的概念から相対的概念へ）

繰り返された内容を学習してパターンで概念を形成することは、さほど難しいことではない。自閉症児であればV水準（対応知覚水準）ぐらいの子どもであっても、みかけ上は文字が読めて、加算が可能であったりする子どももいる。パターン化が得意であるという点が、一見高次の概念が形成できているかのようには思わせる。実際には文章の内容は理解できなかつたり、加算ができていても、数の大小がわからなかつたり、「りんごを半分にきるといくつ？」というような質問にも答えられなかつたりする。要するに概念の柔軟な操作ができないために、本当の力になり得ていないということであろう。

概念の相対化とは、一つ概念と他の概念を相対的に比較できる柔軟な概念化の作業であるということができる。

【参考文献】

「障害児の発達臨床Ⅰ 感覚と運動の高次化からみた子ども理解」

宇佐川浩 著

宇佐川浩：1947年生まれ。上智大学文学部，同大学院において，霜山徳爾先生のもとで臨床心理学をまなぶ。

現職 → 淑徳大学総合福祉学部教授，淑徳大学発達臨床研究センター長。

専攻 → 発達臨床心理学，ことばとコミュニケーションの臨床，音楽療法，障害の重い子どもの療育臨床など。（臨床発達心理士・認定音楽療法士・臨床心理士）

模倣の発達段階（解説）

【模倣の発達段階】

○ 模倣の芽生え

まれに大人の玩具操作を真似したり、拍手等の身体のごく一部の模倣や、母音等の一部の音素を真似したりすることがみられる。しかしいずれのばあいも、ごくまれなことであり、きわめて偶発的な行為である。相手の模倣の動きを注視することも、芽生えとして評価してよい。

○ 一方だし模倣

どちらかという気が向いたときに、模倣活動としてではなく独りでやっているばあいが多い。この段階はしばらく続くことが多いのだが、やがて一緒に模倣する段階が訪れるというサインとして重要である。

○ パターン模倣

模倣場面で一緒に模倣することが可能になる。しかしいつも繰り返された模倣活動に限って可能であり、新しい型の模倣活動は難しい。

○ 即時対応模倣

即時的な模倣でも対応してできるようになる。他者に合わせて模倣することが楽しいということが大人にもよく伝わる。集団場面での模倣活動も積極的に参加できることが多い。

○ 象徴的模倣

模倣そのものに象徴的な意味を付与して行う。例えば、両手をバタバタとヨコに振るのは「鳥」を意味するというのがわかって表現できるということである。過去の生活を再現するためのふり行為やみたてあそびも広義の象徴的模倣と捉えて良い。

【模倣内容】

○ 道具操作模倣・身体模倣

視覚処理としての模倣である。道具操作模倣は、他者が楽器やおもちゃを操作するのを見て真似して模倣することであり、簡単な道具操作模倣であれば、身体模倣よりはやさしくはやく産出する。

○ 音声模倣

聴覚処理としての模倣である。音声に合わせて動いたり、発声したりする。

※ 視覚系と聴覚系の模倣とでは、どちらがはやいかという原則はなく、聴覚優位タイプの子どもであれば音声模倣の方がはやく出るし、ケースバイケースである。

【姿勢運動】

○ 身体接着模倣

「頭、肩、膝、ポン」のような身体と身体が接着する模倣は、やさしいため比較的是やくから産出されやすい。拍手やちょうだい等の模倣も同様である。

○ 身体非接着模倣

腕を横や上に伸展させるといった非接着模倣は難しく難易度が高い。この理由は接着型の方が運動の終わりをつくりやすいことと、身体部位に手を接着させる行為は姿勢を保持しやすくし、それだけ模倣もやりやすくなるといえる。

○ 座位での模倣・立位での模倣

椅子に着席した模倣と立位での模倣とでは、明らかに前者の方がやさしい。座位の姿勢は、目でモデルとなる人物を定位することが楽であり、また模倣で上肢の調節が必要とされる際に姿勢保持が楽なためであろう。

【運動方向】

○ 左右対称模倣・左右非対象模倣

両手を同時に上に挙げるといった左右体操的（同側的）な模倣か、右手が上で左手は横といった非対象的な模倣かを区別して考える。むろん前者の対象的な模倣の方がやさしい。非対称的な模倣は運動の調節力においても難しいが、二つのことを同時に捉えなければならない点でも2容量記憶と同様な注意力も必要とされる。

○ 前後奥行き模倣・交叉模倣

非対象模倣の延長線上に、うさぎの耳のまねのように手掌部分を前向きか後ろ向きか、ボクシングのように両手を交互に打つ模倣、両腕を交叉させて行う模倣等、より高度な模倣形態が考えられる。

【模倣環境】

○ 身体模倣のモデル（絵や録音・人）について

模倣のための見本をどのように提示するかという問題も、模倣の芽生え期には重要である。一見、人のモデルの方がよさそうにおもいがちなのだが、模倣が苦手な自閉症児にとっては、動かない絵カードをみて模倣する方が産出しやすい。人か否かが重要ではなく、絵は背景から模倣モデルが浮き出ている、つまり図と地がはっきりしなおかつ静止画像であるというところに利点があるのかもしれない。

○ 音声の同時提示身体模倣と音声なし身体模倣

歌等の音声を同時に提示する身体模倣の方が音声なしよりも、はるかに産出しやすい。おそらく歌等の音声が付随されて提示されることで、注意が喚起され、次の動作パターンへの変更の予測がしやすいこと等が、理由として考えられる。

○ 個別場面・集団場面

これも両者には大きな違いがあり、個別場面の方がはるかに産出しやすい。それだけモデルへの注意や集中が向けられやすいということであろう。

※参考文献

「障害児の発達臨床Ⅱ 感覚と運動の高次化による発達臨床の実際」学苑社： 宇佐川浩 著

宇佐川浩：1947年生まれ。上智大学文学部、同大学院において、霜山徳爾先生のもとで臨床心理学をまなぶ。

現職 → 淑徳大学総合福祉学部教授、淑徳大学発達臨床研究センター長。

専攻 → 発達臨床心理学、ことばとコミュニケーションの臨床、音楽療法、障害の重い子どもの療育臨床など。（臨床発達心理士・認定音楽療法士・臨床心理士）

数概念の 発達について

数概念の発達について

【数概念とは】

数には、順序数（序数）を表すものと集合数（基数）を表すものがある。順序数を表すものとは、順番を示すもので、6番目の1つ後が7番目で、1つ前が5番目である。集合数は、自動車6台もみかん6個も犬6匹も、全てその集合の要素、すなわち濃度において6という共通点をもっており、5や7と異なっている。数概念とは、これら2つのものが統合されたところに成立するものである。

数概念は、その対象の諸性質を捨象するということが大きい意義をもつ、一般の具体的事物の場合には、その概念はその対象の全ての性質を捨象してしまっては成立しない。それらの中の共通な、しかも本質的な属性を抽象することによって成立する。ところが、数概念の発達過程は対象の一連の性質を捨象するだけでなく、対象そのものも捨象する過程である。（図1）

また、数概念の発達は、図2にあるように、独立して考えられるものではない。数を理解するにはさまざまな情報処理が行われており、数の概念は視覚・聴覚・手指の器用さ・発声・抽象化の能力・意欲なども複雑に絡み合いながら発達している。生まれてから様々な経験をし、いろいろな概念を獲得した上でなければとらえられないし、上辺だけの理解にとどまることも考えられる。

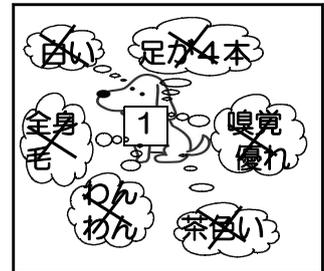


図1

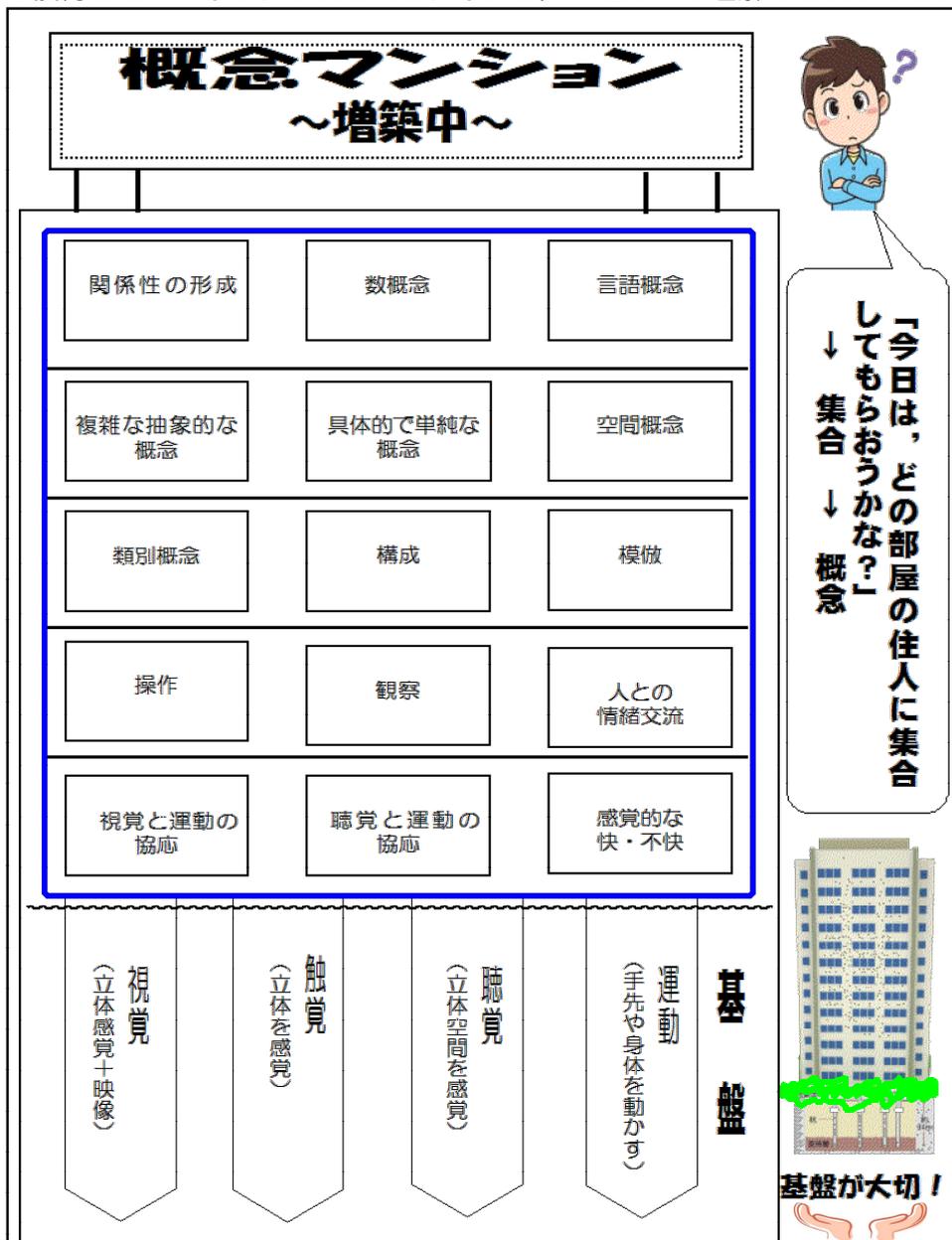


図2

数を理解するって？

- 数には、いろんな意味がある
- ・数そのものである「数字」
- ・多さや量をあらわす「集合数」
- ・ものごとの順序の位置づけ、何番目、～より多い（少ない）を示す「順序数」
- ・TVのチャンネルや電話番号などの「記号数」



これを当たり前に使い分けられるようになることが必要！！

ものを数えていくつあるかが分かるためには？

計数の5原理. ゲルマン

- ① 一対一の原理
必ず1つのモノに1つの数詞を割り当てて数える。
例) 0+1 0+2 0+3 0+4
- ② 安定した順序の原理
数詞は常に「いち」「に」「さん」・・・と同じ順序で唱える。
例) いちにさんしご・・・
- ③ 基数の原理
モノ(集合)を数えたときに、最後の数詞がそのモノ(集合)の大きさの全体を表す。
例) 0+1 0+2 0+3 0は全部で3個ある
- ④ 抽象性の原理
計数するモノの色や形・大きさに関係なく、数として正しく数えられる。
例) 大人も子ども人として数える
- ⑤ 順序無関係の原理
正しく数えれば、モノ(集合)をどのような順番で数えてもよい。
例) 0+3 0+2 0+1 0+4 0+5

数概念の発達段階表

年齢	数の理解の発達	数の基礎概念	集合数	順序数
0歳	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物に触れる，つかむ，なめる ・指しゃぶりをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物をつかもうとする ・具体物を指さす 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象をはっきりつかめる 	
1歳		(個別化) <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある物や人の名を聞いて指差すことができる。 ・目の前で隠された物を探することができる 		
2歳	<ul style="list-style-type: none"> ・数を唱え始める ・並べる遊びをする 	(類別) <ul style="list-style-type: none"> ・形の異なる2つもの(色は同じ)の中から，示された形の物を選ぶことができる ・色の異なる2つもの(大きさは同じ)の中から，示された色の物を選ぶことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1対応ができる ・単に口で唱える(数唱) ・ものの集まりから，数を知る ・数詞が，順序正しく，発音正しく言える(3まで) 	<ul style="list-style-type: none"> ・数詞が，順序正しく，発音正しく言える(3まで)
3歳	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の区別ができる(自分の物，他者の物の分類ができる) ・決まった場所を提示すれば片付けられる 	(同等性) <ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使い，一対一対応をさせることができる(4枚の皿に4個のケーキ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3の事物を見せていくつあるかが分かるときと分からないときがある ・「いち，に，さん，ろく，く，じゅう」と途中を抜かして10まで唱える。<数が事物の集まりの多さ(集合)を表し，2は1が2集まった物や3は2に1がプラスされたものという概念が形成されていない> ・数詞が，順序正しく，発音正しく言える(5まで) ・数詞を言って，数が取れる(3まで) ・物と数詞を1つずつ対応させて数えることができる ・3個が理解でき，5個位の中から取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数詞が，順序正しく，発音正しく言える(5まで)

	数の理解の発達	数の基礎概念	集合数	順序数
4歳	<ul style="list-style-type: none"> ・色による弁別ができる ・形の弁別ができる ・色や形などの単純条件による集合づくりができる ・集合数の比較ができる。(列の長さか、要素の密度のどちらかにしか注目していない) 	(類別) <ul style="list-style-type: none"> ・同じ物同士の集合づくりができる ・具体物を使い、一対一対応をさせる中で、一方に余り(不足)のある時は、数が違うことが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・4個が理解でき、10個くらいの中から取る事ができる 	
5歳	<ul style="list-style-type: none"> ・用途や性質による弁別ができる ・複雑条件による集合づくりができる ・「A or Aではない」の類別ができる 	(類別) <ul style="list-style-type: none"> ・色・形(大きさも含む)ともに異なる複数の物の中から示された形のものを集めることができる ・色・形(大きさも含む)ともに異なる複数の物の中から示された色の物を集めることができる ・用途や性質など抽象概念による集合づくりができる (同等性) <ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使い、一対一対応をさせる中で、一方に余り(不足)のある時は、数が違うことが分かる ・具体物を使い、一対一対応をさせる中で「どちらが多い、どちらが少ない、同じ」を言葉や指を使い、示すことができる (数の保存)	<ul style="list-style-type: none"> ○ものの集まりと対応して、数詞が分かる ・数を数詞で言える(1~10) ・数詞で言って、数が取れる(5まで) ○ものの集まりや数詞と対応して、数字が分かる ・数字を読むことができる(1~10) 	<ul style="list-style-type: none"> ○5までの数系列を理解する ・1~5までの数の大小が分かる ・1~5までの数の階段づくりができる ・5までの数の順序が分かる ○順序や位置を表すのに数を用いることを理解する ・1~2個差くらいの多少の判断ができる。
6歳	<ul style="list-style-type: none"> ・直感的な比較ができる(長さや密度という2つの次元が同時に考えられる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・示した具体物(3~5程度)の色が違ってても、数は変わらないことが分かる ・示した具体物(3~5程度)の形が違ってても、数は変わらないことが分かる ・示した具体物(3~5程度)の大きさが違ってても、数は変わらないことが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・数を数字で表すことができる(1~10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上下、前後、左右などの方向や位置関係を示すことばの理解を確かめる ・「~から数えて○番目」の順序が分かり、使うことができる ・同じ位置にあっても、基準が変わると別の順序数が対応することに気付く

	数の理解の発達	数の基礎概念	集合数	順序数
6歳		<ul style="list-style-type: none"> 示した具体物（3~5程度）の置かれた位置が違ってても、数は変わらないことが分かる 具体物を使い、一対一対応をさせる中で「どちらが多い、どちらが少ない、同じ」を言葉や指を使い、示すことができる 		<ul style="list-style-type: none"> 10までの数系列を理解する 1~10までの数の階段づくりができる 10までの数の順序が分かる 10までの数の数の系列における数の位置、大小、順序が分かる
7歳~	<ul style="list-style-type: none"> 操作的な比較の段階（減らしも増やしもしなかったから同じ） 		<ul style="list-style-type: none"> ○個数を数える <ul style="list-style-type: none"> 対象をはっきりつかめる 数詞と、1対1対応しながら数えられる 直感的に数えられる 置き換えて数えられる まとめて数えられる ○数の大小を比較する <ul style="list-style-type: none"> 対応づけにより、同等・多寡が分かる 集合の大きさを比べ、数の大小が分かる 数直線の比較ができる ○数系列を理解する <ul style="list-style-type: none"> 順序正しく数詞が言える 逆の順に数詞が言える ○数の合成・分解ができる <ul style="list-style-type: none"> 直感的に数えられる 5までの数の合成・分解ができる 6~9の合成・分解ができる 10の合成・分解ができる 位取りの考え方が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ○数系列における0を理解する <ul style="list-style-type: none"> 10までの数を、数直線に表すことができる。 数直線の0は、始まりの意味であることが分かる ○20までの数系列を理解する <ul style="list-style-type: none"> 1~20までの数の階段づくりができる 20までの数の順序が分かる 数の系列における数の位置、大小、順序が分かる 2とびの数の系列が分かる ○100まで及び、100以上の数系列を理解する <ul style="list-style-type: none"> 1~100までの数の階段や、数表づくりができる 100及び、100以上の数の順序が分かる 数の系列上における数の位置、大小、順序が分かる 5とび、10とびの数系列が分かる

〈引用文献〉 ○数概念の発達と指導に関する研究 武田俊昭 風間書房 ○概念形成 宮本茂雄 学苑社 ○発達に遅れがある子どもの算数・数学①数と計算 藤原鴻一郎 学研
○数科学習のレディネスと就学期の発達課題に関する一考察 丸山美和子 ○発達支援ブログ <http://mau2006.seesaa.net>